

# 香川県立ミュージアム 年報

第 11 号（平成 30 年度）

香川県立ミュージアム

2019

I 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

II 事業の概要

本館

1 展示企画事業

(1) 館内展示

- ①歴史展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- ②常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- ③特別展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
- ④ロビー展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- ⑤貸館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

(2) 館外展示

- ①市町等共同企画展示・・・・・・・・・・・・・・・・13

(3) 展示システム

- ①展示案内（委託業務）・・・・・・・・・・・・13
- ②音声ガイドシステム・・・・・・・・・・・・14

(4) 企画・広報

- ①広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
- ②パスポート事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

(5) 展覧会企画力向上事業・・・・・・・・・・・・15

2 地域連携学習支援事業

(1) 学校教育支援事業

- ①ミュージアム活用研究会・・・・・・・・・・・・16
- ②教員向け講座  
（ティチャーズプログラム）・・・・・・・・16
- ③館蔵資料・作品複製教材の制作・貸出・・・16
- ④学校への広報・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- ⑤校外学習への協力・・・・・・・・・・・・・・・・18
- ⑥教員研修会への協力・・・・・・・・・・・・19
- ⑦職場体験学習・インターンシップへの協力・19
- ⑧大学との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- ⑨博物館実習（日程）・・・・・・・・・・・・19
- ⑩体験学習室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
- ⑪図書コーナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
- ⑫ビデオライブラリー・・・・・・・・・・・・・・・20

(2) 地域連携活動

- ①職員の講師派遣・・・・・・・・・・・・・・・・21
- ②文化財レスキュー・・・・・・・・・・・・・・・・22
- ③ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
- ④香川県資料館協議会・・・・・・・・・・・・23

(3) 普及活動

- ①ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・24
- ②キッズワークショップ・・・・・・・・・・・・24
- ③特別展関連イベント・・・・・・・・・・・・24
- ④講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
- ⑤学芸講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
- ⑥ミュージアム・コンサート・・・・・・・・・・26

3 調査研究事業

(1) 調査研究活動

- ①寺社総合調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
- ②収蔵資料の調査研究・・・・・・・・・・・・27
- ③資料所在等の確認調査・・・・・・・・・・・・27
- ④展示に係る調査・・・・・・・・・・・・・・・・27
- ⑤レファレンス等による調査・・・・・・・・・・28
- ⑥他機関との共同研究・・・・・・・・・・・・28
- ⑦各種研修の受講・・・・・・・・・・・・・・・29

(2) 成果物公表

- ①研究成果の公表・・・・・・・・・・・・・・・・29
- ②刊行物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集

- ①購入資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
- ②寄贈資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
- ③寄託資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
- ④移管・その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
- ⑤文献資料の収集・・・・・・・・・・・・・・・32

(2) 資料整理保管活動

- ①収蔵資料管理システム・・・・・・・・・・・・32
- ②虫菌害対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

(3) 館外特別利用状況	4 資料の収集・整理・保管事業
① 貸出利用 . . . . . 33	(1) 資料収集状況
② 閲覧利用 . . . . . 35	① 寄贈資料 . . . . . 44
③ 画像利用 . . . . . 36	② 文献資料の収集 . . . . . 44
分館 瀬戸内海歴史民俗資料館	(2) 資料整理保管活動
30 年度の活動概要 . . . . . 39	① 資料整理活動 . . . . . 44
1 展示企画事業	② 収蔵資料管理システム . . . . . 44
(1) 館内展示	③ 重要有形民俗文化財の修理 . . . . . 44
① 常設展示 . . . . . 40	(3) 資料の特別利用
② テーマ展 . . . . . 40	① 貸出利用 . . . . . 45
(2) 企画広報	② 閲覧利用 . . . . . 45
① ホームページほか広報活動 . . . . . 40	③ 画像利用一覧 . . . . . 45
2 地域連携学習支援事業	
(1) 学校教育支援事業	分館 香川県文化会館
① 学校との連携 . . . . . 40	1 展示事業 . . . . . 46
② 博物館実習 . . . . . 41	2 貸館事業
(2) 地域連携活動	(1) 県民ギャラリー . . . . . 46
① 職員の講師派遣 . . . . . 41	(2) 芸能ホール . . . . . 46
② 文化財レスキュー . . . . . 41	(3) 和室 . . . . . 46
③ ボランティア . . . . . 41	
(3) 普及活動	III 組織と運営
① れきみん講座 . . . . . 42	1 組織・職員
② ワークショップ . . . . . 42	(1) 組織図 . . . . . 47
3 調査研究事業	(2) 職員名簿 . . . . . 47
(1) 調査研究活動	2 予算 . . . . . 47
① 歴史民俗総合調査・研究 . . . . . 42	3 香川県立ミュージアム運営協議会 . . . . . 47
② 有形民俗資料の調査・研究 . . . . . 42	4 利用状況 . . . . . 49
③ 無形民俗資料の調査・研究 . . . . . 42	
④ 展示に係る調査 . . . . . 43	IV 施設の概要
⑤ レファレンス等による調査 . . . . . 43	本館
⑥ 教育普及に伴う調査 . . . . . 43	1 建築概要 . . . . . 50
⑦ ボランティア館外調査 . . . . . 43	2 面積 . . . . . 51
⑧ 瀬戸内全誌にかかわる調査 . . . . . 43	3 各階配置図・平面図 . . . . . 52
⑨ 各種研修の受講 . . . . . 43	
(2) 成果物公表	分館 瀬戸内海歴史民俗資料館
① 研究成果の公表 . . . . . 43	1 建築概要 . . . . . 54
② 刊行物 . . . . . 44	2 面積 . . . . . 54

3 平面図・・・・・・・・・・・・・55

分館 香川県文化会館

1 建築概要・・・・・・・・・・・・・56  
2 面積・・・・・・・・・・・・・56  
3 平面図・・・・・・・・・・・・・56

V 条例・規則等

香川県立ミュージアム条例・・・・・・・・・・58  
香川県立ミュージアム規則・・・・・・・・・・58  
教育委員会の権限に関する事務の委任・62  
香川県立ミュージアムの管理運営のための  
組織規則・・・・・・・・・・・・・63  
香川県立ミュージアム使用料規則・・・・65  
香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗  
に関する資料収集要綱・・・・・・・・・・68  
香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗  
に関する資料利用要綱・・・・・・・・・・69  
  
利用案内・・・・・・・・・・・・・71

# I 沿革

		香川県文化会館	瀬戸内海歴史民俗資料館	香川県歴史博物館
昭和39年	10月	建築工事着工		
昭和41年	3月	建築工事竣工		
	4月	開館（1日）		
		開館記念「第31回香川県美術展覧会」開催 （以後毎年開催）		
昭和47年	1月		建築工事着工	
	4月		香川県教育委員会社会教育課内に設置準備室を置く	
昭和48年	3月		建築工事竣工	
	8月		発足	
	11月		開館（3日）	
			開館記念特別展示「国宝 伝讃岐国出土袈裟褌文銅鐸」	
昭和50年	5月		日本建築学会賞受賞	
昭和55年	3月		漁撈収蔵庫建築工事竣工	
昭和60年	9月	「県展50周年記念県展回顧展」開催		
		県展50周年記念レセプション開催、「県展史」発行		
昭和63年	11月	置県百年記念「香川の工芸の100年展」開催		
平成6年	4月			香川県教育委員会に建設準備室を設置
平成8年	7月			建築工事起工
平成9年	9月	第1回JIA25年賞受賞		
平成10年	10月		公共建築百選顕彰	
平成11年	3月			建築工事竣工
	11月			開館（16日）
平成12年	4月			開館記念特別展「徳川御三家展」を開催
平成15年	7月		開館30周年記念建造物「歴民の灯台」除幕式	
平成19年	4月		瀬戸内海歴史民俗資料館が香川県歴史博物館の分館となる	
<b>香川県立ミュージアム</b>				
平成20年	4月	香川県歴史博物館と香川県文化会館を統合し香川県立ミュージアム開館（1日）		
		本館（旧歴史博物館）のほか、文化会館と瀬戸内海歴史民俗資料館の2分館体制となる（文化会館は改修工事のため一時休館）		
		開館記念展「静かなる情熱－藤川勇造とロダンの美」を開催		
平成21年	4月	文化会館の改修が終わり県民ギャラリーがオープン		
平成22年	10月	県立ミュージアム入館者50万人達成（13日）		
平成24年	9月	本館常設展示室2・4・5、多目的室を改修		
平成25年	10月	県立ミュージアム入館者数100万人達成		
		瀬戸内海歴史民俗資料館がDOCOMOMO Japan「日本におけるモダンムーブメントの建築164」に選出される		
平成27年	3月	瀬戸内海歴史民俗資料館所蔵品310点が国重要有形民俗文化財に指定される		

### Ⅲ 事業の概要

#### 本館

#### 1 企画・展示事業

##### (1) 館内展示

##### ① 歴史展示

歴史展示室では、香川県の生い立ちから現代までの歩みを通観できるよう、「かがわ今昔—香川の歴史と文化」と題して、原始・古代・中世・近世・近現代の5つの時代に分け、各時代を計20の大項目にそって展示を行っている。各時代入口には、象徴する建物や景観などを再現したメイン展示とあらましを紹介した映像（歴史ショーステージ）を配し、時代状況を捉えやすくしている。さらに、展示内容をより詳しく紹介するために、各時代の番組をタッチパネル式のモニターで放映している（詳覧映像）。

歴史展示室は固定的な展示物も多いため、その内容が大きく変わることはないが、調査研究の成果を展示に反映するとともに、展示資料の保護と収蔵資料の活用を目的として資料の展示替えを実施している。平成30年度は6月、9月、12月、3月に定期的な展示替えを行った。

また、平成31年3月に歴史ショーステージのうち、「近現代コーナー」のプロジェクターと詳覧映像3台（中世・近世・近現代）の映像機器を更新した。

##### 【展示替え実績】

第1期	平成30年6月25日（月）	21件22点
第2期	平成30年9月18日（月）	44件54点
第3期	平成30年12月17日（月）	38件44点
第4期	平成31年3月11日（月）	32件34点

時代	原始	古代	中世	近世	近現代
歴史ショーステージ	讃岐のあけぼの ガイダンス映像	古代の讃岐 ガイダンス映像	躍動する武士と讃岐 ガイダンス映像	江戸時代の社会と人々の暮らし ガイダンス映像 高松城下を歩く	香川県の成立と発展 ガイダンス映像
メイン展示	狩りをする旧石器時代の人々 縄文の森 竪穴住居	今岡古墳出土埴輪組陶棺 乾漆聖観音坐像 讃岐五大師	志度寺縁起 白峯寺十三重塔 明王寺釈迦堂瓦 蒙古襲来絵詞	江戸講中燈籠 高松塩飽漁場争論裁許状 高松城下図屏風 四国古図 庄屋の蔵 讃岐の生んだ人物	昭和初期の教室 昭和20年代の住宅
詳覧展示	氷河期を生き抜いた人々 旧石器時代の暮らし 石器をつくる 森と海に生きる人々 瀬戸内海の成立 縄文土器 自然の中で生きる(海の暮らし) 自然の中で生きる(山の暮らし) 新しい文化の伝来 米を作る暮らし 弥生の技術 弥生人の祈り 争いとムラの統合	支配者の誕生 前方後円墳の時代 ムラの暮らしと渡来系文化 律令国家と讃岐 讃岐国の成立 条里制 寒早十首の世界 仏教文化の伝来と発展・変容 国分寺と古代寺院 讃岐の高僧たち 仏教の変容と末法思想 律令体制の変容 地方政治の変質と純友の乱	武家政権の成立 崇徳上皇と源平合戦 讃岐の荘園・公領 蒙古襲来 細川氏の支配と文化 細川氏と讃岐 中世の流通 中世讃岐の神仏信仰 信仰の広がり 讃岐の戦国時代 細川氏から三好氏へ 長宗我部元親と讃岐	統一政権と生駒藩 統一政権と生駒藩 生駒氏の讃岐支配 生駒騒動 三藩の成立 高松藩の成立 丸亀・多度津藩の成立 幕府領と朱印地 讃岐三白と廻船 町の暮らし 村の暮らし 讃岐廻船と湊の発達 金毘羅参詣と四国遍路 金毘羅参り 四国遍路と旅する人々 幕末の動乱 開国と攘夷のはざままで 幕末外交使節と讃岐人の活躍 明治維新と讃岐の動向	香川県の成立 藩から県へ 博文社と分県独立運動 第三次香川県の成立 文明開化と殖産興業 「開化」と人々の暮らし 博覧会と産業の近代化 デモクラシーと民衆 日清・日露戦争と農村の変化 大衆文化と観光地の発展 民衆運動のたかまり 戦中・戦後の県民生活 15年戦争のはじまり 戦後の復興 戦後の公営住宅
詳覧映像	瀬戸内海の2万年 銅鐸絵画の世界	讃岐の古代遺跡 讃岐のみほとけ 菅原道真と讃岐	水主神社の経函 中世の埋納銭	寛政の百姓一揆 讃岐三白 庄屋の蔵ガイダンス映像	香川の近代建築1・2 汽車が電車が香川を走る 戦後の公営住宅

## ②常設展示

歴史・美術にかかわるテーマの展示を、収蔵品を中心に企画し、展示している。歴史の展示では従来と同様に展示ごとに観覧の補助として、解説シートを作成し、美術の展示では作品鑑賞カードを、それぞれ観覧者へ無料配布した。また、会期中には担当学芸員によるミュージアムトークを実施した。

明治150年に合わせた企画として、歴史系の常設展2回、美術系の常設展2回を企画し、合わせてロビーを利用したパネル展も2回開催した。

また、展示に合わせてシンポジウムや講座も開催し、香川の歴史・美術への関心を深めてもらうよう努めた。

来館者の多いゴールデンウィークには、「国宝 藤原佐理筆詩懐紙」の特別公開も行った(4月27日～5月13日)。常設展示室1「テーマ展示」では6本の企画を行った。展示内容については別表に掲載している。

常設展示室1は、平成29年度と同様に、展示室を「高松松平家歴史資料コーナー」「テーマ展示」の2コーナー構成とした。平成30年度は、テーマが高松松平家に関わるものが多く、その場合はコーナーを分けず展示を展開した。

「高松松平家歴史資料コーナー」の展示資料は同時期に開催しているテーマ展示の解説シートに掲載するようにした。

「屏風絵の世界を読み解く」は、収蔵する屏風を2期に分けて展示した。複数所蔵する源平合戦図屏風や、香川県指定有形文化財「高松城下図屏風」については、細部の描写に注目してもらうようパネルを工夫した。また、屏風がどのように使われていたかについても、絵画資料で紹介した。明治150年関連企画として、「讃岐の幕末」、「高松藩の明治維新」を開催した。「讃岐の幕末」では、これまで知られていなかった資料の調査成果も反映し、幕末維新时期に讃岐で起こった事件などについて紹介した。

「高松藩の明治維新」では、収蔵資料により維新时期の高松藩や、廃藩後香川県が成立する過程について紹介した。また、会場では旧高松藩士で香川県の分県独立に重要な役割を果たした中野武營の没後100年を記念して発足した顕彰会と共催で、パネル展を開催した。

小学校の社会科の授業への活用してもらおうと毎年実施している「道具とくらしのうつりかわり」では、近年収蔵した資料も活用しながら、当館ボランティアの活動として継続している定点観測で撮影した写真もパネル展示し、景観の変化を感じ取れるようにした。

「春をさがそう」は、高松松平家歴史資料から春をテーマにした書跡・絵画・工芸品を通じて、春という季節がどのように表現され、そのイメージがどのように定型化されてきたかを紹介した。

常設展示室2は年4回の展示替えを行った。そのうち2回は「アート・コレクション 20世紀の美術」として、当

館が収蔵する西洋美術の作品を紹介した。ほか2回は、「人の姿」として、Iを顔、IIをからだというテーマ設定として、収蔵する絵画・彫刻作品によって、さまざまな作家による「人の表現」を紹介した。

常設展示室3は「空海室」として香川出身の弘法大師空海を紹介する。展示室は京都東寺の灌頂院の一角を縮小して再現し、曼荼羅と五大尊像を掲出する内陣空間を演出する。「弘法大師空海の生涯と事績」というテーマで常設展示している。曼荼羅と五大尊像は実物の複製と現代に新たに制作されたものを定期的に入れ替えている。

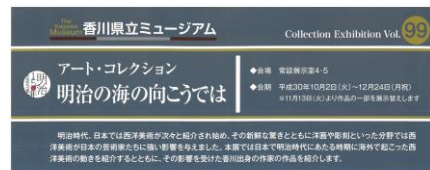
6月28日から7月22日の期間は、第83回香川県美術展覧会の会場として使用した。

常設展示室4・5「アートコレクション」では、テーマ展を3回開催し、解説シートも作成した。うち、2回は明治150年関連企画として開催した。

「香川工芸 明治譚」では、収蔵する工芸品を通して、明治の美術・工芸を取り巻く時代背景や、明治から昭和初期にかけての香川工芸を紹介した。

「明治の海の向こうでは」は、絵画作品を中心に、明治時代に海外で起こった美術の動きとともに、その影響を受けた香川出身の作家の作品を紹介した。

「建築家・山本忠司」は、京都工芸繊維大学美術工芸資料館連携事業として、同館で開催された展示をベースにしながら、香川県内にある実物資料を合わせて展示した。香川県職員であり、20世紀の香川を代表する建築家・山本忠司が、「風土に根ざし、地域を育む建築を求めて」残した建築を、写真家・市川靖史の建築写真、模型、図面、山本が書き残したノートなどの資料により紹介した。次年度に開催する予定の特別展「日本建築の自画像」をPRする機会にもなった。



1 自然主義、印象主義と小林高貞

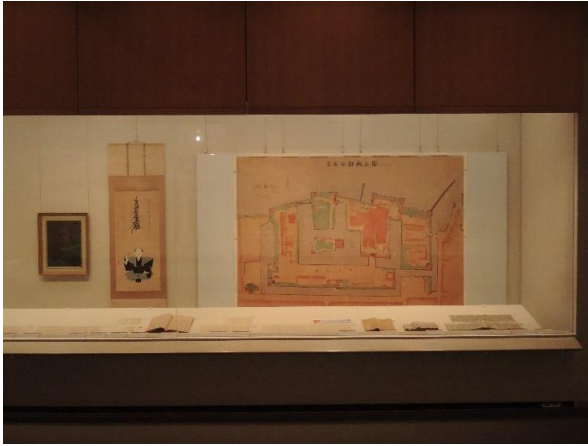
- 吉田博 (1876-1950) は福井出身の画家です。明治4年(1871)の年(12)日本の帰国を志した日本人による美術留学です。西洋絵画の基礎を学んだ後、海外でも美術界で活躍しました。西洋絵画の基礎を学んだ後、海外でも美術界で活躍しました。
- 西沢純吉 (1876-1950) は福井出身の画家です。明治4年(1871)の年(12)日本の帰国を志した日本人による美術留学です。西洋絵画の基礎を学んだ後、海外でも美術界で活躍しました。
- 小林高貞 (1876-1950) は香川出身の画家です。明治4年(1871)の年(12)日本の帰国を志した日本人による美術留学です。西洋絵画の基礎を学んだ後、海外でも美術界で活躍しました。

● 吉田博 (1876-1950) は福井出身の画家です。明治4年(1871)の年(12)日本の帰国を志した日本人による美術留学です。西洋絵画の基礎を学んだ後、海外でも美術界で活躍しました。

● 西沢純吉 (1876-1950) は福井出身の画家です。明治4年(1871)の年(12)日本の帰国を志した日本人による美術留学です。西洋絵画の基礎を学んだ後、海外でも美術界で活躍しました。

● 小林高貞 (1876-1950) は香川出身の画家です。明治4年(1871)の年(12)日本の帰国を志した日本人による美術留学です。西洋絵画の基礎を学んだ後、海外でも美術界で活躍しました。

### 解説シート「明治の海の向こうでは」



常設展示室1「讃岐の幕末」展示風景



常設展示室4・5「建築家・山本忠司」展示風景

常設展示一覧 ※表中Noは、解説シート発行番号

	展示名	内容	会期
常設展示室1			
1	高松松平家歴史資料	高松 12 万石を治めた大名高松松平家に伝来する国宝や重要文化財をはじめとする名宝の数々や大名・華族のくらしや文化を物語るさまざまな歴史資料を季節や話題にあわせて紹介した。高松松平家歴史資料を紹介する解説シートを配布した（常設展示1のテーマ展示に合わせて展示品を入れ替え、展示品一覧についてはテーマ展示解説シートに掲載）。展示件数：7 件（テーマ展示に含まれるものを除く）	通年（下記テーマ展示に合わせて、展示替え、ミュージアムトークを行った）
2	屏風絵の世界を読み解く No.95	四季花鳥図屏風や源平合戦図屏風等、当館が所蔵する江戸時代の屏風絵を一挙公開し、そこに描かれた世界を紹介した。展示件数：12 件	4.27（金）～7.29（日） ミュージアムトーク 4 回
3	明治 150 年関連企画 讃岐の幕末—新時代到来のゆらぎ— No.97	幕末を経て「明治」という新しい時代を迎え、近代化へと進んでいく過程において政治、社会は大きくゆらぎ、時に大きな対立や衝突が生まれた。讃岐の幕末における状況の一端を新出資料等も交えて紹介した。展示件数：50 件	8.3（金）～9.24（月・祝） ミュージアムトーク 2 回
4	明治 150 年関連企画 高松藩の明治維新—新時代を生きた侍たち— No.98	明治維新という大きな変革を経て、新しい時代を生きた旧高松藩主やその家臣たちの姿や、彼らが地域の近代化に果たした役割を紹介した。同時開催でパネル展「没後 100 年香川県独立の父 中野武宮とその生涯」を実施した。展示件数：41 件	10.2（火）～12.24（月・祝） ミュージアムトーク 3 回
5	道具とくらしのうつりかわり No.100	小学 3 年生で学ぶ「古い道具と昔のくらし」や総合的な学習に利用してもらおうと、衣・食・住に関連したさまざまな道具を展示した。 展示件数：43 件	H31.1.2（水）～2.24（日） ミュージアムトーク 2 回
6	春を探そう—表現された春— No.102	高松松平家歴史資料を中心に、春をテーマとした絵画や和歌、春をモチーフにした道具等を展示し、先人たちが季節をどのように表現し、愛でていたのかを紹介した。 展示件数：23 件	H31.3.5（火）～4.21（日） ミュージアムトーク 2 回
常設展示室2			
8	アート・コレクション 20 世紀の美術 I	パブロ・ピカソ「編み物をする女とそれを見る人」等、20 世紀前半の油彩作品を展示した。展示点数：5 件	4.17（火）～6.24（日） ミュージアムトーク 2 回



9	アート・コレクション 人の姿Ⅰー顔ー	芸術家にとって最も身近なモチーフのひとつである人物をテーマにした作品を展示。 Ⅰ期では「顔」に着目し、自分の顔や家族の顔、いろいろな顔の表現を紹介した。展示点数：9件	7.24(火)～10.8(月・祝) ミュージアムトーク2回
10	アート・コレクション 20世紀の美術Ⅱ	本展では、ジョルジュ・ルオー「モニック」等の20世紀の西洋美術をテーマに展示した。展示点数：24件	10.10(水)～12.24(月・祝) ミュージアムトーク2回
11	アート・コレクション 人の姿Ⅱーからだー	人物をテーマにした作品を紹介。 「顔」に続き、Ⅱ期では「身体」に着目し、力強い身体やしなやかな身体を芸術家はどのように表現したのか、さまざまな作品を通して紹介した。展示点数：15件	H31.1.2(水) ～4.14(日) ミュージアムトーク2回
常設展示室3			
12	弘法大師空海の生涯と事績	空海の生涯と事績について関連資料を通して紹介。空海ゆかりの国宝・重要文化財など貴重な資料の複製品を中心に、館蔵の四国偏札図、納経帳など遍路関係資料を展示。曼荼羅図等や遍路関連資料は年4回展示替えを実施した。	Ⅰ期3.6～6.24 Ⅱ期7.25～9.17 Ⅲ期9.19～12.16 Ⅳ期12.18～3.10
常設展示室4・5			
13	明治150年関連企画 アート・コレクション 香川工芸 明治譚	明治時代は、香川における工芸の礎が築かれた時代とも言える。明治時代を中心に当時の香川工芸の展開を紹介した。展示点数：27件	7.28(土)～9.24(月・祝) ミュージアムトーク2回
14	明治150年関連企画 アート・コレクション 明治の海の向こうでは	日本で明治時代に当たる19世紀末から20世紀初頭の西洋美術作品とともに、欧州留学や当時の雑誌等を通じて西洋美術を知り、作品に取り入れていった作家たちの作品を紹介した。展示点数：31件	10.2(火)～12.24(月・祝) ミュージアムトーク3回
15	京都工芸繊維大学美術工芸 資料館連携事業 建築家・山本忠司 風土に根ざし、地域を育む建築を求めて	丹下健三、大江宏、大高正人らとの協働を経て、地域が育んだ豊かな技術や素材に目覚め、風土と溶け合う建築へと到達した山本忠司。地域に根ざした山本の多面的な仕事をたどり、今日的な意義を紹介した。展示点数：39件	H31.1.26(土)～4.7(日) ミュージアムトーク3回

### ③特別展示

春の「イサム・ノグチ」展は、館蔵品のノグチ作品を最大限に活用し、大分県立美術館・東京オペラシティ アートギャラリーとの共同企画で巡回展を開催した。

入場者数、図録の販売数ともに目標値を上回り、シンポジウムや講演会などの関連行事についても、県内外から定員を上回る応募があり、イサム・ノグチの知名度の高さ、国内では12年ぶりとなるノグチの回顧展への期待の高さを改めて感じることができた結果となった。

他館と共同開催とすることで、経費を抑えながら海外作品も借用するなど展覧会を充実させることができた。また、館蔵品を巡回させることにより、県外での当館の知名度を高めることができた。通常の展覧会に比べ、有料率が37.6%と通常より高く、30～50代の来館者が多かった。

広報面では、主催の読売新聞社、共催の四国新聞社が、会期中を通して広告や作品紹介を掲載した効果が高かった。

アンケート結果から、県外来館者の多くは四国・岡山県

からであることがわかり、JR四国とのタイアップによる四国内の駅のポスター掲示、マリンライナー車内吊り、JR岡山駅ポスター駅貼りが来館者増に寄与したと言える。

新たな取り組みとして、旅行会社にイサム・ノグチ庭園美術館と当館を巡るツアーの提案を行った。19社に提案した結果、6社8ツアーが実現し、199名参加した。

また、自転車ウェアブランドによるサイクリングツアーイベントへの協力を行い、イベント参加者への展示解説を実施した。参加者は、2日間で49名だった。成果として、これまでのミュージアムの来館者層とは違う層に対して、当館の認知度を高めることができたこと、イベント主催者が持っているSNSでの発信力を利用する形で、展覧会について広く広報をすることができたことが挙げられる。

夏から秋にかけては、香川県立ミュージアム10周年記念として、当館の多分野にわたるコレクションを活用した展

示を2期に分けて開催した。

Part I 「いろ・かたち・わくわくのひみつ」では、夏休み中の家族連れを主なターゲットとして、県内の小学校、保育園・幼稚園への広報に力を入れた。

展示内容も、子どもにもわかりやすく楽しめるよう工夫し、鑑賞ツールや関連のワークショップを充実させた。

Part II 「いつものくらし これ、いいね。」では、主に大正～昭和時代に使われていた生活道具や衣類を展示した。

歴史・民俗の分野で収集した資料を美術学芸員の視点で展示し、斬新な展示方法で収蔵資料の新たな魅力を引き出すことができた。

予算的に有料の広報を行うことが難しかったこともあり、会期中、学芸員のおススメ資料をツイッターで発信するなど、SNSを活用した広報にも積極的に取り組んだ。

来館者数は目標値に届かなかったが、多分野の学芸員が在籍するという利点を活かし、収蔵品を新たな視点で紹介できたことや、限られた予算の中で魅力的な会場づくりを実現する方法を検討したことなど、今後につながる成果も得られた。

3月には香川県陶芸協会との共同企画で、「やきものが好き!!アートも好き。」を開催した。陶芸協会の会員の作品と、当館の収蔵品を組み合わせ、讃岐の多様なやきものを紹介した。出品作家による展示解説や、関連行事として開催した講座・ワークショップにも多数の参加があり、讃岐の

やきものの魅力を知っていただくことが出来た。

そのほかに、恒例となっている「香川県美術展覧会（県展）」、「日本伝統工芸展」も開催した。第83回香川県美術展覧会は、観覧者の利便性を高めるため、会期を3期から2期に変更し、各会期の日数を増やして開催した。

会期中、審査員のギャラリートークを増やしたり、会場に中学生の作品を合わせて展示したりするなど、来場した方に新しい県展のイメージを感じてもらえるように工夫した。また、ポスターや展示目録のデザインも一新して、新しいイメージを打ち出した。

さまざまな取り組みを試みているが、出品者・観覧者ともに減少傾向であることは変わらず、今後も県展のあり方を検討し、改善を継続していく必要がある。

日本伝統工芸展は、平成25年度から入場者数の減少が続いていたが、第65回展は64回に比べ350名増加した。染織の展示点数が増え、新春にふさわしい華やかな雰囲気の良い展示会場になった。例年、関連行事として開催している講演会、列品解説の参加者数も多く、好評だった。

特別展示一覧

	展示名	内容	会 期	入場者数
1	20 世紀の総合芸術家イサム・ノグチ—彫刻から身体・庭—	20 世紀を代表する彫刻家、イサム・ノグチ(1904-1988)。ノグチは彫刻のみならず舞台美術や家具デザイン、陶芸、庭や公園等のランドスケープ・デザイン等ジャンルを超えて幅広く活動。ノグチの芸術の全体像を、約 80 点の国内外の優品により紹介。	4.7(土)～6.3(日) [51 日間] ミュージアムトーク 8 回	16,536 人
2	第 83 回 香川県美術展覧会	県民による美術作品を展覧し、美術に親しむ機会を提供するため県内公募による総合美術展を開催。会期を 2 期にし、展示スペースを広げた。 1 期：日本画、彫刻、書 2 期：洋画、工芸、写真	第 1 期[11 日間] 6.28(水)～7.8(日) 第 2 期[11 日間] 7.12(木)～7.22(日) [計 22 日間] 県内審査員によるギャラリートーク 12 回	8,357 人
3	目からうろこのミュージアム!	ミュージアム設立 10 周年を記念してコレクション展を開催。当館の特性を生かして、さまざまな時代・素材・分野の資料で I 期・II 期それぞれにテーマを設けて構成。 Part I：「いろ・かたち、わくわくのひみつ」 Part II：「いつもの暮らし これ、いいね。」	Part I 8.4(土)～9.24(月・祝) ミュージアムトーク 6 回 キッズトーク 3 回 Part II 10.2(火)～11.25.(日) [94 日間] ミュージアムトーク 9 回	8,622 人
4	第 65 回 日本伝統工芸展	先人から受け継いできた優れた技を磨き、現代生活に即した新しいかたちを探る。重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品、受賞作品及び四国在住作家の入選作品などを紹介。陶芸、漆芸、金工、木竹工、人形など 280 点を展示した。	H31.1.2(水) ～1.20(日) [19 日間] 作家による陳列品解説 5 回	6,102 人
5	やきものが好き!!アートも好き。—土器から現代アートまで—	香川県陶芸協会創立 50 周年を記念し、同協会と県立ミュージアムの共同企画で実施した。縄文時代から現代に至るまでくらしに根差して製作されてきたやきものと、各時代の「陶芸家」たちの挑戦心や気概に満ちた活動を紹介。	H31.3.5(火) ～3.17(日) [12 日間] 作家による作品解説 1 回	1,492 人

20 世紀の総合芸術家イサム・ノグチー彫刻から身体・庭へー



第 83 回香川県美術展覧会



第 83 回県展展示作品数一覧

	入選 (応募数)	無鑑 査	招 待	審 査 員	遺 作	展示点数 総数
日本画	41(91)	1	9	2	1	54
洋画	96(241)	1	13	3	0	113
彫刻	8(18)	1	11	1	0	20
工芸	37(83)	0	9	3	0	50
書	192(479)	1	12	4	0	209
写真	140(353)	1	5	2	0	148
合計	514(1265)	5	59	15	1	594



香川県立ミュージアム 10周年記念コレクション展 目からうろこのミュージアム!



Part I いろ・かたち、わくわくのひみつ



Part II いつものくらし これ、いいね

第65回日本伝統工芸展



第65回伝統展展示作品数一覧

種別	展示作品数	種別	展示作品数
陶芸	65	木竹工	33
染織	21	人形	14
漆芸	85	諸工芸	35
金工	27	合計	280

#### ④ロビー展示

エントランスのにぎわい作りや作品鑑賞の機会拡大のため、ロビーでの展示を実施。これらの中には当館の活動によるものだけではなく、関係機関とのタイアップなどを目的としたものである。

	期 間	展示内容・テーマ・協力者・連携相手など	場 所
1	通 年	イサム・ノグチコーナー	1階図書コーナー
2	通 年	ミュージアム・コレクション(剣持勇のデザイン)	1階多目的室・図書コーナー
3	7.28(土)～ 9.24(月・祝)	明治150年関連 パネル展「与島と大川村」	2階常設ロビー
4	8.12(日)～ 9.24(月・祝)	博物館実習生による パネル展示	1階エントランス
5	10.2(火)～ 12.24(月・祝)	明治150年関連 パネル展「生誕120年 鎌倉芳太郎の業績」	2階常設ロビー
6	10.2(火)～ 12.24(月・祝)	「かがわ文化芸術祭 2018 ポスター原画展」	1階エントランス
7	H31.3.5(火)～ 3.30日(土)	「ミュージアム・ボランティア活動紹介」展示	2階西ロビー

#### ⑤貸館事業

特別展示を行っていない期間について、4団体が特別展示室を利用して展覧会を開催した。総入場者数は、3,868人であった。

展 覧 会 名	主 催	会 期	観 覧 者 数
第20回記念 讃友書展	讃友書道 会	H31.1.24(木) ～1.27(日)	811名
第61回 新協美術展香 川巡回展	新協美術 会香川支 部	H31.2.5(火) ～2.10(日)	545名
第60回記念 墨華書道展	墨華書道 会	H31.2.13(水) ～2.17(日)	1,938名
第26回 莞耿社 四国支部・書 朋会書道展	莞耿社 四国支 部・書朋 会	H31.2.21(木) ～2.24(日)	574名
合計			3,868名

#### (2)館外展示

##### 市町村等企画展示

県立ミュージアムの美術品をより多くの県民に干涉していただくため、県内の各地域と連携し、図書館・資料館等のコミュニティー展示スペースを活用して紹介している。

今年度は10月13日(土)～11月12日(月)までの27日間、東かがわ市歴史民俗資料館において「香川県立ミュージアム所蔵作品による ユニークな芸術家―秋山泰計―」と題して展覧会を開催した。展示作品については、香川県出身の秋山泰計の版画・彫刻作品、おびからくりなど16点を展示し、191名の観覧者があった。また、10月27日には展示解説を行った。

11月29日(木)～12月9日(日)までの10日間は、観音寺市教育委員会との共同企画として、観音寺市立中央図書館において「豊かな空間をつくる イサム・ノグチ×讃岐の中学生」を開催した。当館所蔵作品であるイサム・ノグチのAKARIと県内の中学生が制作した切り絵作品「さぬきる」を同時に展示し、700名の観覧者があった。

#### (3)展示システム

##### ①展示案内(委託業務)

展示室での来館者の誘導、展示資料の保守管理、展示見学補助や体験学習室(1階)での時代衣装の着付け、各種器具の保守管理、図書コーナー・ビデオライブラリーでの利用受付などを業務委託して実施している。なお、展示見学補助の主な内容は、各コーナーでの来館者の質問への対応であるが、業務マニュアルにはない専門的な質問については学芸員に連絡をとり対応する態勢をとっている。業務日報は毎開館日の業務終了時に学芸課へ提出され、内容に応

じて各担当へ報告される。

## ②音声ガイドシステム

歴史展示に関する33項目について、日本語、英語、中国語、韓国語の解説を聞くことができるポータブルROMプレーヤー10台を、歴史展示室入口で貸し出している（無料）。

## (4) 企画・広報

### ①広報活動

香川県立ミュージアムの認知度向上を目標とし、広報活動を「館の活動全般への理解を、広く県内外の方々から得るための活動」と位置づけて展開した。

#### i) 報道機関等への情報提供

展示事業、地域連携事業だけではなく、調査研究事業の成果や、ボランティア活動など、当館の活動全般について報道機関へ積極的に情報を提供し、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などの取材や問い合わせに対応した。主な情報提供については以下の通り。

\* 広聴広報課（県政PRBOX）を通しての情報発信

広報誌「Theかがわ」内「みんなの便利帳」  
ラジオ（RNC西日本放送「こんにちは香川県です」）  
テレビ（OHK岡山放送「サン讚かがわ+」）  
コンビニへのポスター・チラシ配布

\* 報道機関への情報提供

四国新聞「木曜倶楽部」（毎週木曜日掲載）、「イサム・ノグチ展」関連  
テレビ（RSK山陽放送「イブニング5時」）出演

\* インターネットでの発信

「香川県HP」、「楽天ブログ」、「うどん県旅ネット」、「かがわアートナビ」

\* 新聞・出版物への原稿執筆

百十四経済研究所「調査月報」に收藏品紹介  
産経新聞「ミュージアムカフェ」

\* 地元ミニコミ誌、観光案内誌などへの情報提供

#### ii) 広報資料の発送

特別展開催前等の時期に、県内の関連機関、学校、公民館、観光施設や、県外の博物館・美術館などを中心に、展覧会をはじめとする館の活動を紹介する宣材を発送した（平成30年度は、年8回）。

発送する内容によっては、特定の広報先を設定（「第83回香川県美術展覧会」での県内美術関係者や、「目からうろこのミュージアム！」での県内小学校、高松市内の幼稚園・保育園、「第65回日本伝統工芸展」での漆芸関係者など）し、効果的な広報を目指した。主な送付資料は以下のとおり。

- ・展覧会スケジュール
- ・ミュージアムNEWS
- ・特別展などのポスター・チラシ

### 【特別送付】

※高松近郊のデイサービス等の福祉施設へ、利用誘致を目的に、春・秋を中心に、展覧会スケジュール・特別展チラシなどを送付。

※県内学校へ、校外学習利用誘致を目的に、3月に展覧会の紹介や団体利用方法についてまとめたパンフレットを送付。また「第65回日本伝統工芸展」関連のワークショップ「うるしにチャレンジ」では県下小学校の4・5・6年生へ配布し、行事への応募や来館を促した。

#### iii) 有料広報の展開

特別展について、以下の有料広報をおこない、情報発信につとめた

##### ・新聞広告

特別展「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチー彫刻から身体・庭へ」（読売新聞 広告9回、作品紹介4回、四国新聞広告6回、作品解説3回）

特別展「目からうろこのミュージアム！」四国新聞 タブロイド版

特別展「第65回日本伝統工芸展」（朝日新聞 全7段白黒、四国新聞 全3段カラー）

##### ・交通広告

JR駅・車内吊掲示（入場引換券販売とタイアップ、マリンライナー車内吊単独）

ことでん車内吊・有人駅ポスター掲示

・パンフレットラックを設置し、館発行の印刷物を掲示（JR高松駅、ことでん片原町駅、ことでん高松築港駅）

#### iv) Webによる発信

館独自のホームページでは、県政記者室への情報提供などとタイミングを合わせて情報発信した。「目からうろこのミュージアム！」では、Twitterを使って、学芸員のおすすめ展示資料を紹介するリレー解説を実施した。

#### v) その他

学校団体との連携を深めるため、各団体の会議などで内容説明や来館案内をおこなった。（高等学校教育研究会地歴・公民科部会、美術工芸部会など）

## ②パスポート事業

平成22年度より、パスポート事業を開始している。現在の会員に対し更新の案内をするとともに、新規会員獲得のための広報を積極的に行った。

平成29年度からは、特別展の観覧料について、2回目以降半額、同伴者1名も半額にするなど、パスポート購入者への特典を充実させ、さらに販売を促進するとともに、館の利用促進を図った。

また、平成29年度から法人特別展観覧券を新設し、県内の法人に広く周知して販売を促進している。

### ①個人パスポート（会員数は平成31年3月31日現在）

サービス内容

- ・歴史展示室と常設展示室（一般観覧料410円）を無料で観覧できる。
- ・当館主催の特別展（一般観覧料500円～1,000円）を1回目は無料で、2回目以降は半額で観覧できる。（高校生以下の方、65歳以上の方、身体障害者手帳等をお持ちの方は、いずれも無料）
- ・同伴者一人は半額
- ・講演会、学芸講座、ワークショップ参加でポイント進呈  
\*10ポイントで記念品贈呈
- ・会員限定のミュージアムトークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する（平成30年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計7回送付）。

金額	対象	会員数
3,080円	一般	45名
1,020円	高校生以下、65歳以上、身体障がい者手帳等所有者	48名
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

### ②法人メンバーズ（会員数は平成31年3月31日現在）

サービス内容

- ・従業員とその家族が特別展を無料で観覧できる。特別展観覧日に限り、歴史展示室と常設展示室（一般観覧料410円）を無料で観覧することができる。
- ・特別展開会式に案内
- ・特別展観覧会図録を進呈  
\*観覧券綴りの購入冊数に関わらず1法人1冊
- ・学芸員による特別展展示解説
- ・学芸員が企業研修等で無料講義
- ・会員限定のミュージアムトークに案内
- ・当館広報誌、特別展・イベントの案内などを送付する（平成30年度は、広報誌、特別展・常設展やイベントの紹介など、計7回送付）。

金額	対象	会員数
20,000円 （法人特別展観覧券1冊30枚綴り）	従業員を雇用している法人・団体、個人事業主、法人等の従業員及びその家族	2法人
有効期間	購入代金の入金認定日から1年間	

## (5) 展覧会企画力向上事業

美術や歴史に関する展覧会の企画に関し、豊富な経験を持つ学識経験者をアドバイザーに委嘱し、展覧会の企画や施設の活用等について助言を得て、施設の魅力を高め利用者の増加につながるよう、企画力の向上に努めている。

回	月日	内容等	アドバイザー
第1回	5.8（火）	・中期活動計画、地域連携事業について指導助言 ・平成30年度特別展について意見聴取	布谷知夫
第2回	5.11（金）	・展覧会視察 ・香川県美術展覧会の改善について、資料収集方針について意見聴取 ・平成31年度特別展について指導助言	水沢勉
第3回	H31.1.15（火）	・香川県美術展覧会の改善について意見聴取	水沢勉
第4回	H31.2.2（土）～2.3（日）	・地域連携事業視察 ・事業評価について指導助言	布谷知夫
第5回	H31.2.2（土）	・香川県美術展覧会の改善について意見聴取	水沢勉



## 2 地域連携事業

博物館と学校教育との連携や生涯学習等、ミュージアムの学習支援事業に加え、地域との関係や協働にも積極的に取り組んでいる。

講演会・講座、ボランティア活動などの生涯学習や、学校団体の案内、館蔵資料を用いた教材開発とその貸出しといった学校教育への支援、文化財レスキュー計画への参画とそれに伴う地域資料保全に関わる活動等、多彩な事業をおこなっている。

### (1) 学校教育支援事業

#### ① ミュージアム活用研究会

学校教育支援事業について当館職員と学校教員8名が意見を交換した。当館と学校との実質的な連携を促進し、当館の展示や美術作品、歴史・民俗資料を活用した学習プログラムを充実させることで、児童・生徒の学習に寄与することを目的に活動した。

グループ	研究テーマ
歴史グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸亀藩京極家の参勤交代船揃絵馬（山北八幡神社）を用いた学習プログラムの検討</li> <li>織田信長・豊臣秀吉・徳川家康朱印状（塩飽勤番所頭彰保存会）を用いた学習プログラムの検討</li> </ul>
美工グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校との連携による作品鑑賞学習方法の工夫</li> <li>校外学習時の制作物の検討</li> </ul>

ミュージアム活用研究会 歴史



ミュージアム活用研究会 美術



## ②教員向けの講座（ティーチャーズプログラム）

館蔵資料・作品を教材として活用することを目的に、教員を対象とした専門研修(歴史資料活用講座・美術作品鑑賞講座)を2回実施した。

	月日	テーマ	受講者
1	8.2 (木)	歴史資料活用講座 ・「坂出壘田図」教材体験 美術作品鑑賞講座 ・「イサム・ノグチ紙芝居」体験 ・鑑賞教材「アートカード」体験 共通 ・「目からうろこのミュージアム！」 展示解説	4人  7人
		2	H31.1.5 (土)

## ③館蔵資料・作品の複製教材の制作、貸出

歴史資料の複製教材と、美術・工芸作品鑑賞学習教材（アートカード、イサム・ノグチ物語、漆工芸見本）を希望する学校に貸出した。また、常設展「古い道具と昔のくらし」を観覧に来た学校の中で、希望があれば石臼体験を行った。活用研究会で考案し作成した「丸亀参勤船絵馬」「信長・秀吉・家康朱印状」教材は、来年度より貸し出しする予定である。

教材リスト

教材名	原資料
○「城下町」学習教材 ・8分割シート ・14分割パズル	●「高松城下図屏風」 *県指定有形文化財 高松松平家歴史資料
○「坂出壘田図」教材	●「坂出壘田之図」
○「イサム・ノグチ物語」	●(制作物)
○アートカード	●館蔵美術工芸作品
○漆工芸見本	●館蔵品
○石臼	●館蔵備品

貸出状況

○「城下町」学習教材

期間	学校	学年	利用者数
9.19(水)～ 10.12(金)	高松市立一宮中学校	2年	98人

11.12(月)～11.17(土)	高松市総合教育センター	教員	40人
12.8(土)～12.11(火)	高松市立新塩屋町公民館	一般	20人

○アートカード

期間	学校	学年	利用者数
5.13(日)～6.10(日)	坂出市立松山小学校	3年	36人
7.3(火)～2.22(金)	香川総合リハビリテーション福祉センター	利用者	15人

○イサム・ノグチ物語

期間	学校	学年	利用者数
8.10(金)～9.1(土)	高松市立香川第一中学校	1・2・3年	600名
8.22(水)～9.9(日)	香川県立高松北中学校	1年	35人
9.9(日)～9.30(日)	観音寺市立豊浜中学校	3年	70人
1.5(日)～2.3(日)	高松市立玉藻中学校	2年	195名

○漆工芸見本

期間	学校	学年	利用者数
9.9(日)～9.30(日)	観音寺市立豊浜中学校	1・2年	101人
1.5(日)～2.3(日)	高松市立玉藻中学校	2年	195人

○石臼体験

月日	学校	学年	利用者数
10.18(木)	さぬき市立志度小学校	3年	95人
10.19(金)	綾川町立陶小学校	3年	44人
10.31(水)	さぬき市立さぬき北小学校	3年	42人
2.7(木)	高松市立古高松小学校	3年	92人
2.13(水)	高松市立高松第一小学校	3年	111人
2.14(木)	三木町立田中小学校	3年	15人

年生) への出前講座「太田の昔を調べて、伝える活動をしよう(総合学習)」を実施した。

また、ミュージアム活用研究会における学習教材制作に伴い、委員の一人が試作品を用いた授業を実施したことから、授業内容の見学および資料の解説補助として、高松市立太田小学校(6年生)へ出向いた。



太田小学校(6年生)の授業の様子

④学校への広報

ミュージアムでできる学習内容や貸出教材を紹介したパンフレットを3月末までに作成し、県内の各学校に送付した。



この他に、学校側からの要請により、高松市立太田小学校(4

### ⑤校外学習への協力

各学校の校外学習を積極的に受け入れ、児童・生徒の歴史・美術学習を支援する。

#### 学校団体利用一覧

校種	学校団体名		総人数 (引率 者含)	月日
幼稚園・ 保育所 のべ7園 326人	1	城東保育園年中・年長組	53	5.24(木)
	2	高松幼稚園5歳児	70	5.29(火)
	3	高松保育園	37	5.31(木)
	4	亀阜幼稚園年長組	56	6.1(金)
	5	城東保育園年中組	26	9.7(金)
	6	城東保育園年長組	27	9.13(木)
	7	亀阜幼稚園年長組	57	9.21(金)
小学校 のべ 32校  2139人	1	高松市立亀阜小学校6年	112	4.25(水)
	2	高松市立木太小学校6年	98	4.27(金)
	3	綾川町立昭和小学校6年	46	4.27(金)
	4	高松市立花園小学校6年	51	5.1(火)
	5	さぬき市立志度小学校6年	106	5.1(火)
	6	高松市立新番丁小学校6年	141	5.1(火)
	7	坂出市立金山小学校5年	41	5.2(水)
	8	高松市立大野小学校6年	72	5.2(水)
	9	高松市立仏生山小学校6年	91	5.2(水)
	10	高松市立香南小学校6年	67	5.2(水)
	11	高松市立林小学校6年	142	5.18(金)
	12	高松市立一宮小学校6年	122	5.23(水)
	13	小豆島町立苗羽小学校1・2・4・5年	71	9.20(木)
	14	丸亀市立栗熊小学校5年	31	9.21(金)
	15	まんのう町立満濃南小学校6年	32	10.3(水)
	16	さぬき市立志度小学校3年	101	10.18(木)
	17	善通寺市立筆岡小学校3年	32	10.19(金)
	18	東かがわ市立白鳥小学校3年	18	10.19(金)
	19	綾川町立陶小学校3年	50	10.19(金)
	20	さぬき市立さぬき北小学校3年	45	10.31(水)
	21	まんのう町立仲南小学校4年	35	11.2(金)
	22	東かがわ市立大内小学校3年	64	11.2(金)
	23	坂出市立府中小学校5年	28	11.9(金)
	24	高松市立鶴尾小学校3年	32	1.16(水)
	25	宇多津町立宇多津小学校6年	90	2.1(金)
	26	高松市立古高松小学校3年	94	2.7(木)
	27	高松市立高松第一小学校3年	106	2.13(水)
	28	三木町立田中小学校3年	16	2.14(木)
	29	高松市立円座小学校6年	122	2.14(木)
	30	高松市立牟礼北小学校6年	59	2.15(金)

	31	まんのう町立四条小学校特別支援学級	5	2.15(金)
	32	さぬき市立神前小学校6年	19	3.8(金)
中学校 のべ 11校  534人	1	さぬき市立さぬき南中学校1年	124	4.24(火)
	2	さぬき市立長尾中学校美術部	13	5.5(土)
	3	高松市立牟礼中学校1年	165	5.11(金)
	4	高松市立香川第一中学校	11	5.27(日)
	5	土庄町立土庄中学校美術部	7	6.2(土)
	6	さぬき市立さぬき南中学校美術部	5	6.2(土)
	7	善通寺市立善通寺東中学校美術部	24	6.2(土)
	8	香川大学教育学部附属坂出中学校美術部	11	6.2(土)
	9	観音寺市立豊濱中学校美術部	12	6.2(土)
	10	台湾瑞芳中学校	11	6.2(土)
	11	まんのう町立満濃中学校2年	151	6.20(水)
高等 学校 のべ 12校  787人	1	香川県立高松工芸高等学校美術科	78	4.20(金)
	2	香川県立笠田高等学校2年	123	4.25(水)
	3	香川県立高松工芸高等学校	20	5.8(火)
	4	徳島県立徳島北高等学校美術部	27	5.27(日)
	5	香川県立高松工芸高等学校デザイン科	32	7.4(水)
	6	香川県立高松工芸高等学校美術科	72	7.18(水)
	7	英明高等学校	34	7.19(木)
	8	香川県立高松工芸高等学校	18	8.31(金)
	9	本郷学園高等学校1団	163	10.18(木)
	10	本郷学園高等学校2団	160	10.18(木)
	11	香川県立高松工芸高等学校	52	1.11(金)
	12	明德義塾高等学校	8	1.19(土)
特別支 援学校 のべ 7校  161人	1	香川県立善通寺養護学校	11	7.13(金)
	2	香川県立香川東部養護学校	15	6.21(木)
	3	香川県立香川中部養護学校中等部2年	52	10.4(木)
	4	香川県立香川東部養護学校	9	12.13(木)
	5	香川県立聾学校	4	1.24(木)
	6	香川県立香川丸亀養護学校小学部	36	2.8(金)
	7	香川県立香川丸亀養護学校中学部	34	2.8(金)
大学・ 短期大 学・ 高等専 門学校・ 専門学 校 のべ 17校  315人	1	香川県立高等技術学校高松校	13	5.10(木)
	2	香川大学	21	5.23(水)
	3	高松短期大学	3	5.26(土)
	4	四国学院大学	11	6.2(土)
	5	徳島文理大学	8	6.9(土)
	6	香川大学教育学部	4	6.9(土)
	7	高松短期大学	25	6.23(土)
	8	香川県立保健医療大学	7	7.18(水)
	9	聖心女子大学史学科日本中世史ゼミ	16	9.9(日)
	10	香川大学	15	11.7(水)
	11	高松短期大学	73	11.10(土)
	12	高松大学	17	11.24(土)
	13	香川大学	12	12.9(日)

	14	徳島文理大学	23	12.13(木)
	15	四国学院大学	37	1.26(土)
	16	香川県立高等技術学校	22	2.5(火)
	17	天理大学	8	2.11(月)
学童保育・ その他 のべ2団体 34人	1	学童保育なかよしクラブ	24	7.31(火)
	2	仲南小歴史探訪クラブ	10	9.23(日)

### ⑥教員研修会への協力

#### ●香川県高等学校地歴公民部会

月 日：5月9日(水) 参加者：57人

場 所：当館

担 当：瀧上華(当館職員)

#### ●香川県小学校教育研修会仲善支部夏季研修会(図工部会)

月 日：7月25日(水) 参加者：27人

場 所：善通寺市立竜川小学校

担 当：田口慶太(当館職員)

### ⑦職場体験学習・インターンシップへの協力

平成30年度は、県内の中学校・高等学校計19校49人が当館で職場体験学習・インターンシップを実施した。

日程	学校名	参加者
7.4(水)～ 7.5(木)	香川県立高松工芸高校 工芸科	6人
7.4(水)～ 7.5(木)、 7.9(月)	香川県立高松工芸高校 デザイン科	3人
7.24(火)、 7.27(金)～ 7.28(土)	香川県立三木高校	2人
8.30(木)～ 8.31(金)	さぬき市立志度中学校	2人
9.11(火)～ 9.12(水)	高松市立協和中学校	3人
9.11(火)～ 9.13(木)	高松市立桜町中学校	3人
9.11(火)～ 9.13(木)	高松市立国分寺中学校	2人
9.12(水)～ 9.14(金)	高松市立下笠居中学校	1人
9.13(木)～ 9.14(金)	高松市立木太中学校	2人
9.18(火)～ 9.19(水)	高松市立牟礼中学校	3人
10.2(火)～ 10.4(木)	高松市立山田中学校	2人
10.3(水)～ 10.4(木)	高松市立玉藻中学校	2人

10.16(火) ～10.17(水)	高松市立一宮中学校	3人
10.18(木) ～10.19(金)	香川大学附属高松中学校	3人
11.6(火)～ 11.8(木)	高松市立勝賀中学校	2人
11.14(水) ～11.16(金)	さぬき市立さぬき南中学校	1人
12.11(火) ～12.13(木)	高松市立太田中学校	2人
1.23(水)～ 1.24(木)	高松市立高松第一中学校	2人
1.23(水)～ 1.25(金)	香川県立津田高等学校	5人

### ⑧大学との連携

#### ○インターンシップの受入

高松短期大学秘書科1年生 5名(1～3月中の7日間)

#### ○館内見学等受入

月日	大学	種別	人数	備考
5.23(水)	香川大 学	国際交流事業・ 授業	25人	
6.2(土)	四国学 院大学	学芸員資格	14人	
6.9(土)	徳島文 理大学	学芸員資格	9人	
6.9(土)	香川大 学	教育学部生活科 研究	4人	
6.23(土)	高松短 期大学	「芸術文化」学 外授業	36人	
7.18(水)	保険医 療大学	国際交流事業	7人	
11.24 (土)	高松大 学	教職課程	21人	
2.11 (月・祝)	天理大 学	歴史学実習	9人	

#### ○館外講師派遣

月日	大学	テーマ	派遣職員	備考
6.10(日)	香川大 学	中世野原荘に 関わる遺跡発 掘状況・地質 調査について	佐藤竜馬	考古学
9.10(月) ～14(金)	四国学 院大学	博物館資料保 存論	渋谷啓 一・上野	博物館 学



			進・野村 美紀・田 口慶太・ 御厨義道	
12.15 (土)	高松大学・高松短期大学	高松城下凶屏風について、高松城下について	御厨義道	近世史
1.26 (日)	四国学院大学	香川県立ミュージアムにおける博学連携	藤田順也 御厨義道	

### ⑨博物館実習

当館では、博物館学芸員資格の取得課程の一環として、大学からの依頼により実習生を受け入れている。平成30年度は、8月7日(火)～12日(日)の6日間に、8名の実習生の受け入れを行い、当館近辺のパブリック・アート調査を行った。実習成果については、1階エントランスホールにて『MITEMIMAI』(2018)～身近なパブリック・アートの変遷 in 香川～と題して展示した。

<実習生の大学別内訳>

立命館大学1名、同志社女子大学1名、成城大学1名、秋田公立美術大学1名、広島大学1名、鳥取大学1名、京都産業大学1名、ノートルダム清心女子大学1

月日	実習内容
8.7(火)	挨拶、オリエンテーション、館内見学、県立ミュージアムの仕事について(講義)、事前課題についてディスカッション(実習)
8.8(水)	パブリック・アート調査①中央公園(実習)、聞き取り調査(実習)、調査①の整理・調査②に向けて(実習)
8.9(木)	パブリック・アート調査②高松港周辺(実習)、聞き取り調査(実習)、調査①②の整理・パネル展作成の役割分担(実習)
8.10(金)	パネル原稿作成・内容の検討(実習)
8.11(土)	パネル原稿作成・内容の検討(実習)
8.12(日)	パネル作成作業(実習)、展示作業(実習)、展示発表(実習)、挨拶



### ⑩体験学習室

体験学習室では、近年見かけることが少なくなった伝統的な玩具が用意され、昔の遊びを体験できる。また、十二単や甲冑の試着ができるコーナーもあり、外国人観光客などにも人気である。遠足で訪れる学校団体に好評で、クラスで数名が試着し、皆で囲んで記念撮影を行っている。

体験学習室備品一覧

衣装	十二単 甲冑 貫頭衣	桧扇 弓 古墳時代の甲冑 (厚紙製)
遊具	盤双六 けん玉 お手玉 将棋 こま かわりごま ベーゴマ めんこ おはじき かるた 土器パズル 組み木パズル トントンずもう むかしばなし	絵双六 ヨーヨー 投扇興 囲碁 力士ごま 駒まわし台 ベーゴマ台 ビー玉 だるま落とし 百人一首 絵パズル 貝合わせ 紙芝居用舞台
楽器	篠笛 能管 ひちりき 神楽鈴 拍子木	龍笛 尺八 カンカン石 小鼓
帽子	折烏帽子 御冠	張貫立烏帽子
その他	姿見 千両箱 高松張子 張子の虎 十二支パズル みとり(綿繰り機) 昔遊びの本 香川県のパズル マナーフィッシュ	源内のぞきめがね 箱枕 箱膳 奉公さん 獅子頭 竹製水鉄砲 香川県を探せパズル 十二支パズル

### ⑪図書コーナー

図書コーナーは体験学習室に隣接して、設置している。約4,000冊の蔵書(歴史、民俗、美術に関係するもの)を常備し、利用者が自由に閲覧できるようにしている。

## ⑫ビデオライブラリー

ビデオライブラリーでは2種類の映像公開を行っている。

ビデオテープ閲覧コーナーでは314本のビデオテープを常備し、来館者は希望すれば映像を閲覧できる。

また、3階の歴史展示室内の詳細映像や香川県の民俗表示の映像(下記一覧表参照)を自由に選べるタッチパネル操作のモニター画面を設置している。

<ビデオライブラリー制作番組一覧>

ジャンル	考古	発掘調査に挑戦 銅鐸絵画の世界 瀬戸内海の2万年 讃岐の古代遺跡
	歴史	讃岐の古代仏教 若き日の弘法大師 空海 菅原道真と讃岐 悲劇の上皇 崇徳院 志度の玉取り伝説 水主神社の経函 中世の埋納銭 ヤジさん キタさん金毘羅へいく 江戸の科学 寛延の百姓一揆 讃岐三白 香川の 近代塩業 戦後の公営住宅 汽車が 電車が香川を走る 坂出・宇多津変り ゆく郷土 香川の近代建築1・2
	美術	香川の国宝 讃岐のみほとけ
	民俗	肥土山農村歌舞伎 安田おどり 坂 本念仏踊 滝宮の念仏踊り～雨乞奉 納～・～常例奉納～ 櫃石ももて祭 北条念仏踊 綾南の親子獅子舞 庵 治締太鼓 祇園座 勅使本村の獅子 舞 直島女文楽 虎頭の舞 尺経獅 子舞 南川太鼓 家浦二等獅子舞 生里ももて祭 賀茂神社長床神事 さいさい踊 田野々雨乞踊 吉津夫 婦獅子舞 和田雨乞踊 綾子踊 神 野神社湯立神事(神楽) 蹴鞠 木熊 野神社特殊神事 シカシカ踊り 垂 水神社湯立神事(神楽) 南鳴念仏踊 弘法大師信仰 讃岐雨乞物語
香川県全域		水とくらし

## (2) 地域連携活動

### ①職員の講師派遣

月日(曜)	講師氏名	テーマ・内容	場所	参加者数 (単位:人)
5月1日(火)	佐藤竜馬	龍崗山一男墳・横岡山古墳 について	龍崗山一男墳・横岡山古墳	53
5月9日(水)	瀧上華	イサム・ノグチについて	県立ミュージアム研修室	57
5月14日(月)	佐藤竜馬	南無道について	香川県立丸亀競技場	60
5月18日(金)	渋谷啓一	古代の刈田郡・三野郡につ いてー時代を動かした讃岐 びとの姿ー	観音寺市中央図書館	40
5月24日(木)	渋谷啓一	時代を動かした讃岐びとた	綾川町立生涯学習センター	45

		ち 古代の綾川について		
5月26日(土)	上野進	絵図こみ近世の普通寺境 内	総本山普通寺 遍照閣	90
6月10日(日)	佐藤竜馬	中世野原田に関する遺跡発 掘状況・地質調査について	県立ミュージアム館内および周 辺	8
6月15日(金)	御厨義道	シンポジウム「南海トラフ 地震に向けた文化財の防 災・減災ー四国四県の取り 組みから考える」	高知県立高知城歴史博物館	80
7月25日(水)	田口慶太	香川漆芸について/漆芸品 を触ってみる	普通寺市立竜川小学校	27
8月5日(日)	上野進	平成30年度おへんろつか さ養成講座「江戸時代のへ んろ」	おへんろ交流サロン	9
8月18日(土)	田口慶太	讃岐漆芸が育む工芸とアー ト	サンクリスタル高松	36
9月5日(水)	渋谷啓一	時代を動かした讃岐びと 刈田郡・三野郡編	観音寺市共同福祉施設	82
9月21日(金)	佐藤竜馬	高松西高から香川県ミュ ージアムへ	高松西高等学校	約100
9月23日(土)	御厨義道	秋のあそびの広場 ミュ ージアムへ行こう	9/23 かみむ総合リハビリテー ションセンター	10
10月28日(土)	橋本武生		10/28 香川県立ミュージアム	12
10月8日(月 祝)	田口慶太	東山庵夷 自然ま心の鏡	愛媛県立美術館 講堂	120
10月13日(日)	上野進	世界遺産登録推進事業 善 通寺調査報告会「普通寺の 歴史的変遷と文化財」	総本山普通寺	70
10月19日(日)	上野進	太田の昔を調べて、伝える 活動をしよう(総合学習)	高松市立太田小学校 体育館	130
11月9日(金)	長井博志	葉袋のデザインと人々の笑 顔	観音寺市大野原中央図書館	25
12月1日(土)	御厨義道	里海学びの講座 高松城と 海の関わり	高松城周辺(まち歩き)	29
12月2日(日)	野村美紀	伯爵松平家と近代(四国の 大名華族)の香川編	徳島城博物館館内室	71
12月15日(土)	御厨義道	高松城下町界隈について、 高松城下について	高松大学・高松短期大学	70
12月18日(火)	渋谷啓一	さぬきの古代史 那珂郡を 中心に	丸亀市生涯学習センター	29
12月22日(土)	御厨義道	さぬき市の近世期の特徴こ ついて(鶴井家文書を中心 に)、ボランティア活動につ いて	さぬき市歴史民俗資料館	13
1月7日(月)	御厨義道	讃岐の大名	県立ミュージアム講堂	167
1月7日(月)	一柳友子	日本伝統工芸展	県立ミュージアム講堂	167

1月11日(金)	御厨義道	讃岐の大名	県立ミュージアム講堂	52
1月11日(金)	谷川洋朗	日本の伝統工芸展	県立ミュージアム講堂	52
1月20日(日)	野村美紀	近代さぬき市の文化遺産	さぬき市歴史民俗資料館	15
1月26日(日)	藤田順也 御厨義道	香川県立ミュージアムにおける博覧動機	県立ミュージアム	34
2月10日(日)	芳澤直樹	ADEAC 公開記念「大谷池由来書」	綾川町立生涯学習センター 研修室	50
3月17日(日)	渋谷啓一	文献資料から見た讃岐国府留守所の資料を中心に	坂出市ふれあい会館	90

## ②文化財レスキュー（地域の文化資源保全活用）

県文化芸術振興計画中平成30年度より県文化芸術振興計画が新しく策定され、あわせて当館の中期活動計画も改正された。文化芸術振興計画中の「文化財や文化遺産の整備保存と積極的な活用」、中期活動計画の「地域の文化資源の掘り起こし・磨き上げ・活用」に沿った活動として以下の活動を実施した。文化財レスキューは、地域の文化資源を保全・活用に含まれる活動として位置付けている。

平成30年度は、月1回程度の頻度で、県立ミュージアム、瀬戸内海歴史民俗資料館、生涯学習文化財課、埋蔵文化財センターの担当職員が集まり、地域の文化資源の保全・活用に関する情報・意見交換を行った。

月1回程度ずつ、地域資料の所在把握調査のモデル地区とした多度津町において、有志によって行われている合田邸における所在資料の整理作業や活用活動に当館職員も協力した。29年度まで実施していた所在資料の汚れ除去作業等に区切りがついたことから、地券に着目し、その内容を整理することによって合田家の活動状況を把握する活動を行った。旧多度津町域の地券の整理が終わり、合田家の所有地分布の概要を把握することができた。今後も同様の活動を継続していく予定である。

高知県で文化財保存修復学会にあわせて開催されたシンポジウム「南海トラフ地震に向けた文化財の防災・減災—四国四県の取り組みから考える」に報告者として当館職員が参加（6月15日、会場：高知県立高知城歴史博物館）。現在取り組んでいる文化財レスキューに向けた取り組みなどについて報告するとともに、四国における他県の状況についての報告を聞き、意見交換を行った。

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害にあたり、香川県では史跡丸亀城の石垣に大規模な被害が発生し、愛媛県・岡山県において地域資料が大きな損害を被った。文化財レスキュー活動の一環として、当館は支援物資の提供を、関係組織を通じて通知し、愛媛県からの要請により、エアキャップ・巻ダンボール・マスク・噴霧器等を愛媛県歴史文化博物館に提供した。またあわせて、同館で行われていた水損資料の救済活動の補助を行った。

同じく西日本豪雨災害で被害をうけた地域資料を愛媛大学が受け入れ、冷凍保存している。同大学ではこの資料を解凍し、乾燥させる作業に取り組んでいるが、当館では救済活動の実際を学ぶ意味もあり、作業補助に出掛けた。現場の状況把握をもとに、館ボランティア（資料整理グループ）の力を借りて乾燥作業に用いる新聞紙

の裁断作業を行い、愛媛大学に送った。

地域の文化資源保全にあたっては、地域住民の関心と理解が必要であるとの発想から、住民が所有する文化資源を用いた展覧会を企画実施した。県内で協力を仰げる施設や職員を探索、今年度は三豊市財田公民館において実施することとした。公民館の協力のもと、管轄する地域住民に「古い道具」などの出品を呼びかけ、応募があった品を公民館のギャラリーを用いて展示した。集まった品は、明治時代から平成時代の農具や生活道具類59件、これらを「伝える、知る」「着る」「あそぶ」「時計」「はかる」「電気のない暮らし」「写真」「くらしのいろいろ」の項目をたてて展示した（会期平成30年1月26日～2月3日、開展後、延長要請があり2月12日まで開催）。

会期中の来場者は282名。三豊市立和光中学校2年生（1/31）、財田小学校3年生（2/1）が来場、出品者から児童・生徒に説明が行われた。

同様な取り組みは地域を変えて取り組んでいく予定である。



展示風景



和光中学校の見学の様子

### ③ボランティア

平成30年度のボランティア登録人数は、10名の新規応募を含め86名(休止9名)であった。

当館ボランティアは、解説、ギャラリートーク、普及、資料整理、分館の5つのグループに分かれて活動している。他のグループへの異動や複数グループへの登録も可能で、グループ別の活動のほか、全グループが参加できる活動も行っている。

平成30年度のボランティア全体に係る活動は次のとおり

- ・特別展関連ワークショップ補助

「20世紀の総合芸術家

イサム・ノグチ—彫刻から身体・庭へ—

「ワークショップ つくろう！みんなのプレイグラウンド」

(5月5日(土・祝)・5月6日(日))

「ワークショップ イサム・ノグチを踊ろう」(5月27日(日))

- ・全体会

前年度の活動報告、本年度の活動予定の調整、意見交換

(4月15日(日))

- ・ロビー展(平成30年2月26日(火)～3月31日(日))

各グループの活動をパネルで紹介する、会場は当館2階西ロビー

- ・グループ代表者会(3月23日(土))

年度事業のとりまとめと次年度計画について協議

各グループの活動

- \*各グループの所属人数については、複数グループの登録者がいるため、合計数が登録実人数86名より多くなっている。(各グループの人数は休止を除いている)

<解説グループ> 17名

3階歴史展示室にて、毎週土曜日の13時30分～16時、および特別展会期中の土・日曜日の13時30分～16時に、希望者を対象に展示解説をおこなった。総回数83回、のべ169人が活動し、来館者264組595人に解説をおこなった。あわせて、夏休み期間中の土・日曜日には、子どもを対象に、ワークシート「れきしはかせにチャレンジ！」への取り組みをサポートした。

このほか、毎月1回、第4土曜日を中心に定例会を開き(8月は中止)、活動状況などに関する情報交換をおこなうとともに、グループ員が持ち回りで興味関心をもったテーマについて研究報告する勉強会を実施し、県内の歴史や民俗等に関する知識を深めた。

<ギャラリートークグループ> 14名

2階常設展示室にて、日曜日の11時00分～12時(実施時期は下記)に、美術に関する展覧会の展示内容紹介(ギャラリートーク)を行った。また、特別展「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ—彫刻から身体・庭へ—」「第65回日本伝統工芸展」で展示品解説を行った。活動日数33日間、活動のべ人数55名で、452名の来館者に対して解説を実施した。

毎月1回、第2土曜日に定例会を開催し、活動計画や活動状況報告、勉強会等を行うほか、館外研修として讃岐漆芸美術館(高松市上福岡町)を訪ね知識を深めた(平成30年8月11日実施、10名

参加)。

トークを行った展覧会名

- ・特別展「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ—彫刻から身体・庭へ—」(5月の毎日曜日11:00～12:00)
- ・特別展「第65回日本伝統工芸展」(1月5日～20日の土日祝日の10:30～12:00)
- ・常設展「アート・コレクション 香川工芸 明治譚」(8～9月の毎日曜日11:00～12:00)
- ・常設展「アート・コレクション 明治の海の向こうでは」(11～12月の毎日曜日11:00～12:00)
- ・常設展「建築家・山本忠司 風土に根ざし、地域を育む建築を求めて」(2月～3月の毎日曜日11:00～12:00)

<普及グループ> 17名

館の各種行事で準備・補助を行うとともに、いくつかの行事を主体となって企画・運営した。主体事業として、ミュージアムワークショップ「高松張子づくり」、キッズワークショップ「立体地図をつくろう—香川県の城あと編—」、「戦争中は何を食べていたの?」を実施した。それぞれの事業で歴史的背景や作成手順を資料にまとめ、試作会を行うなど、当日の運営までを行った。活動日数は合計12日である。

また、平成17年からミュージアムが実施する調査の一環として、あらかじめ定めた地点から継続的に写真撮影を行い、景観の変化等を記録し資料化する定点観測を実施している。定点観測調査はミュージアム職員と普及グループ員が実施しており、本年度は11月25日に実施した。なお、常設展示1「道具とくらしのうつりかわり」において定点観測結果を用いて平成20年度と30年度を比較するパネル展示を行った。

毎月1回、第3日曜日には定例会を開催し、行事に向けての準備、打ち合わせを行った。

<資料整理グループ> 23名

毎月2回の定例活動日に資料等の整理を行った。第1日曜日には、歴史資料の整理を行い、第3土曜日には全国から発送されてくる博物館・美術館の展覧会チラシや寄贈図書の整理、刊行物の封入作業補助を行った。整理された展覧会チラシは都道府県別にファイリングし、来館者が閲覧できるように整理して2階ロビーに設置した。また、「平成30年7月豪雨」災害で浸水した歴史資料を脱水するために、古新聞をたくさん切り、被災地に送った。

<分館グループ> 31名

活動内容の詳細は分館事業ページに掲載。

### ④香川県資料館協議会

香川県資料館協議会は、当館が県内市町等の資料館・博物館の中核館として、各館職員の資質向上のための研修や、情報提供をはじめ、展示企画・教育普及・調査研究・資料管理にかかる加盟館相互の交流をはかるため、年2回の会議・研修等を実施している。平成30年度の加盟館は42館。観音寺市郷土資料館、牛屋口菟古館が閉館のため脱会した。平成30年度事業は以下のとおり。



### ①第1回会議

月日：平成30年5月23日（水）13:30～16:30

場所：県立ミュージアム

参加館：19館30名

議事：29年度事業報告、30年度事業計画、各館情報・意見交換、  
その他（資料館協議会相互の資料活用について）

研修：御厨義道氏（香川県立ミュージアム）

「資料の取り扱い—文書記録資料を中心に—」

視察：県立ミュージアム特別展・常設展

### ②第2回会議

月日：平成30年11月21日（水）

場所：多度津町民会館（サクラート多度津）

参加館：15館27名

情報・意見交換会：加盟館閉館紹介、各館情報・意見交換（資料館協議会加盟館相互の資料活用について）、  
その他

視察：多度津町立資料館「香川の夜明けは多度津から」

合田邸（合田邸ファンクラブ泉川昌弘氏より報告「地域住民による地域資料保全と活用—合田邸の事例—」）

「香川県資料館協議会会則」

（名称）

第1条 本会は、香川県資料館協議会という。

（組織）

第2条 本会は、香川県内の資料館及びこれに類する施設をもって組織する。

（事務局）

第3条 本会の事務局は、香川県立ミュージアムに置く。

（目的）

第4条 本会は、香川県の資料館事業の普及発達を図り、もって地域文化の発展に寄与することを目的とする。

（事業）

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- ①資料館相互の連絡及び情報交換
- ②資料の調査、収集、保存、展示などに関する協力
- ③資料館事業に関する研究会、講演会及び講習会などの開催
- ④その他本会の目的達成に必要な事業

（役員）

第6条 本会に、会長1名及び副会長1名を置く。

2 会長は、香川県立ミュージアム館長の職にある者をもって充てる。

3 会長は、会務を総理する。

4 副会長は、会長があらかじめ指名する。任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期満了後、新役員が選任されるまでは、なお、その職務を行う。役員任期途中において、人事異動その他のやむを得ない事由により退任した場合は、当該役員が所属する施設の後任者をもってその任にあてるものとする。この場合の任期は当該役員が残任期間とする。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

（会議）

第7条 会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、年2回開催し、別に臨時会を開くことができる。

3 議決を要する事項は、出席会員の過半数で決する。

4 会議を招集するいとまがなく緊急に処理を要する事項は、会長が決する。

（経費）

第8条 事業にともない経費が必要となった場合は、臨時に徴収することがある。

（委任）

第9条 この会則に定めるものの他、本会の運営について必要な事項は、会長が別に定める。

附則

1 本会則は、昭和59年5月22日から実施する。

2 本会則は、平成10年7月30日に一部改正する。

3 本会則は、平成13年4月1日に一部改正する。

4 本会則は、平成14年7月18日に一部改正する。

5 本会則は、平成20年4月1日から施行する。

5 本会則は、平成21年4月1日から施行する。

附則（平成21年4月1日）

上記の規定にかかわらず、平成21年3月31日に監事の職にあるものは、平成21年度決算が承認されるまでその職務を行うこととする。

## (3) 普及活動

### ① ワークショップ

ボランティアが主体的に運営する一般向けの体験講座を1回実施した。

	月日	テーマ	講師	参加者 (申込者)	受講料
1	2.16 (土) 2.17 (日)	「高松張子づくり」	当館ボランティア・職員	18人 (25人)	500円

### ② キッズワークショップ

子どもたちに体験活動を通して、歴史や美術に親しむ機会を提供することを目的として実施した。内容は、調理、工作など。講師は、当館職員やボランティアが務めた。

	月日	テーマ	講師	参加者 (申込者)	受講料
1	7.22 (日)	「立体地図を作ろう—香川県の城あと編—」	当館ボランティア・職員	29人 (108人)	400円
2	8.5 (日)	「戦争中は何を食べていたの?—麦めしとみそ汁編」	当館ボランティア・職員	8組17名 (30組69人)	200円

3	8.12 (日)	「子どもれきし教室 一刀を学ぼう」	当館職員	13組15人 (27組32人)	200円
4	8.12 (日)	「子どもびじゅつ かんしょう教室」	当館職員	19人(28人)	無料

### ③特別展関連イベント

特別展に関連して、展示解説やワークショップ等の行事を企画し実施した。特別展「イサム・ノグチ」では身体表現によるワークショップ、まち歩き、「目からうろこのミュージアム！」では講師による4回のショップとカフェトークを行った。また、2つの特別展ともに未就学児団体鑑賞ツアーを行った。

	日程	テーマ	講師	参加者 (申込者)	受講料
特別展「イサム・ノグチ」関連					
1	5.5(土)、 6(日)	ワークショップ 「つくろう！みんなの プレイグラウンド」	当館職員・ボラン ティア	77人 (当日 申込)	200円
2	5.27(日)	ワークショップ「イ サム・ノグチを踊ろ う！」	阪本麻郁氏(ダンサ ー・振付家 四国学 院大学准教授)	15人	300 円
3	4.22(日)、 5.20(日)	まち歩き「ようこ そ！イサム・ノグチ の街へ アートの 巨匠が愛したくら し・味・ひと」	当館職員	20人+ 取材4名	1,000 円
4	5.24(木)、 29(火)、 31(木) 6.1(金)	未就学児団体鑑賞 ツアー「わくわく！ ノグチたんけん」	城東保育園 高松幼稚園 高松保育園 亀阜幼稚園	53人 70人 37人 56人	—
特別展「目からうろこのミュージアム！」関連					
1	8.11 (土・祝)	ワークショップ「江 戸時代のかぶとを まねて、自分だけ のかぶとを作っちゃ おう」	川崎展子氏 (造形作家)	29人 (88人)	300円
2	8.18(土)	ワークショップ 「墨で遊ぼう」	樋笠幸三氏 (墨アーティスト)	23人 (34人)	200円
3	8.19(日)	ワークショップ「流 木でカラフルな魚 を作ろう」	四宮龍氏 (造形作家)	①15人 ②15人 (89人)	500円
4	9.15(土)	フリーワークショ ップ「和のコースタ ー作り」	当館職員	36人 (当日申 込)	100円
5	10.7(日)	ワークショップ 「これ、いいね。小 さなほうきに手作 りカバー」	日下幸氏・綾希氏 (造形作家)	8人 (9人)	350円

6	11.2(金)	懐かしの レコード鑑賞会	当館職員	9人	—
7	11.4(日)	カフェトーク「くら しとモノー手仕事 からはじまる、ちょ っといい暮らし」	谷 真琴氏(まちの シューレ963物販 店長)	17人 (16人 当日1人)	600円
「第64回伝統工芸展」関連					
1	1.12(土)	うるしにチャレ ンジ!	佐々木 正博 氏 (漆芸家) 他	①18組38 人②18組 36人(49 組100人)	1000 円
「やきものが好き!!アートも好き」関連					
1	3.9(日)	陶芸ワークショッ プ 「地球を焼こう!!」	陶芸協会会員 当館職員	19人 (19人)	800円

#### ④講演会

特別展に関連したテーマや話題性の高い魅力的なテーマを設定し講演会やシンポジウムを計7回実施した。

	月日	テーマ	講師	受講者
1	4.7 (土)	記念シンポジウム 「イサム・ノグチの夢」	酒井忠康氏 (世田谷美術館長)・和泉正敏氏 (イサム・ノグチ日本財団理事長)、新見隆氏 (大分県立美術館館長、本展監修者)	219人
2	4.21(土)	講演会 「イサム・ノグチから影響を受けたこと 牟礼と直島の芸術性、芸術の普遍性と地域性について」	秋元雄史氏 (東京藝術大学美術館 館長・教授、馬区立美術館 館長、美術評論家)	145人
3	5.19(土)	特別講演会 「イサム・ノグチとの思い出」	安田侃(かん)氏 (彫刻家)	243人
4	10.8(月・祝)	シンポジウム「ナカノ・ブレイってだれ？」	石井裕昌氏 (歴史研究家)・松平頼武氏 (高松松平家第14代当主)・中野肇氏 (武蔵翁直系の玄孫)・浜田恵造氏 (香川県知事)・大西秀人氏 (高松市長)・佐伯勉氏 (松平公益会理事長)・山下淳二氏 (元四国新聞記者)	192人
5	10.13(土)	講演会・シンポジウム「沖縄文化に魅せられた讃岐人 鎌倉芳太郎」	波照間永吉氏 (沖縄県立芸術大学名誉教授)・佃昌道氏 (高松大学学長・理事長)・菅原良弘氏 (元香川県文化会館館長)・佐藤竜馬 (当館学芸課長)	86人
6	11.11(日)	講演会「栗林公園の近代」	三宅拓也氏 (京都工芸繊維大学デザイン・建築学系助教)	114人
7	H31.1.6 (日)	講演会「文化力競争時代の日本工芸」	林田英樹氏 (日本工芸会理事長)	151人

#### ⑤学芸講座

当館学芸員が香川の歴史や古美術、日本美術や西洋美術について、特別展や常設展示のテーマ、調査研究等に関連して講座を6回実施した。

	月日	テーマ	講師	受講者
1	5.13 (日)	「イサム・ノグチと香川」	瀧上 華	100人
2	8.5 (日)	「与島と大川村」	佐藤竜馬	32人
3	9.9 (日)	「讃岐の幕末 新時代到来のゆらぎ」	御厨義道	56人
4	10.21 (日)	「明治期が出会った西洋美術」	一柳友子	31人
5	2.25 (日)	ミュージアム・スーパー・プレゼンテーション 2019	藤田順也 高嶋良子 佐藤竜馬 上野 進	33人
6	3.10 (日)	「おいしい」をつくるやきもの	長井博志	174人

#### ⑥ミュージアム・コンサート

本年度は、特別展「目からうろこのミュージアム！」関連行事として開催したほか、常設展示の出品作品にあわせた企画コンサートを実施した。

「目からうろこのミュージアム！」関連行事のコンサートは展示出品資料にあわせた紙芝居や来場者参加型の内容を盛り込んだもの。常設展示の出品作品にあわせた企画コンサートは、テノール歌手で作曲家のティローン・ランダウ氏の申し出を契機に企画し、実施に至ったもの。

	月日	テーマ	演奏者	演奏曲	場所	参加者
1	9.17 (月・祝)	「いろ・かたち、わくわくコンサート」	みゅーじっくすペーすコモド	ぼかぼかてくてく、バナナのおやこ、花のワルツ、チャルダッシュ、ドレミのうた、紙芝居『奉公さん』等 全12演目	1階 図書コーナー	187人
2	12.8 (土)	ミュージアムコンサート	ティローン・ランダウ氏 (テノール・ピアノ) 中條那子氏 (ピアノ)	「ジュ・トゥ・ヴ」「ジムノペディ」第1番「画家の仕事 パブロ・ピカソ」コメディ・バレエ「うるさがた」より等 全13曲	1階 図書コーナー	115人

### 3 調査研究事業

調査研究事業は、香川県立ミュージアム規則第2条第3項「資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと」とあるとおり、種々のミュージアム事業を展開していく上でも、その原動力となるものである。

当館では、前身の歴史博物館時代より県内寺社調査や歴史資料の所在確認調査を行い、『調査研究報告』でその成果を公表してきた。また文化会館の美術部門では、県ゆかりの作家・作品の調査を行い、展示に反映させてきた。歴史博物館と美術館の機能が一体となったミュージアムにおいては、更に多角的に調査・研究活動を行い、失われつつある歴史や民俗、先人の残した優れた作品を掘り起こし、本県文化の新たな創造に寄与することを目指している。

#### (1) 調査研究活動

##### ① 寺社総合調査

平成30年度は、善通寺（善通寺市）、本山寺（三豊市）の資料調査を実施した。

###### ○善通寺古文書・古記録調査

善通寺総合調査は平成12年度より5カ年計画で開始し、宝物館を中心に諸堂に所在する彫刻、書画、工芸品、古記録類ほか什物の調査を行った。すでにその成果は「特集 善通寺総合調査報告(1)(2)(3)」(『調査研究報告』第2、3、4号/香川県歴史博物館発行)はじめ、平成18年度特別展『創建1200年 空海誕生の地 善通寺』等で公表してきた。

平成18年度より、土蔵内の数万件にのぼる古文書・古記録類の調査を開始し、その成果は『ミュージアム調査研究報告』で継続的に公表してきた。平成30年度は、古文書・古記録類の資料調査を愛媛大学・香川大学ほかの協力を得て、実施し、約250件のデータを採取。研究用データとして114件のデジタルカメラによる撮影を行った。

###### ○本山寺古文書等追加調査

平成25年度より開始された「本山寺五重塔の平成大修理」事業(本山寺・本山寺五重塔整備委員会)により、五重塔建立に関連する古文書、古写真、古記録等の資料が新たに確認され、県立ミュージアムと香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課、三豊市教育委員会との間で分担し、追加調査を実施した。これらのうち、古写真と古文書についての調査成果を『ミュージアム調査研究報告 第10号』に掲載した。

##### ② 収蔵資料の調査研究

収蔵資料について、学術的な意義や歴史的な位置づけ、作家・作品の特徴などを明確にするため、より詳しい調査研究に取り組んだ。

###### ○高松松平家博物図譜の総合調査

高松松平家に伝来する4種13帖の「博物図譜」について、自然系人文系に偏らない視点をもちつつ、各専門分野による研究を総合的にすすめ、本図譜の歴史的文化的な価値を明らかにしようとするものである。平成30年度は昨年度に引き続き、九州国立博物館の協力を得て彩色材料の科学分析調査を実施した。また、次年度特別展の準備調査も兼ねて、NHK高松放送局の協力により8K・4Kカメラ撮影の高精細画像による『衆鱗図』調査の実施、東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所が所蔵する「衆鱗手鑑」の調査、および、日本画家・諏訪智美氏と共同で制作者の観点からの調査を実施した。これらの成果の一部は特別展図録『自然に挑む 江戸時代の超グラフィック 高松松平家博物図譜』で公表した。

###### ○常設展示開催にかかる調査

常設展示「屏風絵の世界を読み解く」「アート・コレクション 香川工芸 明治譚」「讃岐の幕末—新時代到来のゆらぎ—」「高松藩の明治維新—新時代を生きた侍たち—」「アート・コレクション 明治の海に向こうでは」「道具とくらしのうつりかわり」「建築家・山本忠司 風土に根ざし、地域を育む建築を求めて」「春を探そう—表現された春—」の開催にあたり、収蔵資料等の調査に取り組み、いずれも展示解説シートにその成果を反映させた。とくに「讃岐の幕末」展では、丸亀市立資料館所蔵の古文書等資料調査を実施し、その成果を『NEWS』調査研究ノートに掲載した。「建築家・山本忠司」展は、京都工芸繊維大学美術工芸資料館で開催した展覧会の巡回展であり、京都展で制作された図録に新たな論考を加えた増補版図録を発行し、新資料についての紹介を『NEWS』調査研究ノートに掲載した。

##### ③ 資料所在等の確認調査

###### ○文化財レスキュー計画に係る資料情報の収集・確認調査

○県内外にある香川県の歴史・美術に関する資料調査  
千葉県 東京都 高松市 丸亀市 善通寺市  
さぬき市 小豆島町 綾川町ほか

###### ○『瀬戸内全誌』刊行事業(瀬戸内国際芸術祭事業関連事業)に係る関連調査

##### ④ 展示に係る調査

常設展示及び特別展示の開催などに係る調査を行った。これらの調査成果によって展示を企画し、館外から資料借用をしたほか、展示図録・解説シート・パネルラベルの解説などに反映させた。

また、香川県美術展覧会の改革・改善にむけて、神奈川県展の審査について視察した。また、実行委員会の有志4名とともに、山口県立美術館へ行き、先進的といわれる山

口県美術展覧会の視察をおこなった。

展示名	主な調査先
特別展「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチー彫刻から身体・庭へー」	イサム・ノグチ庭園美術館（高松市）ほか
常設展「讃岐の幕末—新時代到来のゆらぎ—」	香川県立文書館、丸亀市立資料館、さぬき市教育委員会、個人宅（多度津町）
常設展「高松藩の明治維新—新時代を生きた侍たち—」	個人宅（兵庫県）
常設展「建築家・山本忠司—風土に根ざし、地域を育む建築を求めて—」	京都工芸繊維大学、讃岐民芸館、イサム・ノグチ庭園美術館（高松市）、喫茶「城の眼」（高松市）、香川県立高松西高等学校、さぬき市、観音寺市立豊浜小学校、県営住宅宇多津団地ほか
次年度以降特別展	秋田市立千秋美術館、国立公文書館（東京都）、東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所（神奈川県）、彦根城博物館、岡山大学附属図書館、山口県立美術館、徳島市立徳島城博物館、長崎歴史文化博物館、大阪歴史博物館、林原美術館（岡山県）、伊曾乃神社（愛媛県） 旭川市博物館、青苗言代主神社（北海道）、達磨寺（群馬県）、旧白洲邸武相荘、コープタウン松が谷、東京大学大学院工学系研究科、日本建築学会、明治大学、森美術館（東京都）、茅野市尖石考古資料館（長野県）、京都工芸繊維大学、沖縄県立芸術大学ほか

### ⑤レファレンス等による調査

一般的には図書館業務として知られるレファレンスサービスであるが、歴史・民俗・美術と取り扱う幅広く当館の専門性を利用者へ提供する機能としても重要である。当館利用者の多くは展示観覧者であり、展示資料や作品に関する質問が日々寄せられ、展示案内員や学芸課職員が応じたその内容は日報に記録される。また、収蔵資料などの特別利用に関する質問も多くあり、「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱」の規定に基づいて対応している（4 資料の収集・整理・保管事業（4）資料の特別利用）。

開催中の展示内容や展示品及び特別利用にかかわる質問のほかを、本項における「レファレンス」として取扱っている。各レファレンスの内容はメモに記録し課内での引継ぎを確実にし、迅速に回答するように努めている。レファレンスには、質問のほか、寄贈・寄託の希望、調査依頼などがあるが、レファレンスを通じて価値ある資料や資料情報の把握に至る例も少なくない。

### i) レファレンス対応

レファレンスは資料の特別利用にかかわるものものぞき、内容に応じて「質問」「寄贈・寄託希望」「調査依頼」「資料情報」「その他」の5項目に分けて記録している。平成30年度のレファレンス対応記録は86件であった。例年同様「質問」が最も多い。内容は一般的なものから専門的なものまで幅広くあるが、専門性を要する質問については各専門分野の担当者の協力を得て回答には精度を保つようにしている。民俗にかかわる質問については分館・瀬戸内海歴史民俗資料館への照会も行うなどしている。

＜平成30年度レファレンスの内容別件数＞

項目	件数
質問	62
寄贈・希望	14
調査依頼	3
資料情報	3
その他	4

合計 86 件

※このうち、ホームページ「質問コーナー」を利用したレファレンス11件。

### ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

平成30年度には、レファレンスとして寄贈・寄託の申し出が寄せられたのは14件であった。資料（作品）の寄贈・寄託の申し入れについては「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料収集要綱」「同要領」に基づき、資料の概要や性格などの基本情報を踏まえて、原則は現物資料のコンディションを実地調査によって把握し、収蔵後の活用価値などを見極めて対応している。

### iii) 自治体・他機関などからの依頼

このほか、以下の機関から依頼を受けて、調査または調査指導・助言などを行った。

- ・香川県教育委員会生涯学習・文化財課
- ・綾川町教育委員会生涯学習課
- ・坂出市史編さん所

### ⑥他機関との共同研究

#### i) 共同研究・分担など

○上野進・御厨義道・渋谷啓一  
基盤研究(B) (一般) 研究課題名「四国遍路の学際的総合研究—地域資料によるその実態解明と国際比較—」(研究代表者 愛媛大学 寺内浩)

#### ii) 自治体や他機関からの委嘱など

野村美紀

- ・坂出市史編さん調査委員
- ・小豆島町古文書等調査委員会調査協力員

・三豊市公文書等管理委員会委員

御厨義道

・坂出市史編さん調査委員

・小豆島町古文書等調査委員会調査協力員

渋谷啓一

・坂出市史編さん調査委員

上野進

・坂出市史編さん調査委員

芳地智子

・坂出市史編さん調査委員

## ⑦各種研修の受講

博物館事業の充実と質の向上に努めるため、以下の研修等に職員を派遣した。

6.20 公開承認施設担当者会議（文部科学省〈主催：文化庁〉） 渋谷啓一

7.5～7 第7回全国歴史民俗系博物館協議会研究集会（大阪歴史博物館） 森格也・上野進

7.8～20 保存担当学芸員研修（東京文化財研究所） 鹿間里奈

9.9～15 文化庁指定文化財企画・展示セミナー（九州国立博物館） 一柳友子

9.6～7 平成30年度四国地区博物館協議会総会（香川県立ミュージアム） 森格也・佐藤竜馬・上野進ほか

10.31 美術館連絡協議会総会（よみうり大手町ホール） 一柳友子

11.16 全国美術館会議第9回地域美術部会（兵庫県立美術館） 一柳友子

31.1.21 第25回大名道具収蔵館研究会（彦根城博物館） 御厨義道

31.2.21～22 平成30年度四国美術館会議（高知県立美術館） 佐藤竜馬・橋本武生・一柳友子

## (2)成果物公表

### ①研究成果の公表

i) 『ミュージアム調査研究報告 第10号』の刊行（\*館外研究者）

目次

・本山寺五重塔の平成大修理に伴う文化財調査報告書（第2報）

五重塔に関連する記録資料の調査

古文書・写真目録(CD-ROM) 野村美紀・芳地智子

・特別講演会記録

「イサム・ノグチとの思い出」 安田侃(\*)

・犁を中心とした香川県農具大工の製品と制作用具

—館蔵農具・農具大工用具の調査から—

織野英史

ii) 常設展図録『建築家・山本忠司—風土に根ざし、地域を育む建築を求めて—』（増補版）の刊行

iii) 論文・報告・紹介など

※以下の公表業績にかかる掲載事項は、すべて各人の申告による。

〈学術的著述〉

佐藤竜馬

・「山本忠司と建築絵画—地域性の獲得」（図録『建築家・山本忠司—風土に根ざし、地域を育む建築を求めて—』（増補版）31.1.26）

・「香川の近現代建築史におけるく香川県建築課—山本忠司>の位置」（図録『建築家・山本忠司—風土に根ざし、地域を育む建築を求めて—』（増補版）31.1.26）

田口慶太

・「セントラルパークのためのプレイグラウンドのプランに関する考察」ほか第2章解説、作品解説3点（特別展図録『20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ—彫刻から身体・庭へ—』29.11.17）

芳地智子

・「久米通賢関係資料のうち塩田開発にかかわる絵図・文書」（科研報告書『久米通賢による坂出塩田築造の経緯および技術的・財政的・政治的基盤』31.3.31）

〈普及的著述（館内）〉

佐藤竜馬

・「調査研究ノート vol.27 ある建築家の見た“ニッポン”」NEWS 第41号

・「調査研究ノート vol.28 昭和43年 四国山地縦走民家調査」

・「建築家・山本忠司—風土に根ざし、地域を育む建築を求めて—」常設展示解説シート101

田口慶太

・「ミュージアムガイダンス 34 生誕120年 鎌倉芳太郎」NEWS42号

・「コレクションについて」NEWS42号

野村美紀

・「高松藩の明治維新—新時代を生きた侍たち—」常設展示解説シート98

橋本武生

・「猪熊弦一郎氏らがつくった香川県展の過去、現在とこれから」NEWS43号

御厨義道

・「調査研究ノート vol.26 土肥大作の苦悩」NEWS 第41号

・「讃岐の幕末—新時代到来のゆらぎ—」常設展示解説シート97

・「松平頼恭ってどんな人？—博物図譜をつくったお殿様」  
NEWS44号

渋谷啓一

・「春を探そう—表現された春—」常設展示解説シート 102  
藤田順也

・「道具とくらしのうつりかわり」常設展示解説シート  
100

一柳友子

・「香川工芸 明治譚」常設展示解説シート 96  
・「明治の海の向こうでは」常設展示解説シート 99

〈普及的著述（館外）〉

以下、香川経済研究所『調査月報』は『調査月報』、『産経新聞』ミュージアムカフェは『産経MC』、『四国新聞』掲載の特別展作品紹介は『四国』作品紹介、『四国新聞』ディープKAGAWAは『四国DK』、『朝日新聞』掲載第65回日本伝統工芸展作品解説は『伝統解説』と略す。

佐藤竜馬

・「橋脚の島 与島は石の島」(『産経MC』30.8.10付)  
・「建築家・山本忠司を知っていますか？」(『調査月報』383号 31.2.1)

田口慶太

・「夢窓国師の教え」(『四国』作品紹介 30.4.26付)  
・「明治譚 工芸学校と東美校」(『産経MC』30.8.24付)  
・「(無題) (目からうろこのミュージアム part II 関連) (『調査月報』380号 30.11.1)  
・「美人画の流行と生活文化」(『産経MC』30.11.16付)  
・「蒔繪三友之圖合子」(『伝統解説』(2) 31.1.5付)  
・「将来性のある新進作家」(『産経MC』31.2.15付)

野村美紀

・「明治維新と高松城」(『産経MC』30.11.23付)  
・「中野武宮とその周辺 (1) ~ (4)」(『四国DK』30.12.15、12.16、12.17、12.18付)

橋本武生

・「紙芝居で伝えるイサム」(『産経MC』30.6.1付)  
・「県美術展覧会の歴史 (1) ~ (4)」(『四国DK』30.6.28、7.5、7.12、7.19付)  
・「有線七宝蓋物「翠の花」」(『伝統解説』(1) 31.1.4)

御厨義道

・「博物館からミュージアムへ(1)~(4)」(『四国DK』30.5.24、5.31、6.7、6.21付)  
・「蒔繪孔雀文鞍」(『調査月報』377号 30.8.1)  
・「高松城開城時の城下」(『産経MC』30.8.31付)

渋谷啓一

・「十二月和歌画帖」(『調査月報』384号 31.3.1)

藤田順也

・「フィールドワークで考えた(7)住民の力で文化継承」(『四国DK』30.9.13付)  
・「炊飯道具の変遷」(『産経MC』31.2.1付)

谷川洋朗

「籃胎蒔繪八角食籠「律の調べ」」(『伝統解説』(4) 31.1.8付)

長井博志

・「イサム・ノグチとAKARI」(『調査月報』374号 30.5.1)  
・「やきものの歴史と美」(『産経MC』31.2.22付)

上野進

・「源平合戦図屏風」(『調査月報』375号 30.6.1)  
・「源平合戦 屏風絵に思い」(『産経MC』30.6.8付)  
・「フィールドワークで考えた(5) 札所どう確定した？」(『四国DK』30.8.30付)

岡本由貴子

・「いろいろ・かたち」のひみつ」(『産経MC』30.8.17付)

一柳友子

・「こいびと」(『四国』作品紹介 30.5.10付)  
・「南仏でのピカソ展」(『産経MC』30.5.25付)  
・「明珍宗春 鳳凰文鉄香炉」(『調査月報』378号 30.9.3)  
・「西洋美術と香川(1)~(3)」(『四国DK』30.10.4、10.18、10.25付)  
・「さぬき美探訪・第65回日本伝統工芸展」(『ビジネス香川』31.1.3付)  
・「巴蒔繪丸箱」(『伝統解説』(5) 31.1.9付)  
・「籃胎網代網箱「かわとんぼ」」(『伝統解説』(7) 31.1.12付)

鹿間里奈

・「コレクションを未来に伝えるために(1)~(3)」(『四国DK』30.12.6、12.13、12.20付)  
・「青白磁波紋鉢」(『伝統解説』(8) 31.1.15付)

瀧上華

・「鏡」(『四国』作品紹介 30.4.12付)  
・「北京ドローイング(傾く男と少年)」(『読売』作品紹介 30.4.25付)  
・「スライド・マントラの模型」(『読売』作品紹介 30.4.26付)  
・「AKARI」(『読売』作品紹介 30.4.27付)  
・「体感するノグチの彫刻」(『産経MC』30.5.18付)

高嶋良子

・「多様な20世紀の美術」(『産経MC』30.11.9付)  
・「朴拭漆長方箱」(『伝統解説』(9) 31.1.16付)  
・「人の姿—からだ—」(『産経MC』31.2.8付)

芳地智子

・「切金螺鈿箱「青麦」」(『伝統解説』(6) 31.1.11付)

松村祥志

・「フィールドワークで考えた(6) 大久保謙之丞の手紙」(『四国DK』30.9.6付)

井上奈緒

・「友禅訪問着「Until…の時まで」」(『伝統解説』(3) 31.1.7付)

〈自治体史編纂〉

上野進・渋谷啓一 ほかに共同執筆

- ・『坂出市史 資料補遺 古代中世篇』(坂出市史編さん所 30.11.1)

〈口頭発表〉

渋谷啓一

- ・「讃岐国大内郡入野郷寛弘元年戸籍について」(香川歴史学会大会 30.7.21)

芳地智子

- ・「久米通賢による坂出塩田の構想と実態 一文政・天保期の新開地割図から」(香川歴史学会大会 30.7.21)
- ・「久米通賢による坂出塩田開発の展開 一文政・天保期の新開地割図から」(四国地域史研究連絡協議会大会 30.12.16 徳島県立図書館)

## ②刊行物

### i) 香川県立ミュージアム展覧会スケジュール

平成30年度に開催する展示情報を掲載。館内で配布するほか、県内の博物館・資料館、文化・教育施設や、全国の関係機関に配布した。

- ・2018.4～2019.3(平成30年4月～31年3月)  
A2 変形判屏風折 カラー刷 50,000部

### ii) 常設展示解説シート 各2,000部または3,000部

平成30年度に開催の常設展示に関する内容を紹介した解説シートを展示ごとに印刷、発行した。

規格はA3判・2ツ折、カラー刷・モノクロ刷(展示タイトル、内容についてはII-1(2)常設展示の項参照)

### iii) 特別展解説シート・パンフレット等

- ・「第83回香川県美術展覧会」目録  
A3三枚継(A2+A3) カラー 両面 10,000部
- ・「第65回日本伝統工芸展」パンフレット  
A4判カラー 8ページ 7,000部

### iv) 図録等(展覧会・その他)

- ・特別展「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ 彫刻から身体・庭へ」  
四六判・カラー 178ページ 3,000冊  
平成29年11月17日発行〔大分・香川・東京合同〕
- ・特別展「香川県立ミュージアム10周年記念コレクション展 目からうろこのミュージアム！」  
-Part I- 目からうろこのおもしろBOOK  
「いろ・かたち、わくわくのひみつ」の巻  
250×210 カラー 8ページ 5,000冊  
平成30年8月4日発行
- ・特別展「香川県立ミュージアム10周年記念コレクション展 目からうろこのミュージアム！」  
-Part II- いつものくらし これ、いいね  
250×210 カラー 8ページ 4,000冊  
平成30年10月2日発行

- ・「建築家・山本忠司—風土に根ざし、地域を育む建築を求めて—」(増補版)(再掲)

B5版カラー 92ページ 1000冊 平成31年1月26日発行

- ・「香川県文化芸術新人賞 高松明日香展 クラウディア Claudia」

変形B5版カラー 24ページ 1000冊 平成31年2月9日発行

### v) 香川県立ミュージアムNEWS

A4判カラー 8ページ

- ・第41号(夏号)平成30年6月15日発行5,000部
- ・第42号(秋号)平成30年8月24日発行4,000部
- ・第43号(冬号)平成30年11月13日発行5,000部
- ・第44号(春号)平成31年3月14日発行6,000部

### vi) ミュージアム調査研究報告 第10号

A4判 114ページ・CD-ROM付 650冊  
平成31年3月31日発行(再掲)

### vii) 収蔵資料目録11

A4判 42ページ・CD-ROM付 550冊  
平成31年3月28日発行

## 4 資料の収集・整理・保管事業

香川県の歴史および文化、芸術を理解するうえで必要な資料を収集し、体系的に整理し、保存のために必要な処置を行い、最適な条件で保管することは博物館の最も基本的な機能である。

当館では「香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料収集要綱」に基づき、歴史、芸術及び民俗に関する実物のほか、標本・模写・文献・図表・写真・フィルム・レコード等多岐にわたり、購入・寄贈・寄託等の方法で資料を収集している。寄贈や寄託の申し入れがあった資料については、調査に向いて、資料を預かり、調査・整理作業の結果、収蔵すべきであると判断されたものについて手続きを行う。受け入れ後は殺虫処理をし、引き続き詳しい調査研究・整理を行って資料目録を作成し、順次、館蔵品データ検索システムに登録、また『収蔵資料目録』に掲載し、県内外の関係機関に配布し、展示をはじめ、館外からの特別利用に応じる等、収蔵資料の公開活用を行っている。



## 資料収集状況（平成31年3月末現在）

	平成29年度 末まで	平成30年度 手続分	合計
購入	22,223	5	22,228
寄贈	202,327	381	202,708
寄託	40,845	13,213	54,058
移管・ その他	40,659	0	40,659
合計	306,054	13,599	319,653

## (1) 資料収集活動

## ① 購入資料

計 3件5点

讃岐国香川郡直島文書（三宅家文書）	1件1点
高松近傍写真帖	1件1点
ホンマタカシ映像作品	1件3点

## ② 寄贈資料

計 368件 381点

久米幹男資料	357件 367点
奈良俊秋資料	6件6点
前川清資料 (2)	3件6点
山尾薫明作品	2件2点

※掲載の順序は、手続き順による

## ③ 寄託資料

計 9,157件 13,213点

聖通寺資料	△1件1点
佐野時子資料	10件10点
志度寺資料	14件14点
大久保家資料	9,134件 13,190点

※掲載の順序は、手続き順による

△は減少を表している

## ④ 移管・その他

なし

## ⑤ 文献資料の収集

文献資料は、調査研究をはじめ展示や学習支援事業をより豊かなものにするために必要不可欠なものであるため、事典、辞書、香川県に関する地方史誌、史料集、芸術・美術に関する書籍などを中心に収集している。また、最新の研究動向の情報を収集するため、学術雑誌を逐次購入している。全国の博物館や美術館、研究機関が刊行する図録、紀要、事業報告、広報誌も交換、恵により収集を続けている。

・ 逐次刊行物など受付冊数 1,915冊

・ 購入雑誌

月刊文化財、季刊考古学、日本歴史、日本史研究、古文書研究、歴史評論、歴史学研究、史学雑誌、國華、ミュゼ、

芸術新潮、美術手帖、MUSEUM、文化財発掘出土情報、木簡研究、美術大鑑

## (2) 資料整理保管活動

## ① 収蔵資料管理システム

平成26年度に、早稲田システム開発（株）の「I. B. MUSEUM SaaS」を導入し運用することで、収蔵品についての情報の一元管理をしている。これにより、職員各自に配備されたPCによる操作が可能となり、データの入力・整備や収蔵品の検索などに利用されている。

## 【データベースの内容】

・ 収蔵資料の管理

収蔵資料について、名称・年代・法量・資料内容・画像から、収蔵場所・所蔵、時系列で記録される展示・貸出・修理などの履歴など、その資料・作品に係るほとんど一切の情報を一元的に登録している。資料・作品の管理のみならず展示準備等でも利用される。

・ 図書、視聴覚資料、アルバムの管理

資料・作品だけでなく、館蔵の図書データ入力も進めている。他にもビデオ、フィルムなどの視聴覚資料、写真アルバムの管理も可能であり、順次進めていく予定である。

・ 一般公開のデータについて

収蔵資料のデータベースは、インターネット公開機能を利用し、館のHPにリンクを貼ることで公開している。検索はキーワードのほか、歴史資料では資料群、美術作品では作家ごとの一覧から選択することもでき、資料の基本情報（名称、数量、時代、寸法、概説、画像等）を閲覧することができる。データの公開は画像・解説文等公開のための条件を満たした資料・作品について、漸次進めている。

## ② 虫菌害対策

i) 資料等の殺虫・殺菌処理

収集した資料や借用した資料は、必要がある場合、一時保管庫に搬入、仮収蔵し、適期に殺虫・殺菌した後、収蔵庫へ搬入、また展示等に活用している。

今年度は、小規模な二酸化炭素殺虫処理を、職員により実施した。

ii) モニタリング

展示室、収蔵庫等、館内数ヶ所に粘着トラップ等を設置し、定期的に観察して館内における生物発生状況を調査している。

また、収蔵庫・展示室を中心とした館内各所について、年間3回（7月、10月、平成31年1月）虫・カビの調査、年間7回（5月、6月、8月、9月、11月、12月、平成31年2月）虫の調査を、専門業者に委託して行った。

(3) 館外特別利用状況

①貸出利用

番号	資料名	点数	利用者	目的	貸出期間
1	岩倉壽「小豆島の窓」	1	香川県立東山魁夷せとうち美術館	瀬戸大橋開通30周年記念「せとうち気分ー多島海を描く」	平成30年4月4日 ～平成30年6月9日
	岩倉壽「讃岐瀬戸」	1			
	平山郁夫「瀬戸内海大橋」	1			
	平山郁夫「瀬戸内海の小島」	1			
	吉田博「牛」	1			
	満谷国四郎「島」	1			
2	ジョエラ・レヴィの肖像 Portrait of Joella Levy	1	川崎市岡本太郎美術館	「イサム・ノグチと岡本太郎ー越境者たちの日本」展	平成30年9月30日 ～平成31年2月15日
	ジョン・オールデン・カーペンターの肖像 Portrait of John Alden Carpenter	1			
	こいびと Couple in love	1			
	ミラー Mirror	1			
	無窓国師の教え Lessons of Muso Kokushi	1			
	クメール Khmer	1			
	道化師のような高麗人參 Korean Carrot as Clown	1			
	リス Squirrel	1			
	リトルスレート Little Slate	1			
	形だけで作る遊園地のための鋳型 contoured playground	1			
	この責め苦しめられた地球 This tortured earth	1			
	国連本部のためのプレイグラウンド United Nations Playground	1			
	AKARI 10A	1			
	AKARI 14A	1			
	AKARI 1AG	1			
	AKARI 70FF	1			
	AKARI 2N	1			
	AKARI 23N	1			
	AKARI 25N	1			
	AKARI 27N	1			
AKARI 31N	1				
AKARI 35N	1				
AKARI 2P	1				
AKARI 3X	1				
AKARI L2	1				
AKARI S1	1				
AKARI YA1	1				
ラジオ・ナース Radio Nurse	1				
3	玉椿象谷「彩色蒔繪料紙箱」	1	石川県立美術館 館長	「URUSHI 伝統と革新展」	平成30年9月3日 ～平成30年11月27日
	玉椿象谷「彩色蒔繪硯箱」	1			
	磯井如眞「雙色紙筒喜鶴之図」	1			
	向井武志「蒔繪箱 秋色」	1			
	中島光夫「彫漆宝石箱」	1			
4	ジョエラ・レヴィの肖像 Portrait of Joella Levy	1	東京オペラシティアートギャラリー	20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチー彫刻から身体・庭へー	平成30年7月7日 ～平成30年10月10日
	ジョン・オールデン・カーペンターの肖像 Portrait of John Alden Carpenter	1			
	こいびと Couple in love	1			
	ミラー Mirror	1			
	無窓国師の教え Lessons of Muso Kokushi	1			
	アーケイック Archaic	1			
	クメール Khmer	1			
	道化師のような高麗人參 Korean Carrot as Clown	1			
	リス Squirrel	1			
	リトルスレート Little Slate	1			
	形だけで作る遊園地のための鋳型 contoured playground	1			
	この責め苦しめられた地球 This tortured earth	1			
	国連本部のためのプレイグラウンド United Nations Playground	1			
	AKARI 10A	1			
	AKARI 14A	1			
	AKARI 1AG	1			
	AKARI 70FF	1			
	AKARI 2N	1			
	AKARI 23N	1			
	AKARI 25N	1			
	AKARI 27N	1			
	AKARI 31N	1			
	AKARI 35N	1			
AKARI 2P	1				
AKARI 3X	1				
AKARI L2	1				
AKARI S1	1				
AKARI YA1	1				
ラジオ・ナース Radio Nurse	1				
タイム・アンド・スペース(高松空港のための石積み彫刻、 最終案模型)	1				
5	国宝 藤原佐理筆詩懐紙	1	東京国立博物館 毎日新聞社、日本経済新聞社	「顔真卿 王羲之を超えた名筆」展	平成30年12月下旬 ～平成31年3月14日

6	「津田の松原」	1	市川市	平成30年度市川市東山魁夷記念館特別展「巡礼への道のり —東山魁夷・平山郁夫—」展	平成30年11月20日 ～平成31年2月10日
	本画「栗林公園」	1			
	本画「金刀比羅宮」	1			
	本画「讃岐路」	1			
	本画「志度寺」	1			
	本画「善通寺山門」	1			
	素描「内海オリーブ公園小豆島」	1			
	素描「讃岐路路傍の石仏」	1			
	素描「白峰寺護摩堂」	1			
	素描「正花寺観音像」	1			
	素描「屋島遠望」	1			
	素描「雲辺寺」	1			
	素描「雲辺寺」	1			
	素描「本山寺遠望」	1			
	素描「本山寺」	1			
	素描「弥谷寺」	1			
	素描「高燈籠琴平町」	1			
	素描「金毘羅宮納橋」	1			
	素描「金刀比羅宮」	1			
	素描「金刀比羅宮本殿」	1			
	素描「金毘羅大芝居金丸座」	1			
	素描「霊場第七十七番道隆寺多度津」	1			
	素描「丸亀城」	1			
	素描「瀬戸内海大橋」	1			
	素描「白峰宮天皇寺霊場七十九番」	1			
	素描「天皇寺」	1			
素描「白峰寺への路十三重石塔」	1				
素描「根香寺」	1				
素描「瀬戸内海の小島」	1				
素描「栗林公園高松」	1				
素描「八栗寺」	1				
素描「志度寺の塔遠望」	1				
素描「志度寺五重塔」	1				
素描「長尾寺」	1				
素描「大窪寺山門」	1				
素描「大窪寺」	1				
7	丸亀町絵図	1	高松市歴史資料館	第75回企画展「たかまつ今昔—創造都市高松の原点を探る—」	平成30年7月12日 ～平成30年9月上旬
8	猪熊弦一郎「自由」	1	公益財団法人 馬事文化財団	馬の博物館秋季企画展「猪熊弦一郎展 馬と女性たち」 馬事文化及び芸術文化の振興	平成30年9月19日 ～平成30年12月中旬
9	音丸耕堂「彫漆溪の秋手箱」	1	高松市美術館	高松市美術館開館30周年記念特別展「音丸耕堂展—華麗なる彫漆世界」 讃岐漆芸を代表する漆芸家・音丸耕堂の作品を通覧する回顧展	平成30年9月11日 ～平成30年10月30日
音丸耕堂「彫漆山雲風炉先屏風」	1				
音丸耕堂「堆朱紅花緑葉仏手柑香合」	1				
音丸耕堂「乾漆蠶繭菓子盆」	1				
音丸耕堂「延齢草文茶入」	1				
音丸耕堂「彫漆延齢草棚」	1				
音丸耕堂「堆黒游蟹図硯箱」	1				
音丸耕堂「堆黒游蟹図料紙文庫」	1				
音丸耕堂「彫漆延齢草文手箱」	1				
音丸耕堂「堆朱茶杓」	1				
音丸耕堂「彫漆梅花つ津き茶器」	1				
音丸耕堂「彫漆桔梗水指」	1				
音丸耕堂「彫漆千鳥茶器」	1				
音丸耕堂「堆漆沈丁華茶器」	1				
音丸耕堂「彫漆曼龍胆文箱」	1				
音丸耕堂「彫漆紅花緑葉料紙文庫」	1				
音丸耕堂「彫漆紅花緑葉硯箱」	1				
音丸耕堂「彫漆カトレア菓子器」	1				
音丸耕堂「堆漆蛙香合」	1				
音丸耕堂「彫漆蝸牛文水指」	1				
音丸耕堂「讃岐彫海老文手箱」	1				
音丸耕堂「墨彩一帳」	1				
10	猫塚古墳出土 壺型土器(レプリカ)	1	高松市歴史資料館	第76回企画展史跡石清尾山古墳群 国史跡追加指定記念企画展「Mt.IWASEO—積石塚からみた地域の実像—」	平成30年9月上旬 ～平成30年11月下旬
猫塚古墳出土 石剣(レプリカ)	1				
猫塚古墳出土 鉄鑿(レプリカ)	2				
猫塚古墳出土 筒形銅器(レプリカ)	3				
猫塚古墳出土 神獸鏡(レプリカ)	1				
猫塚古墳出土 一仙五獣鏡(レプリカ)	1				
猫塚古墳出土 長宜子孫銘内行花文鏡(レプリカ)	1				
猫塚古墳出土 内行花文精白鏡(レプリカ)	1				
猫塚古墳出土 四獣鏡(レプリカ)	1				
猫塚古墳出土 鉄鑿(レプリカ)	2				
猫塚古墳出土 銅剣(レプリカ)	17				
猫塚古墳出土 銅鑿(レプリカ)	8				
11	脇指 銘同作彫之長曾祢興里虎徹入道	1	彦根城博物館	特別展「長曾祢虎徹-新刀随一の匠-」 彦根ゆかりの刀工・長曾祢虎徹の作品が持つ魅力を市民はじめ 広く紹介するため	平成30年10月12日 ～平成30年12月9日

12	弥生土器	1	高松市歴史資料館	第76回企画展史跡石清尾山古墳群 国史跡追加指定記念企画展「Mt.IWASEOー積石塚からみた地域の実像ー」	平成30年9月上旬～平成30年11月下旬
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	弥生土器	1			
	打製石鏃	1			
	打製石鏃	1			
	打製石鏃	1			
	打製石鏃	1			
	打製石鏃	1			
	石包丁	1			
	石包丁	1			
	磨製石斧	1			
磨製石斧	1				
磨製石斧	1				
磨製石斧	1				
磨製石斧	1				
磨製石斧	1				
磨製石斧	1				
磨製石斧	1				
磨製石斧	1				
磨製石斧	1				
凹石	1				
叩石	1				
13	玉楮象谷「堆朱文箱」	1	一般財団法人 そごう美術館	URUSHI 伝統と革新展	平成30年10月31日～平成31年1月30日
	玉楮象谷「紅花緑葉饌盒」	1			
	磯井如眞「蒔繪竹林之図飾棚」	1			
	辻照二「乾漆彩色蒔繪短冊箱」	1			
	中島光夫「彫漆宝石箱」	1			
14	玉楮象谷「堆朱文箱」	1	MOA美術館	URUSHI 伝統と革新展	平成31年1月30日～平成31年4月30日
	玉楮象谷「紅花緑葉饌盒」	1			
	磯井如眞「蒔繪竹林之図飾棚」	1			
	辻照二「乾漆彩色蒔繪短冊箱」	1			
	中島光夫「彫漆宝石箱」	1			

②閲覧利用

番号	資料名	利用者	目的
1	御用日記 天保4年等4件4点	坂出市史編さん所	坂出市史通史編の編さんに関する調査のため
2	玉藻集 1件1点	個人	郷土史の調査・研究のため
3	消暑漫筆 1件1点	個人	石清尾八幡宮鎮座千百年記念事業講演会の資料作成のため、香川県立文書館古文書講座応用編の資料作成のため
4	脇指 銘 長曾祢興里入道庸徹等3件3点	彦根城博物館	平成30年度彦根城博物館特別展「曾根祢虎徹一新刀随一の匠一」にかかる関連作品調査のため
5	癩患ニ関スル例規綴等8件8点	個人	四国遍路と病者の関係についての実証的歴史学研究のため
6	高松松平氏歴世年譜 1件1点	個人	幕末期の高松松平藩の藩政研究のため
7	龍集説考等5件5点	個人	木村黙老の文事に関する研究に資するため
8	[日記] [明和7.閏6.]等2件2点	多度津町教育委員会	多度津町が実施している事業に必要な調査研究に資するため
9	左近筆石清尾八幡宮祭礼図 1件2点	個人	石清尾八幡宮祭礼を主題に卒業論文を執筆するため
10	開基以来先師住職記等3件3点	株式会社 九州文化財研究所	香川県委託業務「礼所の史跡指定に係る屋島寺詳細調査」に関する調査報告書原稿作成のため
11	志度寺縁起等2件7点	個人	平凡社刊『志度寺縁起絵』(仮称、2019年刊予定)掲載論文執筆のため
12	[日記] (佐渡守代)等10件10点	多度津町教育委員会	多度津町が実施している事業に必要な調査研究に資するため
13	藩治職制 高松藩等6件6点	個人	幕末期、申請者の先祖が高松藩の藩政に関与しているか否か調査するため
14	彩色蒔醬料紙箱等7件7点	香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課	有形文化財(工芸品)の県指定にかかる調査のため
15	太刀 銘元重等2件2点	和歌山市立博物館	紀伊藩初代藩主徳川頼宣に関する特別展を開催するための事前調査のため。
16	英公実録(下書)等39巻16冊	和歌山市立博物館	紀伊藩初代藩主徳川頼宣に関する特別展を開催するための事前調査のため。

③画像利用

番号	資料名	利用者	目的	
1	弘法大師像「善通寺御影」	株式会社 エフエー出版	夏期講習教材『夏期講習ナビスタ!』	掲載
2	源内焼世界図皿	公益財団法人山陽放送 学術文化財団	シンポジウム記録集『岡山蘭学の群像3』	掲載
3	景観復元図(野原、15～16世紀)	高松市教育委員会	高松市埋蔵文化財センター平成30年度巡回展 「戦国時代の高松ー西の香西と東の十河ー」パネル	掲示
4	神谷宏治資料185改	NHK高松放送局	「ゆう6かがわ」	放映
5	讃岐院眷属をして為朝をすくふ図	株式会社 美術出版社	『細田守×日本美術』	掲載
6	石清尾八幡宮祭礼図巻	石清尾八幡宮	四国新聞「創祀千百年祭行事の広報」	掲載
7	高松城下屋敷割図	株式会社 交通新聞社	『旅の手帖』6月号	掲載
8	香川県指定有形文化財「写生画帖 菜蔬」	個人	「ビジネス香川 さぬき味探訪」	掲載
9	香川県指定有形文化財「衆鱗図 第一帖」	個人	季刊「文化通心」2018夏号	掲載
10	復元図 宇多津	NPO法人瀬戸内こえび ネットワーク	四国新聞「瀬戸内物語」	掲載
11	神谷宏治資料185改	一般社団法人 徳島新聞社	徳島新聞連載企画「保存か解体か 鳴門に残る増田建築」	掲載
12	長勝寺所蔵 伝池田八幡本地仏坐像(重要文化財)、田村神社所蔵 男女神像、個人所蔵(上原コレクション)、女神像神谷神社所蔵 隨身像(重要文化財)、大麻神社所蔵 天太玉命坐像(重要文化財)、大麻神社所蔵 彦火瓊杵命坐像(重要文化財)	個人	『神像彫刻重要資料集成 4』	掲載
13	エビスサン、住吉丸絵馬、満濃杵搗之図	三豊市詫間町民俗資料館 考古館	ミニ企画展「ソコの池と海のソコ～水の中からひょっこり展～」展示パネル	掲載
14	平賀源内肖像(『平賀源内全集』より)	公益財団法人山陽放送 学術文化財団	『岡山蘭学の群像3』広報テレビスポット	放映
15	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風	高松市教育委員会	パンフレット『高松城天守』	掲載
16	讃岐国の古代寺院	高松市歴史資料館	第75回企画展「たかまつ今昔ー創造都市高松の原点を探るー」展示パネル	掲載
17	玉楮象谷「彩色蒟醬料紙硯箱」、玉楮象谷「堆朱文箱」、玉楮象谷「紅花緑葉饌盒」、磯井如眞「蒟醬竹林之図飾棚」、磯井如眞「雙色紙筥喜鶴之図」、向井武志「蒔絵箱 秋色」、辻照二「乾漆彩色蒔絵短冊箱」、中島光夫「彫漆宝石箱」	株式会社NHKプロモーション	「URUSHI 伝統と革新展」図録	掲載
18	消暑漫筆 卷一、卷三、卷五	香川県立文書館	香川県立文書館古文書解説講座(応用編)テキスト	掲載
19	音丸耕堂「彫漆溪の秋手箱」、「彫漆山雲風炉先屏風」、「堆朱紅花緑葉仏手柑香合」、「乾漆蟻螂菓子盆」、「延齡草文茶入」、「彫漆延齡草棚」、「堆黒游蟹図硯箱」、「堆黒游蟹図料紙文庫」、「彫漆延齡草文手箱」、「堆朱茶杓」、「彫漆梅花う津き茶器」、「彫漆梗榎水指」、「彫漆千鳥茶器」、「堆漆沈丁華茶器」、「彫漆蔓龍胆文箱」、「彫漆紅花緑葉料紙文庫」、「彫漆紅花緑葉硯箱」、「彫漆カトリア菓子器」、「堆漆蛙香合」、「彫漆蝸牛文水指」、「讃岐彫海老文手箱」、「墨彩一帳」	高松市美術館	「音丸耕堂展ー華麗なる彫漆世界」図録・チラシ	掲載
20	玉楮象谷「堆朱鼓箱」	香川県教育委員会	小学校道徳 香川県地域教材「新ふるさとの心 小学校高学年」	掲載
21	香川県指定有形文化財「衆鱗図 第三帖」	個人	月刊「金魚道」151号	掲載
22	神谷宏治資料185改	一般社団法人 徳島新聞社	徳島新聞連載企画「保存か解体か 鳴門に残る増田建築」web	掲載
23	白峯山古図、白峯寺縁起	和歌山県立博物館	秋特別展「西行ー紀州に生まれ、紀州をめぐるー」図録	掲載
24	ジョルジュ・ブラック「楽譜のある静物」	岡崎市美術博物館	岡崎市美術博物館企画展「ジョルジュ・ブラックー宝飾デザインの輝き」紹介映像	放映
25	猪熊弦一郎「赤い上着」、「葉をくわえた女」	株式会社 ネクスス	テレビ東京「開運!なんでも鑑定団」猪熊弦一郎紹介VTR	放映
26	源平合戦図屏風(守峰筆)	株式会社ディ・コンプレックス	フジテレビ系列全国ネット放送『ゲキタイレンジャー』	放映
27	弘法大師像「善通寺御影」	高松市	高松市テレビ広報番組「歴史・文化紹介番組『高松、歴史礼賛』」(TBS系列岡山香川、山陽放送)	放映

28	奉納経四国記 安政三年五月	香川県文化財保護協会	文化財協会報(第198号)	掲載
29	肥前国風土記	株式会社 便利堂	文化財保護法施行65周年『国宝事典』第四版	掲載
30	田中真人広虫女イメーヅ〔イラスト〕	株式会社 敬文舎	小学館刊『天皇はなぜ紙幣に描かれないかー日本史の謎30』『律令制の『常識』を捨て去ると何が見えてくるのか』	掲載
31	猪熊弦一郎「自由」	公益財団法人 馬事文化財団	秋季企画展図録『猪熊弦一郎展 馬と女性たち』	掲載
32	白あしぎぬ(宮内庁正倉院蔵)複製	一般社団法人香川県進路指導研究部	平成30年度 3年4回 学習の診断 社会問題	掲載
33	田中真人広虫女イメーヅ〔イラスト〕	株式会社 小学館	小学館ホームページBOOK PEOPLE内「日本史の迷宮」(三上喜孝著)	掲載
34	源平合戦図屏風	公益財団法人 徳川黎明会 徳川美術館	「大坂冬の陣図 模本」を復元するにあたり、長谷川派系の絵師が描いた可能性が考えられる屏風を調査研究するため	その他(調査研究)
35	脇指 銘同作彫之長曾祢興里虎徹入道	彦根城博物館	特別展「長曾祢虎徹-新刀随一の匠-」展覧会図録および広報資料	掲載
36	源平合戦図屏風〔左隻(藤戸の場面)〕	株式会社 吉川弘文館	小林健二『描かれた能楽(課題)』口絵	掲載
37	香川県指定有形文化財「衆鱗図 第一帖」、「衆鱗図 第三帖」	個人	平成30年度全国内水面漁場管理委員会連合会西日本ブロック協議会「魚類学とグローバリゼーション〜日本産魚類の初期の研究史〜」	掲載
38	香川県の成立	香川県立文書館	香川県立文書館古文書解説講座(応用編)テキスト	掲載
39	地券、地券	三豊市高瀬町公民館	高瀬町公民館講座「高瀬発！ 再見、歴史教室」	掲載
40	平山郁夫「津田の松原」、本画「栗林公園」、本画「金刀比羅宮」、本画「讃岐路」、本画「志度寺」、本画「善通寺山門」、素描「内海オリブ公園小豆島」、素描「讃岐路路傍の石仏」、素描「白峰寺護摩堂」、素描「正花寺観音像」、素描「屋島遠望」、素描「雲辺寺」、素描「雲辺寺」、素描「本山寺遠望」、素描「本山寺」、素描「弥谷寺」、素描「高燈籠琴平町」、素描「金毘羅宮鞆橋」、素描「金刀比羅宮」、素描「金刀比羅宮本殿」、素描「金毘羅大芝居金丸座」、素描「霊場第七十七番道隆寺多度津」、素描「丸亀城」、素描「瀬戸内海大橋」、素描「白峰宮天皇寺霊場七十九番」、素描「天皇寺」、素描「白峰寺への路十三重石塔」、素描「根香寺」、素描「瀬戸内海の小島」、素描「栗林公園高松」、素描「八栗寺」、素描「志度寺の塔遠望」、素描「志度寺五重塔」、素描「長尾寺」、素描「大窪寺山門」、素描「大窪寺」	市川市	市川市東山魁夷記念館特別展『巡礼への道のりー東山魁夷・平山郁夫ー』図録およびポスター・チラシ	掲載
41	河内上組太鼓台、庄屋の蔵、黒家具五人前(輪島塗 皆朱家具・皆黒家具)、(提重セット)・蒔絵(蒔絵瓜文提重)	三豊市	三豊市文書館 秋期企画展パネル	掲載
42	〔賞状〕、鉄道馬車通行之図	個人	『香川県独立の父 中野武宮』『中野武宮の生涯』	掲載
43	著到御懐紙 後柏原天皇宸翰、後西天皇宸翰御懐紙	株式会社 かみゆ	『写真・図解 天皇の歴史』	掲載
44	屋島合戦画帖	株式会社 ハイホーテレビ	フジテレビ『林修のニッポンドリル』	放映
45	国宝 藤原佐理筆 詩懐紙	東京国立博物館	特別展「顔真卿 王羲之を超えた名筆」図録	
46	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風	株式会社 山川出版社	『CG復元でみるよみがえる日本の城』	掲載
47	鎌倉芳太郎 型絵段染山水文上布長着、型絵染松竹雀文着物、型絵染波濤帆船文長着	株式会社 ハースト婦人画報社	『美しいキモノ 266号 冬 生誕120年鎌倉芳太郎の仕事』	掲載
48	VHS「大喜多家資料」	三豊市	三豊市文書館 平成30年度 秋期企画展 「三豊の豪家」	掲載
49	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風	個人	新塩屋町コミュニティセンター公開講座	掲載
50	陣太鼓	個人	研究報告「陣太鼓笈と天狗笈」	掲載
51	国宝 藤原佐理筆 詩懐紙	株式会社 毎日新聞社	国宝「藤原佐理筆詩懐紙」のポストカード・クリアファイル	掲載
52	大久保謙之丞宛大久保菊治葉書、大久保謙之丞「日誌」、大久保謙之丞宛今村勤三書簡 封筒、大久保謙之丞宛今村勤三書状、大久保謙之丞「手帳」、讃岐鉄道会社第二回報告、讃岐鉄道会社第三回報告	安堵町教育委員会	『今村三代史』	掲載

53	左近筆石清尾八幡宮祭礼図	個人	卒業論文「石清尾八幡宮の伝統的祭礼に関する研究」	掲載
54	香川県指定有形文化財「衆鱗図 第一帖」、後水尾天皇宸翰女房奉書、左近筆石清尾八幡宮祭礼図	公益財団法人 中條文化振興財団	財団機関誌連載「くにもの」	掲載
55	著到御懐紙 後柏原天皇宸翰、後西天皇宸翰御懐紙	株式会社 かみゆ	『写真・図解 天皇の歴史【電子書籍版】』	掲載
56	栗林公園古図(部分)	香川県交流推進部交流推進課	12月20日付四国新聞朝刊	掲載
57	紫雲出山遺跡(詫間町)から瀬戸内海を望む	大阪府立弥生文化博物館	平成30年度 大阪府立弥生文化博物館 冬季企画展「弥生時代の高地性集落とは 一大阪における特徴と性質」パネル	掲載
58	国宝 藤原佐理筆 詩懐紙	株式会社 芸術新聞社	『古筆細見 そのこころと技』	掲載
59	国宝 藤原佐理筆 詩懐紙	教育出版 株式会社	平成33(2021)年度版 中学校国語科書写用教科書『中学書写』	掲載
60	大東亜共栄圏めぐり双六	株式会社 山川出版社	『授業用 現代の世界史 Power point 教材』	掲載
61	朱舜水像	有限会社 大悠社	『海外からお客さんをむかえたら 話してみたい！ 伝えてみたい！ニッポンのこと』第1巻	掲載
62	脇指 銘同作彫之長曾祢興里虎徹入道	株式会社 天夢人	『週刊日本刀』(デアゴスティーニ・ジャパン刊行)第3号 日本刀匠伝「虎徹」	掲載
63	猪熊弦一郎「葉をくわえた女」、「絵を描くN氏」、「ニースの女」、「月と猫達」、「太陽の環境」、「秩序と町」、「風景PB」、「四つの隣人」、「赤い大きな美しい色面」、「違った形象の集落」、「都市の中の黒い三角」、「指の遊び」、「鳥たちの朝」、「顔のドラマ」	石川県立美術館	「脇田和と猪熊弦一郎～モダンの展開～」展図録	掲載
64	景観復元図(仁尾、15～16世紀)	三豊市	『みとよのよもやま話 仁尾編』	掲載
65	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風(部分)	高松市教育委員会	平成31年度高松城跡(玉藻公園)陳列館展示「The Tenshu-Main Donjon of takamatsu Castle」展示パネル	掲載
66	本山寺五重塔相輪模型、本山寺五重塔玉垣模型、本山寺五重塔基壇模型	個人	香川県建築士会会報「かがわ建築士」(2019年度版)	掲載
67	満濃池御普請所絵図、満濃池絵図 天保八丁酉年、讃州那珂郡分間画図、満濃池水掛村々之図、満濃池之図、讃岐琴平名所絵葉書、讃岐写真帖、金刀比羅宮御境内及讃岐名所図絵、琴平急行沿線名勝鳥瞰図、満濃池宮築図、讃岐国那珂郡満濃池近郷御料私領絵図	まんのう町教育委員会	『満濃池名勝調査報告書』(平成31年3月29日発行)	掲載
68	名東県管内里程図	香川県土木部道路課	高松自動車道四車線化完成記念冊子	掲載
69	弘法大師像(善通寺御影)	株式会社 エディキュープ	『日本の名僧 その生涯と言葉に学ぶ』	掲載
70	香川県指定有形文化財「衆芳画譜 菓草第二」のうち「甘草」	学校法人名城大学	ホームページ連載企画「漢方随想録」第10回	掲載
71	玉楮象谷「彩色蒟醬料紙硯箱」	株式会社 テクノクラフトインターナショナル	「素敵生活」vol.77	掲載
72	香川県指定有形文化財 高松城下図屏風	株式会社 テレビ東京メディアネット	BS-JAPAN「空から日本を見てみよう」～高松編～(2013年5月21日放送)	放映
73	弘法大師像(善通寺御影)(部分)	公益財団法人日本習字教育財団	書道通信教育テキスト	掲載
74	弘法大師像(善通寺御影)	株式会社マックオフィス	『見るだけ日本史年表』	掲載
75	秋山泰計「兎・マンドリル」、「赤鯛・黒鯛」	高浜市やきものの里かわら美術館	かわら美術館年間スケジュール	掲載
76	第9図 法然寺墓所(般若台)墓石番号図、第15図 頼桓墓立面図(1/70)、第19図 春墓立面図(1/70)、第24図 霊芝寺墓所平面図(1/250)、第30図 本堯寺松平頼該霊廟平面図・断面図	個人	『日本歴史』「高松藩主松平家墓所」	掲載
77	金毘羅山名勝図会	まんのう町教育委員会	『満濃池名勝調査報告書』(平成31年3月25日発行)	掲載
78	神谷氏資料 104、182、185改	株式会社 テレビマンユニオン	NHK(Eテレ)『先人たちの底力 知恵泉』「丹下健三 前編・巨大プロジェクトを成功させるには」	放映
79	神谷宏治資料185改	(公社)香川県観光協会	「うどん県」インスタグラム 歌インスタ「県民だけじゃない」篇	掲載

## 分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

### 30年度の活動概要

#### ○県文化芸術振興計画と当館の活動

瀬戸内海歴史民俗資料館(以下、歴民と表記)の活動は、平成30年度に策定された平成30年度から5ヵ年間の計画期間とする新しい香川県文化芸術振興計画(以下、県計画と表記)、ならびにその県計画と計画期間を合わせて新たに策定しなおした香川県立ミュージアム中期活動計画(平成30～34年度 以下、館中期計画と表記)に基づき実施した。

なお、当館は平成30年7月、「多年にわたり瀬戸内海にまつわる歴史・文化の紹介や造船技術の展示、瀬戸内海的环境保全に関する啓発活動などを通じ海事思想の普及に多大な貢献をした」として、四国地方整備局長表彰を授与された。

#### ○展示活動

県計画において、歴民は「I文化芸術を育む環境(1)県民が文化芸術に親しむ基盤と環境の整備」の項で「瀬戸内海歴史民俗資料館の活用」が重点項目として設定されている。ここでは特に以下2点について取り組むことが明記されている。

- ・瀬戸内海歴史民俗資料館が所蔵する多くの歴史民俗資料について、展示方法を工夫するなどして、県民が優れた文化遺産に親しむ機会を充実させます。
- ・歴史民俗関係に加え、子ども向けの自然や環境分野の展示を充実させることで、子ども達がこれらの分野を総合的に学習できるような機能を付与することについて検討します。

この計画方針にのっとり、常設展示の工夫や収蔵している歴史民俗資料の活用に取り組んだ。

テーマ展「瀬戸大橋架橋の島々の民俗写真展」では、瀬戸大橋開通30周年にあわせて、当館が架橋工事前に緊急民俗調査を行った時の記録写真などを展示し、島の生活の変化や当館調査研究の蓄積を紹介した。また、テーマ展「崇徳院神霊、京都へかえる」では、当館所蔵の直島三宅家文書を活用し、幕末・明治国家成立期の精神世界の一端を民俗学的な視点で紹介した。これらの展示は、マスコミや一般県民、マニアなどからの関心も高く、SNSでも話題となり、当館活動の認知度を引き上げることができた。

また、常設展示では県計画の自然分野の展示の充実や自然・人文総合的な瀬戸内海文化の理解を進めるため、瀬戸内の漁撈用具を展示している第1展示室に故種政幸氏が長年制作した魚類剥製約40点を寄贈いただき展示し、漁具とその対象魚種との関係を理解しやすいよう工夫した。

また、コーナー展示室などでは、季節に合わせ館蔵資料を展示し紹介した。

#### ○地域連携活動

地域連携活動については、旧県計画「文化遺産の保存・継

承・防災対策」において「文化財レスキュー計画への参画」がうたわれ、大規模災害時の文化財の保全への取組みが求められ、当館では県内民俗資料収蔵施設の現況調査やハザードマップへの反映などの基礎調査を県内60余カ所の市町収蔵庫や民間展示施設等を対象に行ってきた。平成29・30年度は、その追加調査を実施し、情報の更新を行うとともに、災害時の民俗資料の保全には、地域住民の身近な場所に地域にとって大切な民俗資料が多数保管されていることを知っていただくことが必要と考え、テーマ展「香川のお宝民俗資料蔵出し展1・2」を開催し、マスコミ等からも注目された。また、同事業の一環として、土庄町教育委員会と連携して、土庄町立豊島小中学校の倉庫に保管されている民俗生活用具を再確認・整理し、次年度の島での公開に向けて準備した。8月中下旬の10日間に、職員・ボランティア等のべ59人が参加し、466点の資料の写真撮影・法量測定、住民からの聞き取り調査などを実施した。

#### ○調査研究活動

香川県などが、3年に一度開催している瀬戸内国際芸術祭に関連して、「瀬戸内」に係る歴史・民俗・風俗・地理・自然科学などの多様な分野を学術的な観点から捉え、次代へのメッセージとして残すための書籍『瀬戸内全誌中間報告書』刊行のための編纂作業に取り組んだ。当館では、平成27年度から、瀬戸内各地の祭礼行事や島嶼・沿岸部の現況把握や記録化など、民俗分野の調査に取り組んでおり、約15項目について報告した。

また、31年度に香川県立ミュージアムで開催予定の特別展「祭礼百態」展の準備のため、調査・依頼等を行った。

#### ○収集保管活動

当館ではボランティア活動の中で預託資料の整理を進めており、29年度から進めてきた県産業技術センターJETRO資料について、整理を終え移管手続きを終えた。

また、当館初代民俗担当専門職員であった高橋克夫氏の調査写真やノート・専門書籍などの整理も行き、簡易目録の作成を終えた。その他、漁業活動にも関わった三豊地域の地主家資料の整理についても順調に進めることができた。

#### ○施設・設備の整備

展示室の防犯用シャッター2ヶ所及び電気設備の更新を行った。また、地下ピット内の上水道配管設備や研修室及び廊下の壁塗装の塗替えなどの修繕を行った。

#### ○個人からの寄付

坂出市在住の個人より、歴民の事業や資料の保守管理等のために役立てて欲しいと、50万円の寄付があった。それを受けて次年度テーマ展の解説シートの印刷や屋外展示物の保全等に活用させていただくこととした。

(瀬戸内海歴史民俗資料館館長 田井静明)



# 1 展示企画事業

## (1) 館内展示

### ①常設展示

常設展示として第1展示室から第8展示室において、瀬戸内海の漁業や島々の暮らし、船大工用具、廻船などの瀬戸内海の水運、香川の自然環境に育まれた讃岐三白、ため池などの水利用具、稲作用具、そして祭りや芸能に関わる資料を展示し、瀬戸内の里海文化、香川の里山文化を紹介した。毎月2回ずつの常設展示解説会を行った。

第1展示室に故種政幸氏が長年制作してきた魚類剥製約40点を寄贈いただき展示し、子どもたちや一般来館者に漁具とその対象魚種について理解しやすくした。また、第6展示室の「ため池・水利」コーナーに満濃池のユルや改修工事に関わる江戸時代の絵図パネルを追加展示した。

そのほか、ロビー展示ケースや休憩室展示ケース、季節展示コーナーを利用して、収蔵資料を紹介した。季節展示コーナーでは水口祭り、亥の子、正月飾りなどの資料を順次展示した。

各展示室のテーマ構成

第1展示室	第2展示室	第3展示室	第4展示室
【瀬戸内の里海文化】			
瀬戸内海の漁撈用具と船、島々の暮らし [国重有民]	瀬戸内海の船大工用具と木造船の製作現場 [国重有民]	瀬戸内海の水運と海の信仰 [国重有民ほか]	宇高連絡船と機帆船 瀬戸内海国立公園
第5展示室	第6展示室	第7展示室	第8展示室
【香川の里山文化】			
讃岐三白と養蚕	ため池・水利炭焼きと里山	香川の農具(稲作用具)	香川の祭りと芸能

収蔵展示

収蔵庫1	収蔵庫2
背負運搬具コレクション [国重有民]	さまざまな日本各地の船 (船のルーツを考える)

### ②テーマ展示

第9・10展示室において、館蔵資料の積極的な公開をめざし、「瀬戸内海」「民俗」を中心としたテーマ展示を実施した。30年度は、瀬戸大橋開通30周年や明治150年などの記念展事業を中心に開催した。また、昨年度に引き続き、文化財レスキュー事業の周知等を目的としたお宝民俗資料蔵出し展を実施した。

	期 間	展示テーマ	展 示 内 容
1	H30. 3. 24 (土) ～5. 20 (日)	香川のお宝民俗資料蔵出し展2	昨年に引き続き、県内各地域に保管されている民俗資料のなかから、紀年銘が残る資料や、学校で使われた道

			具など、当館職員が選んだ、普段は収蔵庫などに保管され、公開されていない「お宝民俗資料」を借用し、展示した。
2	7. 7 (土) ～9. 2 (日)	瀬戸大橋架橋の島々の民俗写真展	瀬戸大橋開通 30 周年の関連企画として、架橋以前と以後で大きく変化した島々の様子について、架橋以前に島々を訪れた渋沢敬三を代表とするアチックミュージアム調査団や、民俗学者宮本常一、さらに当館職員が撮影した写真や映像で紹介した。
3	9. 22 (土) ～ 11. 25 (日)	崇徳院神霊、京都へかえる	明治 150 年関連企画として、明治改元直前に行われた、崇徳院神霊の京都遷還運動に関わった香川の人々の動きを通じて、明治国家成立期の精神世界の一端を紹介した。



テーマ展「香川のお宝民俗資料展2」展示風景

## (2) 企画広報

### ①ホームページほか広報活動

館独自のホームページを24回58頁更新し、アクセス数の増加を図った。しかし、30年度のホームページトップページへのアクセス数合計は12,171件で、前年度(12,761件)より微減であった。

## 2 地域連携学習支援事業

### (1) 学校教育支援活動

#### ①学校との連携

30年度の学校団体利用は、大学・専門専修学校3校82人であった。その他、ワークサポート香川の事業とタイアップし、多度津高校の建築科の生徒へのレクチャーの場を提供した。また、東京芸術大学のワークショップを、当館を

会場に実施した。

## ②博物館実習

30年度は民俗を専門とする学芸員実習の希望があり、1名を受入れ、館内・館外での実習を5日間行った。

## (2) 地域連携活動

### ①職員の講師派遣

30年度は各団体主催の10回の講演会・講座等に職員を派遣し、649人の聴講者があった。

	月 日	講師名・演題	主催	聴講者数
1	H30. 5.12 (土)	田井静明 民俗って何	高松市歴史資料館企画展トークイベント	47人
2	9.15 (土)	田井静明 高原水車の調査 文化財登録にいたる	高松市歴史民俗協会「さぬきの水車」シンポジウム	90人
3	10.22(月)・ 23(火)	田井静明 瀬戸内の海の祭り と信仰 瀬戸内海国立公園 の成立と船旅、ハイ キング 瀬戸内海の異界と 海から寄り着くモ ノたち 直島、知られざる崇 徳院伝説	につぼん丸 瀬戸内クル ーズ「瀬戸内 海の民俗文化」講演会	87人
4	11.5(月)	田井静明 四国遍路と地域社 会	徳島文理大 学志度校	238 人
5	12.6(木)	田井静明 崇徳院神霊、京都へ かえる	高瀬町公民 館講座	23人
6	H31.1.27 (日)	田井静明 櫃石島案内	香川県環境 管理課かが わ里海大学	31人
7	1.30(水)	田井静明 仁尾の民俗	仁尾町公民 館講座	30人
8	2.3 (日)	田井静明 さぬき市の民俗	さぬき市教 育委員会文 化財養成講 座	14人
9	2.10 (日)	田井静明 香川県の無形民俗 資料の現状	讃岐獅子舞 保存会シン ポジウム	34人
10	2.10 (日)	芳澤直起 ADEAC 公開記念「大 谷池由来書」	綾川町立図 書館	55人

## ②文化財レスキュー

### i) 研究協議

文化財レスキュー事業の一環として、県外における文化財レスキューの実際や本県における災害時の対応等につい

て、県教委生涯学習・文化財課や本館と定期的に研究協議した。

### ii) 豊島小中学校保管の昔の道具調査

文化財レスキュー事業の一環として、土庄町教育委員会と連携して、土庄町立豊島小中学校の倉庫に保管されている民俗生活用具を再確認・整理し、次年度の島での公開に向けて準備した。8月中下旬の10日間で、職員・ボランティア等のべ59人により、466点の資料の写真撮影・分量測定、住民からの聞き取り調査を実施した。

### iii) 香川県高等学校理化・生地部会との連携

文化財レスキュー事業の一環として、同部会と連携して、県内高等学校に保管されている理科実験器具や模型、標本などの保管状況調査を試行するとともに、次年度のテーマ展実施について協議した。

## ③ボランティア

県立ミュージアム文化ボランティアの分館グループとして活動しており、30年度の登録者数は31名。

30年度は、館蔵図書整理や寄贈手続き予定の資料整理、無形民俗資料の現地記録や動画編集を中心に活動した。

### i) 展示案内

- 来館者に対して、第1展示室の展示案内を土・日・祝日に実施。2名のボランティアが年間で9回30組68名の来館者に説明を行った。

### ii) 資料整理

#### 歴史・民俗資料の整理

近代の漁業関係資料、館蔵図書整理、無形民俗資料の動画編集等の整理作業を行う。15名のボランティアがのべ169回活動。

### iii) 館外調査

- 県内における祭礼行事等の撮影を行った。2名のボランティアがのべ28回活動。
- ボランティア研修を兼ねて多度津町佐柳島を訪ねる企画を実施。4名が参加した。

### iv) 館行事(イベント)補助

- ワークショップ「瀬戸芸の島を訪ねる」「れきみん常設展示・建築ツアー」の補助やれきみん講座の受付などを12名のボランティアがのべ15回行った。

### v) 環境整備

- 館敷地内の雑木の伐採や草刈り、手入れなどを行う。3名のボランティアが5回活動し、うち1回は屋外展示船のカバーシート整理を実施し、1名のボランティアが補助した。

内容	活動者計	活動者数	活動回数と のべ人数
展示案内	31名	2名	9回・9人
資料整理		15名	169回・179人
館外調査		2名	28回・28人
館行事補助他		12名	15回・59人

環境整備		3名	5回・5人
		合計	226回・280人

### (3) 普及活動

#### ①れきみん講座

当館専門職員が、専門分野の調査・研究成果をわかりやすく紹介する「れきみん講座」を、分館研修室を会場として5回実施した。

	日時	テーマ	担当	聴講者数
1	H30. 8. 4(土) 13:30～ 15:00	渡海船をおいかけて	芳澤直起	20人
2	11. 10(土) 13:30～ 15:00	崇徳院神霊、京都へかえる	田井静明	45人
3	12. 1(土) 13:30～15:00	民俗資料の活用について －豊島民俗資料整理活動	木内英博	13人
4	H31. 2. 9(土) 13:30～ 15:00	唐箕の伝播をさぐる	織野英史	32人
5	3. 9(土) 13:30～ 15:00	船大工用具・負子、国指定文化財への道	織野英史	26人



第2回講座実施風景「崇徳院神霊、京都へかえる」

#### ②ワークショップ

瀬戸大橋開通30周年で関心が高まりつつある島々を紹介するワークショップを実施した。瀬戸内海の島々の歴史や民俗について、当館職員や島に育った方を講師に島を案内し、島文化の理解を深めた。

また、日本建築学会賞などの各種建築賞を受賞している当館建築や常設展示を詳しく紹介するツアーを実施した。

	日時	テーマ	担当	参加人数
1	H30. 4. 18(水)	瀬戸大橋開通30周年 瀬戸内の島を訪ねる① －与島－	与島住民・関係者 当館職員	25人
2	9. 2(日)	瀬戸大橋開通30周年 瀬戸内の島を訪ねる② －沙弥島－	沙弥島住民 当館職員	18人
3	H31. 3. 24(日)	れきみん常設展示、建築ツアー	建築家 当館職員	19人



「瀬戸内の島を訪ねる②－沙弥島－」実施風景



「れきみん常設展示・建築ツアー」実施風景

### 3 調査研究事業

#### (1) 調査研究活動

##### ①歴史民俗総合調査・研究

香川県及び瀬戸内地方の祭礼行事、民俗芸能等について、映像等による記録化を進めるとともに、2カ年事業として関連する史資料や絵馬などの絵画資料、古文書資料などを集成し、31年度特別展開催へ向けて調査研究を行った。

##### ②有形民俗資料の調査・研究

収蔵している民俗資料の再確認調査を実施し、一部を休憩コーナーで展示公開した。また、文化財レスキュー事業の一環として土庄町立豊島小中学校保管民俗生活資料の再整理活動（カード化・一覧表化）を行った。

### ③無形民俗資料の調査・研究

「瀬戸内全誌調査」の一環として、香川県内や瀬戸内地域全域を対象にした祭り・行事の広域調査を計画的に実施し、写真や映像による記録化を行った。対象行事は「山車祭礼」「神楽」など。また、平成8年度に行った香川県民俗芸能緊急調査から20年を経過するなかで、一部の祭礼行事について現状の確認調査に着手した。また、カイホリなどのため池保守についても調査した。

### ④展示に係る調査

テーマ展「香川のお宝 民俗資料蔵出し展2」、「瀬戸大橋架橋の島々の民俗写真展」、「崇徳院神霊、京都へかえる」にかかわる調査を行った。これらの調査成果によって展示を企画し、解説シート・パネル・ラベルの解説に反映させた。

### ⑤レファレンス等による調査

#### i) レファレンス対応

30年度に対応したレファレンスは以下のとおりである。

項目	件数
質問	78件
寄贈・寄託希望	6件
調査依頼	2件
資料情報	11件
その他	9件
合計	106件

#### ii) 資料の寄贈・寄託の申し出に伴う調査

30年度は、6件の寄贈申込みを受けて調査した。そのうち、丸亀市の農具・生活資料、瀬戸内海域の海図資料、高松市の祭壇等葬祭用具一式、丸亀市の生活用具、多度津町の戦後港湾関係資料など6件の寄贈手続きを行った。

### ⑥教育普及に伴う調査

れきみん講座に関連した調査を行い、これらの調査成果を講座内容に反映させた。

### ⑦ボランティア館外調査

本年度は次年度ワークショップの下見を兼ねて佐柳島（多度津町）のフィールドワークを行った。また、平成29年度から始まった県内の祭り行事のビデオ・写真による記録撮影を本年度も行った。

### ⑧瀬戸内全誌にかかわる調査・研究

瀬戸内国際芸術祭事業の一環として、瀬戸内海の魅力を発信する『瀬戸内全誌』調査事業として、岡山県の白石島・日生諸島、広島県大崎上島・江田島・似島、山口県の大津島、愛媛県新居大島・比岐島・豊島などを訪れ、島のくらしや漁業、戦争遺産などについて調査した。

また、執筆委員の合同調査計画とその実施、刊行準備のための報告会調整作業を行った。

### ⑨各種研修の受講

東京文化財研究所第13回無形民俗文化財研究協議会に参加し、次年度の本館特別展に向けて参考とした。

田井静明 H30.12.15

## (2) 成果物公表

### ①研究成果の公表

#### i) 論文・報告・紹介など（館外）

田井静明

- ・「漁村の祭り・信仰 香川」四国民俗学会「漁村の祭り・信仰」シンポジウム口頭発表 H30.6.10
- ・「香川の祭り・行事」香川民俗学会月例会口頭発表 H30.6.24
- ・「小豆島霊場と香川県の写し霊場概観」愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター公開シンポジウム口頭発表 H30.10.27
- ・「小豆島霊場と香川県の写し霊場概観」愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター研究紀要『四国遍路と世界の巡礼』第4号 H31.3.29
- ・「高原水車の調査 文化財登録にいたる」高松市歴史民俗協会『讃岐の水車』 H31.3.30

織野英史

- ・「代掻馬鍬の子前面板、無爪負子と相鉾」『坂出市史研究』第5号、H30.5.31
- ・「落下量調整板墨書の本体適用-紀年銘唐箕「除外」の問題点-」『民具マンスリー』第51巻3号、神奈川大学日本常民文化研究所、H30.6.10
- ・「近年の唐箕論議の問題点～一覧表抹消唐箕の復権等あれこれ」日本民具学会・四国民具研究会・山口みんぞくの会・広島民俗学会合同研究会口頭発表、H30.6.30
- ・「近年の唐箕論議と問題点」『民具集積』20号、四国民具研究会、H30.11.2
- ・「歩荷・山案内人と負子・荷杖一立山・薬師岳・蓮華温泉・白山・ティロール・ツェルマッター」日本民具学会大会口頭発表、H30.11.11 氷見市立図書館
- ・「陣太鼓笈と天狗面笈」『高松市歴史民俗協会紀要』、高松市歴史民俗協会、H31.3.31
- ・「資料を守り、活用するー多度津町・三豊市誌問・観音寺市、資料館の挑戦ー」『れきみん』第29号、高松市歴史民俗協会、H31.3.31
- ・「中四国民具研究の集いー日本民具学会・四国民具研究会・山口みんぞくの会、広島民俗学会合同研究会ー」（真鍋篤行氏共著）『れきみん』第29号、高松市歴史民俗協会、H31.3.31

#### ii) 自治体や他機関からの委嘱など

田井静明

- ・坂出市史編さん委員
  - ・国立歴史民俗博物館基礎研究プロジェクト「地域における歴史文化研究拠点の構築」共同研究者
  - ・「多度津町本通等の伝統的町並み調査」調査員
- 織野英史

- ・坂出市史編さん調査委員

iii) 当館刊行物及び香川県立ミュージアム刊行物

木内英博

- ・歴民テーマ展解説シート H30-1「香川のお宝 民俗資料蔵出し展 2」

芳澤直起

- ・歴民テーマ展解説シート H30-2「瀬戸大橋架橋の島々の民俗写真展」

田井静明

- ・歴民テーマ展解説シート H30-3「崇徳院神霊、京都へかえる」

織野英史

- ・「犁を中心とした香川県農具大工の製品と製作用具」香川県立ミュージアム『ミュージアム調査研究報告』第10号 H31.3.31

iv) 『香川県立ミュージアムNEWS』での調査研究・資料紹介等

芳澤直起

- ・「千当丸をおいにかけてーテーマ展「瀬戸大橋架橋の島々の民俗写真展」の調査からー」(歴民だより・NEWS vol. 41)

田井静明

- ・「崇徳院神霊、京都へかえるー明治改元直前の怨霊鎮撫プロジェクトー」(歴民だより・NEWS vol. 42)

木内英博

- ・「情熱をもち瀬戸内文化を探り、考え記録した人ー高橋克夫ー」(歴民だより・NEWS vol. 44)

芳澤直起

- ・「瀬戸内海の戦後処理ー多度津「港組」の活動ー」(調査研究ノート・NEWS vol. 44)

②刊行物

i) テーマ展解説シート

平成30年度に開催したテーマ展「香川のお宝 民俗資料蔵出し展 2」・「瀬戸大橋架橋の島々の民俗写真展」・「崇徳院神霊、京都へかえる」に関する内容を紹介した解説シートを印刷、刊行した。規格はA3判・2ツ折、モノクロ刷、各2,000部。

4 資料の収集・整理・保管事業

(1) 資料収集活動 (平成31年3月末現在)

平成30年度収集数

部門	購入	寄贈	寄託	移管	計
民俗	0	177	0	3,857	4,034
歴史	0	0	0	0	0
資料	0	64	0	0	64
計	0	241	0	3,857	4,098

平成30年度末累計

部門	館蔵(購入・寄贈・移管)	寄託	計
民俗	26,502	0	26,502
歴史	84,662	12,573	97,235
考古	253	947	1,200
資料	71	0	71
計	111,488	13,520	125,008

①寄贈資料(掲載の順序は、原則採納手続き順による)

i) 民俗資料

丸亀市の農具・生活資料	2点
瀬戸内海域の海図資料	25点
昭和30年代後半～40年代の輸出用海外収集見本資料(移管資料)	3,857点
丸亀市広島の西海域海あがりのタコツボ	1点
高松市の祭壇等葬祭用具一式	87点
丸亀市の生活用具	6点
多度津町の戦後港湾関係資料	11点
さぬき市の造船道具及び記録類	29点
高松市の農具資料	12点
高松市の農具資料	2点
高松市の農具資料	2点
計	4,034点

ii) 資料

魚の剥製関係資料	64点
計	64点

②文献資料の収集

- i) 報告書・図書等の寄贈点数 97点(恵贈市町史数)
- ii) 購入雑誌 『日本民俗学』、『民具研究』 6点
- iii) 購入受贈図書 瀬戸内関係図書(愛媛県・和歌山県・大阪府の市町史誌) 31点

(2) 資料整理保管活動

①資料整理活動

高橋克夫資料の整理を行い簡易目録の作成を終えた。また、荘内半島地主資料の整理を継続している。

②収蔵資料管理システム

県立ミュージアムのデータベースシステムを、当館でも運用している。国重要有形民俗文化財約500点、その他の民俗資料約2,000点を入力した。

③重要有形民俗文化財の修理

重要有形民俗文化財「瀬戸内海及び周辺地域の漁撈用具」のうち、「釣り船」(大分・佐賀関)1隻の保存修理を、国宝重要文化財等保存整備事業費補助金を活用して実施した。30年度は、2ヵ年事業のうち、船体上部構造の修理を中心に行った。



### (3) 資料の特別利用

#### 利用区分一覧

利用申請 計 20 件

利用区分	件数	点数	
貸出	4	58	
閲覧	7	592	
画像利用	出版	9	10
	放映(再放送を含む)	1	2
	掲出(パネル展示等)	0	0
	WEB等掲載	0	0
	DVD掲載	0	0
	撮影・複写・紙焼等	0	0
	その他	1	1
複製製作	1	1	

※一申請で複数の利用区分がある場合があるため、利用総数と区分別の総数は異なる。

#### ①貸出利用

番号	資料名	利用者	目的	利用
1	ナウマン象牙 1点	香川県観光交流局観光振興課	瀬戸大橋記念館常設展示のため	H304.1~31.3.31
2	ドンザ 計2点	東山魁夷せとうち美術館	「せとうち気分ー多島海を描くー」展示のため	H30.6.28~9.3
3	『小神野筆帖』計5点	高松市歴史資料館	「たかまつ今昔ー創造都市高松の原点を探るー」	H30.7.14~9.2
4	タチウオ釣用具など計50点	徳島県立博物館	「阿波漁民ものがたりー海を渡り歩いた漁師たちの5つの話ー」	H30.7.14~9.2

#### ②閲覧利用

番号	資料名	申込者	利用目的	区分
1	小神野筆帖 計1点	個人	香川県立文書館平成30年度古文書解説講座 応用編の資料作成のため	閲覧
2	木村黙老の文事に関する資料 計23点	個人	木村黙老の文事に関する研究のため	閲覧
3	歌舞伎根本類 計11点	小豆島農村歌舞伎調査委員会	小豆島農村歌舞伎調査事業に係る資料調査のため	閲覧
4	屋島寺詳細調査に関する調査ノート 計2点	株式会社九州文化財研究所	香川県による委託業務「札所の史跡指定に係る屋島寺詳細調査」に関する調査報告書作成のため	閲覧
5	借用銀証文など 223点	神戸大学経済経営研究所	科研プロジェクト「近世の越後縮生産地域の間屋経営と金融構造」に係る学術調査のため	閲覧
6	三宅家文書における検地帳など 計324点	立命館大学食マナジメント学部	近世日本の農業生産力と気候変動の関係を研究するため	閲覧
7	塩飽領与嶋岡崎家文書 計8点	個人	郷土史の調査研究のため	閲覧

#### ③画像利用一覧

番号	資料名	申込者	利用目的	区分
1	松浦正文庫「金毘羅参詣名所図会 卷之二」1点	ハーバード・京都大学グリークラブOB会 1 ジョイント・コンサート in Sanuki 2018実行委員会	ハーバード・京都大学グリークラブOB会 ジョイント・コンサート in Sanuki 2018 プログラム掲載	出版
2	松浦正文庫「小神野筆帖 仁巻、義巻、智巻、信巻」4点	4 香川県立文書館	香川県立文書館古文書解説講座(応用編)テキストに掲載のため	出版
3	松浦正文庫「小神野筆帖 仁巻」1点	1 高松市教育委員会	パンフレット『高松城天守』への掲載	出版
4	三野家文書「備前国児嶋郡赤崎村傳兵衛出入一件」1点	1 個人	高瀬町公民館講座「高瀬発!再見、歴史教室」の配布資料に掲載のため	出版
5	四国辺路道指南 1点	1 個人	普通寺教学振興会紀要への掲載	出版
6	テグス行商船関係資料 2点	2 株式会社メディア・ヘッド	e o光テレビ「〜御食国関西〜」において、瀬戸内海の鯛や鯛漁を紹介する際、資料として紹介するため	放映
7	三宅家文書浦証文 1点	1 個人	史料翻刻正誤確認のため	その他
8	福田歌舞伎関係資料 1点	1 小豆島農村歌舞伎調査委員会	小豆島農村歌舞伎調査報告書(研究編)への掲載のため	出版
9	荘内半島関係パンフレット 2点	2 三豊市教育委員会	紫雲山遺跡発掘調査報告書への掲載のため	出版



## 分館

### 香川県文化会館

#### 1 展示事業

該当なし

展示名・内 容	入場者数
香川県華道選抜秀作展	4,192 人
台湾・香川漆芸交流展	1,316 人
香川県文化新人賞展	1,212 人
合 計	6,720 人

#### 2 貸館事業

##### (1) 県民ギャラリー

場 所	内 容	件 数	日 数
全 展 示 室	美術展、書道展など	4 件	25 日
2 階 展 示 室	書道展、写真展、絵画展 など	9 件	60 日
3 階 展 示 室	書道展など	3 件	9 日
合 計		16 件	94 日

##### (2) 芸能ホール

場 所	内 容	件 数	日 数
芸能ホール	邦楽演奏会、日本舞踊、 寄席など	15 件	18 日
合 計		15 件	18 日

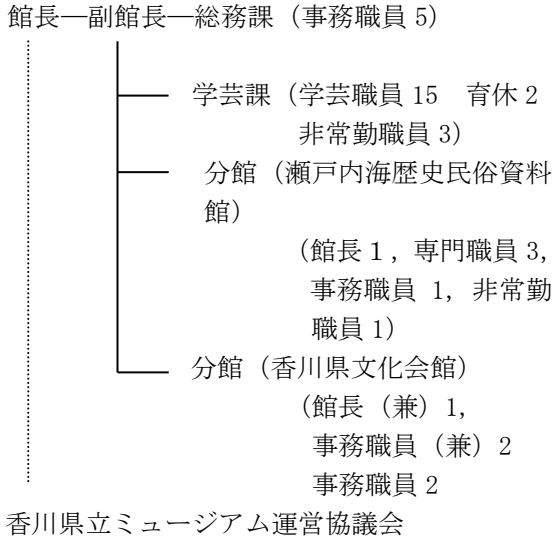
##### (3) 和室

場 所	内 容	件 数	日 数
和 室	茶会など	16 件	18 日
合 計		16 件	18 日

### III 組織と運営

#### 1 組織・職員

##### (1) 組織図 (平成31年3月31日現在)



##### (2) 職員名簿

館長	山田 泰子
副館長	森 格也
＜総務課＞	
総務課長	田邊 敬子
副主幹	樋口 真美
主任	谷本 忠男
主任主事	谷 卓憲
主事	鳥山 真維
＜学芸課＞	
学芸課長	佐藤 竜馬
主任専門学芸員	野村 美紀[企画]
主任専門学芸員	渋谷 啓一[収集管理]
主任専門学芸員	橋本 武生[企画]
主任専門学芸員	御厨 義道[地域連携]
主任専門職員	織野 智子[企画]
主任専門職員	藤田 順也[地域連携]
主任専門職員	谷川 洋朗[収集管理]
文化財専門員(兼)専門学芸員	長井 博志[企画]
専門学芸員	田口 慶太
	[美術コーディネーター]
専門学芸員	上野 進[地域連携]
専門学芸員	高木 敬子[地域連携] (育休)
主任主事	岡本 由貴子[企画] (育休)
主任学芸員	一柳 友子[地域連携]
学芸員	鹿間 里奈[収集管理]

学芸員	高嶋 良子[企画]
学芸員	佐々木麻衣[企画]
嘱託	芳地 智子
嘱託	松村 祥志
臨時職員	井上 奈緒

##### ＜分館 (瀬戸内海歴史民俗資料館)＞

館長	田井 静明
主任専門職員	芳澤 直起
専門職員	木内 英博
専門職員	織野 英史
主任主事	三好 繁
臨時職員	植田 孝史

##### ＜分館 (香川県文化会館)＞

館長(兼)	渡部 伸一
次長(兼)	高橋 克寿
副主幹(兼)	松井 智子
主任	貞廣 隆雄
主任	近藤 紀文
嘱託	上島 美香

#### 2 予算

予算は管理運営費と事業費からなる。

平成30年度当初予算 (単位：千円)

管理運営費	事業費	計
417,502 ※1、※2	70,245	487,747

※1 職員給与費を含む

※2 文化芸術振興基金事業を含む

#### 3 香川県立ミュージアム運営協議会

県立ミュージアムの事業をはじめとする運営全般について意見を求める香川県立ミュージアム運営協議会の会議について下記のとおり開催した。

##### ・第1回運営協議会

日時：平成30年8月23日  
会場：香川県立ミュージアム 会議室  
議事：平成29年度事業評価について 他

##### ・第2回運営協議会

日時：平成31年3月14日  
会場：香川県立ミュージアム 会議室  
報告事項：平成30年度の利用状況について 他  
議事：平成31年度の事業計画について 他

**香川県立ミュージアム運営協議会委員  
(五十音順)**

氏名	所属等
有賀 修	NHK 高松放送局放送部長
生田真理子	おいでまい町家プロジェクト in 香川 TADOTU (代表) 多度津町まねきねこ課推進員
梅木眞由美	香川県小・中学校文化連盟事務局長
胡 光	愛媛大学法文学部教授
大西由子	香川県立ミュージアムパスポート会員
笠井伯昭	四国新聞社編集局生活文化部長
藏本秀彦	高松工芸高校教諭
後藤憲子	公益財団法人福武財団事務局部長
中村光幸	香川県美術家協会副会長
守田逸人	香川大学教育学部准教授
横井鈴代	香川県PTA連絡協議会 母親代表委員会委員

**香川県立ミュージアム運営協議会設置要綱  
(設置)**

第1条 香川県立ミュージアムの運営について意見を求めるため、香川県立ミュージアム運営協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

**(組織)**

- 第2条 協議会は、15人以内の委員で組織する。
- 委員は、学識経験者、文化芸術団体、学校教育、家庭教育、利用者団体等の関係者から、館長が委嘱する。
  - 委員の任期は、2年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

**(会長および副会長)**

- 第3条 協議会に会長及び副会長1人を置く。
- 会長及び副会長は、それぞれ委員が互選する。
  - 会長は、会務を総理する。
  - 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

**(会議)**

第4条 協議会の会議は、館長が招集し、会長がその議長となる。

**(庶務)**

第5条 協議会の庶務は、香川県立ミュージアムに

おいて行う。

**附 則**

- この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 協議会設置当初の委員の任期は、第2条第3項本文の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。
- 香川県歴史博物館事業懇談会設置要綱(平成19年4月1日施行)は、廃止する。

#### 4 利用状況

＜香川県立ミュージアム入館者の状況＞

(単位：人)

平成29年度			平成30年度(31年3月31日現在)		
特別展	クロスポイント／交差する視線 20の表現	7,432	特別展	イサム・ノグチ展 ー彫刻から身体・庭へー	16,536
	香川県美術展覧会Ⅰ期	2,920		香川県美術展覧会Ⅰ期	3,251
	香川県美術展覧会Ⅱ期	1,451		香川県美術展覧会Ⅱ期	5,106
	香川県美術展覧会Ⅲ期	4,692			
	かがわ生命のミュージアム～感じて！進化の歴史とふしぎ～	15,903		目からうろこのミュージアム< Part I > 「いろ・かたち、わくわくのひみつ」	4,274
	讃岐びと、時代を動かすー地方豪族が見た古代世界ー	5,215		目からうろこのミュージアム< Part II > 「いつものくらしこれ、いいね。」	4,348
	第64回日本伝統工芸展	5,745		第65回日本伝統工芸展	6,102
				やきものが好き!!アートも好き。	1,492
	計	43,358		計	41,109
常設展（歴史展示＋企画展示）		49,447	常設展（歴史展示＋企画展示）		46,462
教育普及等（市町等共同企画展示 90人含む）		8,642	教育普及等（市町等共同企画展示 891人含む）		10,280
貸館		12,374	貸館		9,401
本館合計		113,821	本館合計		107,252
分館瀬戸内海歴史民俗資料館		11,277	分館瀬戸内海歴史民俗資料館		11,193
分館文化会館			分館文化会館		
主催展	該当なし		主催展	香川県華道選抜秀作展	4,192
				台湾・香川漆芸交流展	1,316
				香川県文化芸術新人賞展	1,212
	計	0		計	6,720
貸館		10,743	貸館		17,726
分館・文化会館 合計		10,743	分館・文化会館 合計		24,446
県立ミュージアム 総計		135,841	県立ミュージアム 総計		142,891

※「国際博物館の日」(5月18日)の記念行事として5月18日(金)は観覧料を無料として801人の入館があった。

# IV 施設の概要

(平成31年4月1日現在)

## 本館

### 1 建築等の概要

#### ● 建設の概要

敷地面積	5,016.77 m <sup>2</sup>
建築面積	3,419.60 m <sup>2</sup>
延床面積	19,656.99 m <sup>2</sup>
塔屋1階	86.70 m <sup>2</sup>
6階	811.57 m <sup>2</sup>
5階	1,273.69 m <sup>2</sup>
4階	1,782.11 m <sup>2</sup>
3階	3,702.19 m <sup>2</sup>
M2階	3,150.68 m <sup>2</sup>
2階	980.84 m <sup>2</sup>
1階	2,606.37 m <sup>2</sup>
B1階	2,600.64 m <sup>2</sup>
B2階	2,734.20 m <sup>2</sup>
階数	地上7階、地下2階、塔屋1階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造・鉄筋コンクリート造
高さ	GL+44.19m

#### ● 設備の概要

##### 空気調和設備

<b>■空調設備</b> ・一般系統 ・収蔵庫系統 ・展示室系統	室の用途に応じて次のように対応 単一ダクト方式+FCU 単一ダクト方式 直接空調、間接空調併用 単一ダクト方式 展示ケースはケース周囲空調による間接空調
<b>■自動制御設備</b>	デジタル方式による空調設備温湿度制御及び省エネルギー制御。中央監視盤による各動力機器の自動・遠隔発停、状態監視、記録、温湿度の監視、記録、電力設備のデマンド制御、状態監視、記録を行う。
<b>■燻蒸設備</b>	固定設備

##### 電気設備

<b>■照明器具設備</b>	
・展示室 (特別、企画) ・展示室 (歴史)	一般照明はミニハロゲンランプ、展示ケースは美術館、博物館用AAA蛍光灯 メタルハライドランプによる間接照明
<b>■音声ガイド</b>	ポータブル ROM プレーヤーによる音声ガイドシステム。1台で4ヶ国語の解説が聞ける設定。33項目の解説で、所要時間約47分
<b>■監視</b> 中央監視室・警備員室で次の監視を行う。	
・中央監視室	受電盤及び発電機の操作状況監視 照明副制御盤 自動火災報知機副受信盤 親時計
・警備員室	非常放送 監視カメラ 自動火災報知機副受信盤 防犯監視 照明主制御盤 身障者呼出し

<b>■監視設備 (ITV)</b>	
・展示室系統	展示室にカメラ16台
・駐車場系統	地下1.2階にカメラ16台
	それぞれ警備員室、管理事務室にモニター設置
<b>■防犯設備</b> 赤外線センサー、シャッター、ドアセンサー、カードリーダー、テンキー、電気錠	
<b>■自動火災設備 (防排煙含む)</b> 中央監視室にGR型複合受信盤	
<b>■講堂設備</b>	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響機器架3架、映像送出架1架、固定式調整卓1式、移動調整ワゴン1式、マイクコンセント、インカム子機、オーバーヘッドカメラ、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー、ステージスピーカー、ハネカエリスピーカー
<b>■研修室設備</b>	
・おもな機器	ハイビジョン対応プロジェクター1式、音響・映像機器架1架、移動式調整卓1式、マイクコンセント、ワイヤレスアンテナ、メインスピーカー

##### 給排水衛生設備

<b>■中水設備</b>	引込管、副受水槽を経由し、地中梁内利用受水槽 (200m <sup>3</sup> 2槽式) 高架水槽 (5m <sup>3</sup> 2槽式)
<b>■雨水利用設備</b>	屋上雨水管より雨水槽へ (50m <sup>3</sup> )、ろ過装置経由後中水槽へ

##### 消火設備

<b>■イナージェンガス設備</b>	展示室、収蔵庫、電気室、中央監視室、ビデオ編集室、薬品庫など20区画、ボンベ125本
<b>■スプリンクラー消火設備</b>	歴史展示室にブリアクションタイプ。地下階各居室ゾーンに設置
<b>■屋内消火栓設備</b>	イナージェンガス設備範囲外のすべての部分

##### 昇降機設備

<b>■エレベーター</b>	
No.1、2号機	来館者用乗用エレベーター (地下2階～3階) 11人乗り 積載量750kg
No.3号機	乗用エレベーター (地下2階～6階) 17人乗り 積載量1,150kg
No.4号機	荷物用エレベーター (1階～5階) 積載量3000kg 開口4,000mm×奥行3,000mm
No.5号機	乗用エレベーター (地下2階～1階) 11人乗り 積載量750kg

##### 設計・施工

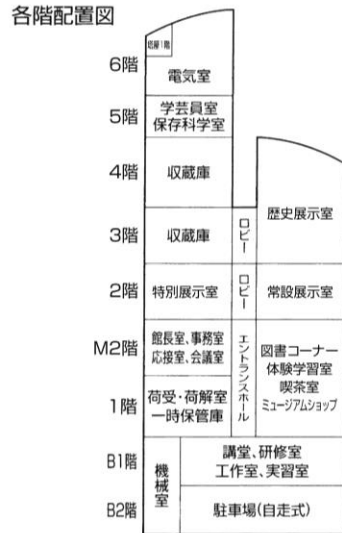
設計	建築設計 展示設計	(株)日建設計 (株)丹青社
施工	建築 電気 空調 給排水 昇降機 展示	清水・フジタ建設共同企業体 住友電設・久保電気建設企業体 大気社・新英工業建設共同企業体 大気社・新英工業建設共同企業体 (株)東芝 (株)丹青社

## 2 面積

部門名	おもな諸室	階数	面積 (㎡)	
展示部門	歴史展示室	3	1,188.65	
	常設展示室-1	2	332.76	
	常設展示室-2	2	78.57	
	常設展示室-3	2	139.23	
	常設展示室-4	2	150.73	
	常設展示室-5	2	130.19	
	常設展示室ロビー	2	293.96	
	特別展示室	2	726.13	
	展示準備室	2	78.06	
	パネル庫	2	77.30	
	その他		92.11	
		小計		3,287.69
学習支援部門	図書コーナー	1	274.58	
	体験学習室	1	113.33	
	準備室	1	18.53	
	準備室	1	58.68	
	講堂	B1	285.98	
	準備室	B1	84.72	
	研修室	B1	114.96	
	工作室	B1	64.84	
	実習室	B1	68.05	
	準備室 1	B1	26.46	
	準備室 2	B1	18.86	
	ボランティア室	B1	28.80	
	その他		4.33	
	小計		1,162.12	
調査・研究部門	学芸員室	5	260.04	
	整理作業室	5	36.17	
	整理分析室1	5	49.45	
	整理分析室2	5	122.47	
	保存科学室	5	143.73	
	薬品庫	5	20.60	
	資料鑑定室	5	35.42	
	書庫	5	164.36	
	資料閲覧室	5	12.77	
	情報処理室	5	21.56	
	資料保管庫	5	44.75	
	写真撮影室	4	81.32	
	暗室	4	17.14	
	ビデオ編集室	4	28.96	
	その他		286.50	
		小計		1,325.24
	収蔵部門	特別収蔵庫	3	200.12
		低湿収蔵庫	3	106.45
高湿収蔵庫		3	106.39	
歴史収蔵庫		3	586.37	
考古収蔵庫		3	411.62	
前室		3	156.19	
フィルム庫		4	193.87	
美術工芸収蔵庫		4	389.82	
民俗生活収蔵庫		4	593.82	
前室		4	88.48	
資材庫		1	33.46	
梱包資材庫		1	34.97	
修復室		1	30.11	
燻蒸庫		1	23.36	
一時保管庫		1	62.95	
荷受・荷解室		1	163.82	
トラックヤード		1	121.32	
その他			511.07	
		小計		3,814.19
管理部門	館長室	M2	56.25	

	応接室	M2	37.17	
	事務室	M2	110.31	
	印刷室	M2	13.44	
	書類庫	M2	30.42	
	展示案内員室	2	30.20	
	警備員室	1	22.86	
	救護室	1	17.32	
	授乳室	1	9.25	
	会議室	M2	110.34	
	休憩室	M2	34.28	
	更衣室	M2	54.09	
	器具庫	M2	15.13	
	物品庫	M2	17.55	
	清掃員控室	B1	32.95	
	中央監視室	B1	68.69	
	その他		384.04	
	小計		1,044.29	
機械関係	機械室	B2	215.13	
	熱源機械室	6	91.62	
	ポンプ室	B2	44.07	
	電気室	6	102.08	
	イナージェンボンベ室	6	83.09	
	排気ファン室	B2	27.12	
	氷蓄熱槽置場	6	138.79	
	その他		1,188.24	
		小計		1,890.14
	共用部分	エントランスホール (1階)	1	427.81
ロビー (2階)		2	388.68	
ロビー (3階)		3	433.73	
ゴミ庫		B1	40.77	
その他			2,616.55	
	小計		3,907.54	
喫茶・売店	喫茶室	1	113.84	
	ミュージアムショップ	1	42.11	
	その他		5.27	
	小計		161.22	
駐車場	駐車場	B2	1,961.04	
	業務用駐車場	B1	413.19	
	車路スロープ	B1・2	137.66	
	その他		552.67	
		小計		3,064.56
総計			19,656.99	

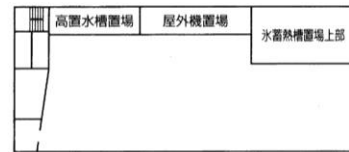
### 3 各階配置図・平面図



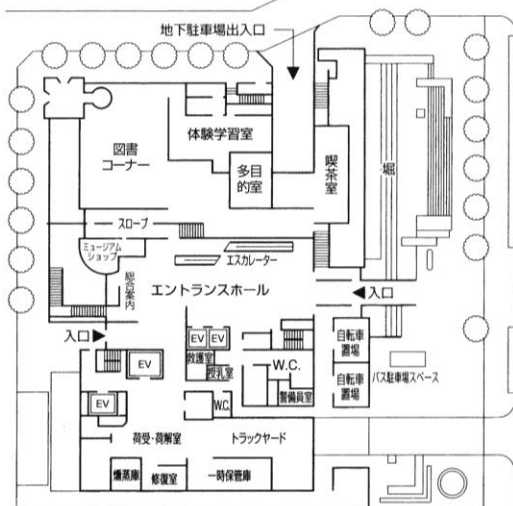
6階平面図



塔屋1階平面図



1階平面図

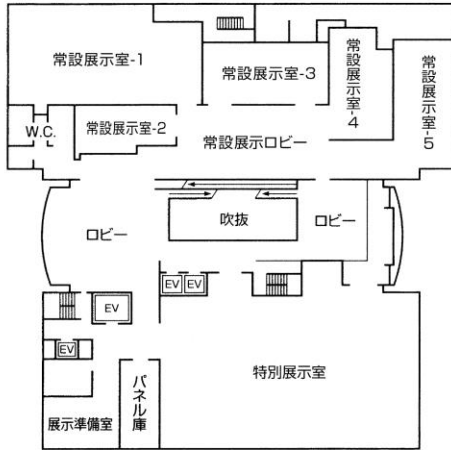


M2階平面図

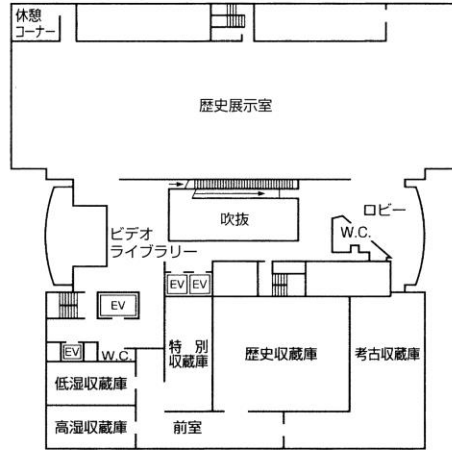




2階平面図



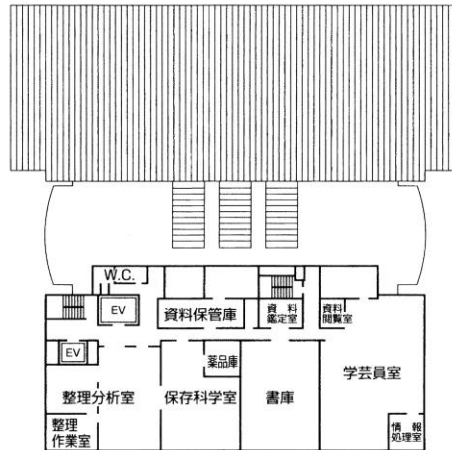
3階平面図



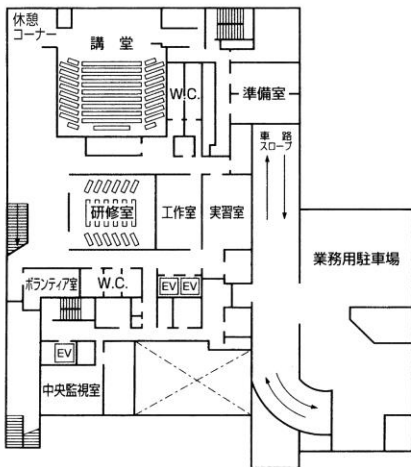
4階平面図



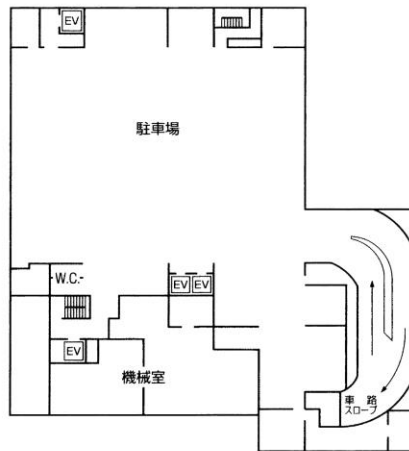
5階平面図



地下1階平面図



地下2階平面図



# 分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

## 1 建築概要

設計 建築：香川県建築課  
 協働：山本坦設計事務所  
 構造：木村俊彦構造設計事務所  
 設備：香川県建築課

監修 文化庁建造物課  
 監理 香川県建築課

施行 建築：(株)高岸工務店  
 電気：近畿電気工事(株)高松営業所  
 給水・衛生・空調：第一設備工業(株)  
 四国出張所

石壁：和泉政敏  
 造園：(株)桂組

鉄筋コンクリート造  
 平屋建（一部中2階）

外部 コンクリート打放し及び石積み

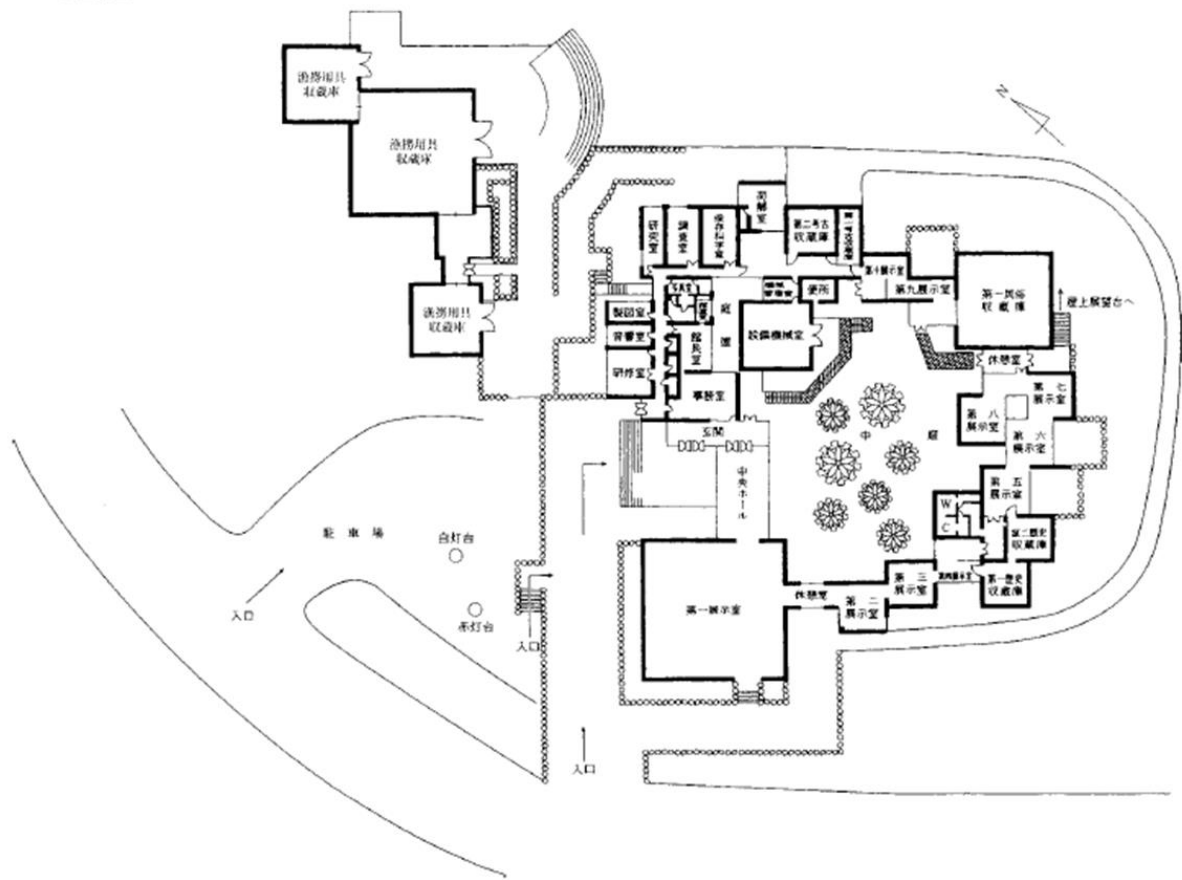
内部 床：れんがタイル及びビニタイル張り  
 天井：プラスターボード張りボイルキン  
 吹付け及びOPローラ引き

## 2 面積

室名	面積 (㎡)
玄関	68.00
事務室	88.00
館長室	48.00
倉庫	15.00
宿直室	40.00
写真室	24.00
研修室	64.00
音響室	32.00
製図室	32.00
研究室	44.00
調査室	60.00
保存科学室	60.00
荷解室	88.00
機械管理室	24.00
設備機械室	132.25
中央ホール	134.12
第一展示室	705.60
機械室	207.36
休憩室	32.00
第二展示室（歴史）	64.00
第三展示室（歴史）	64.00
第四展示室（歴史）	64.00
第一歴史収蔵庫	64.00
第二歴史収蔵庫	118.18
第五展示室（考古）	64.00
第六展示室（考古）	64.00
第七展示室（考古）	64.00
第八展示室（考古）	64.00
休憩室	32.00
第一民俗収蔵庫	256.00
第九展示室（特別展示室）	64.00
第十展示室（特別展示室）	64.00
第一考古収蔵庫	40.00
第二考古収蔵庫	117.60
地下収蔵庫（民俗）	94.00
地下収蔵庫（民俗）	120.00
漁撈用具収蔵庫	952.00
その他	173.00
計	4441.11

延床面積 4,441.11 ㎡  
 （展示部門 1,281.60 ㎡ 収蔵部門 1,761.78 ㎡  
 管理部門 1,397.73 ㎡）

### 3 平面图



# 分館 香川県文化会館

## 1 建築概要

構造規模 鉄筋コンクリート造、地下1階、  
地上7階建て

建築面積：923.91 m<sup>2</sup>、延べ面積：4628.02 m<sup>2</sup>

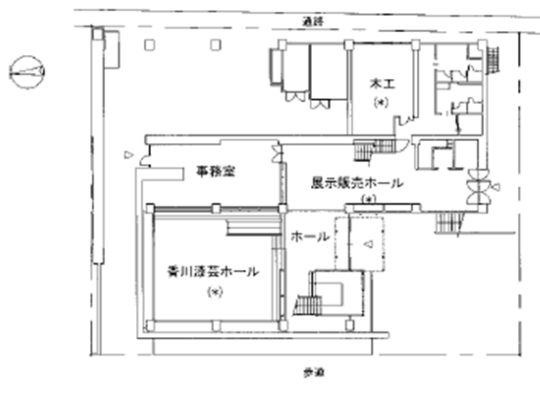
設置年月 昭和41年5月

## 2 面積

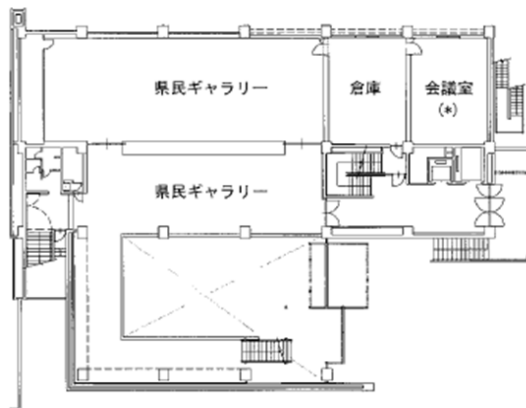
階	室名	床面積	階別面積
地階	機械室ほか	774.56	774.56
1階	香川漆芸ホール	152.10	844.16
	その他	692.06	
2階	県民ギャラリー	387.89	637.20
	その他	249.31	
3階	客席舞台	300.23	972.12
	県民ギャラリー	357.12	
	その他	314.77	
4階	和室	135.37	421.43
	その他	286.06	
5階	存清実習室ほか	301.78	301.78
6階	彫漆実習室ほか	301.78	301.78
7階	蒔醬実習室ほか	301.78	301.78
塔屋	その他	73.21	73.21
延べ面積			4,628.02

## 3 平面図

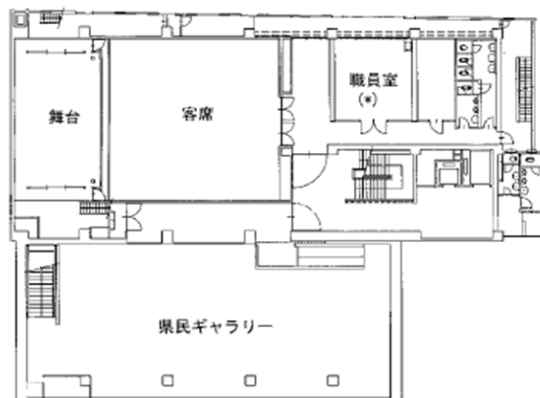
1階平面図



2階平面図



3階平面図



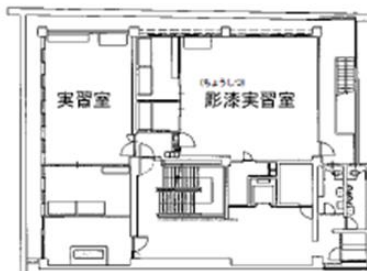
4階平面図



5階平面図(\*)



6階平面図(\*)



7階平面図(\*)



図(\*)は漆芸研究所

地階平面図



## V 条例・規則等 (平成 31 年 4 月 1 日現在)

### 香川県立ミュージアム条例

(平成 11 年 3 月 19 日条例第 6 号)

(設置)

第 1 条 歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館法(昭和 26 年法律第 285 号)第 2 条第 1 項に規定する博物館として、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)を高松市に設置する。

2 ミュージアムの分館として、瀬戸内海歴史民俗資料館及び香川県文化会館を置く。

(職員)

第 2 条 ミュージアムに、館長、学芸員その他の職員を置く。

(使用料の納入)

第 3 条 ミュージアムを利用する者は、香川県使用料、手数料条例(昭和 27 年香川県条例第 2 号)の定めるところにより、使用料を納入しなければならない。

(利用の許可)

第 4 条 ミュージアムを利用しようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(委任)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 11 年 11 月 16 日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成 16 年 3 月 26 日条例第 28 号)

この条例は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 19 年 3 月 20 日条例第 39 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例(昭和 27 年香川県条例第 2 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

附 則(平成 19 年 12 月 21 日条例第 72 号)

(施行期日)

1 この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

(香川県使用料、手数料条例の一部改正)

2 香川県使用料、手数料条例(昭和 27 年香川県条例第 2 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例の一部改正)

3 附属機関を構成する委員その他の構成員の報酬等に関する条例(昭和 32 年香川県条例第 43 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

(議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例の一部改正)

4 議会の議決に付すべき公の施設の長期かつ独占的な利用の許可に関する条例(昭和 39 年香川県条例第 28 号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

### 香川県立ミュージアム規則

(平成 11 年 4 月 23 日教育委員会規則第 16 号)

(趣旨)

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成 11 年香川県条例第 6 号。以下「条例」という。)第 4 条及び第 5 条の規定に基づき、

香川県立ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（業務）

第2条 ミュージアムは、次の業務を行う。

- (1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行うこと。
- (3) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (4) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等を開催すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、ミュージアムの目的を達成するために必要なこと。

（開館時間）

第3条 ミュージアム（瀬戸内海歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）及び香川県文化会館（以下「文化会館」という。）を除く。次条第1項において同じ。）の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。

- (1) 駐車場以外の施設 午前9時から午後5時まで
- (2) 駐車場 午前9時から午後10時まで
- 2 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。
- 3 文化会館の開館時間は、次に掲げる施設の区分に応じ、当該各号に定める時間とする。
- (1) 県民ギャラリー 午前9時から午後5時まで
- (2) 芸能ホール及び和室 午前9時から午後10時まで
- 4 教育委員会は、特別展示室又は県民ギャラリーで展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、開館時間を変更することができる。

（休館日）

第4条 ミュージアムの休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

2 資料館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日（その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）

(2) 12月29日から翌年1月3日までの日

3 文化会館の休館日は、12月29日から翌年1月3日までの日とする。

4 教育委員会は、特別展示室で展覧会を開催する場合その他必要があると認める場合は、前3項の規定にかかわらず、休館日を変更し、又は休館日を設けることができる。

（利用の許可を要する施設）

第5条 ミュージアムのうち条例第4条の許可を受けなければならない施設は、特別展示室（常設展示室、ロビー又はエントランスホールのうち特別展示室と併せて展示の用に供される部分を含む。）講堂及び研修室並びに芸能ホール、県民ギャラリー及び和室（以下「特別展示室等」という。）とする。

（利用の許可）

第6条 特別展示室等に係る条例第4条前段の規定による利用の許可（以下「利用許可」という。）を受けようとする者は、香川県立ミュージアム利用許可申請書（第1号様式）又は香川県立ミュージアム香川県文化会館利用許可申請書（第1号様式の2）（以下「利用許可申請書」という。）を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の利用許可申請書は、利用しようとする日（2日以上継続して利用しようとする場合は、その初日）の1年前から7日前までに提出



しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

3 教育委員会は、利用許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしないことができる。

(1) ミュージアムの秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあると認められるとき。

(2) ミュージアムの施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。

(3) ミュージアムの利用により暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められるとき。

4 利用許可には、ミュージアムの管理上必要な範囲内で条件を付することができる。

(利用の許可の変更)

第7条 利用許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、条例第4条後段の規定による変更の許可(以下「変更許可」という。)を受けようとするときは、香川県立ミュージアム利用許可変更申請書(第2号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前条第3項及び第4項の規定は、変更許可について準用する。

(利用の中止の届出)

第8条 利用者は、施設の利用を中止しようとするときは、香川県立ミュージアム利用中止届(第3号様式)により、教育委員会に届け出なければならない。

(資料画像等の利用の許可)

第9条 ミュージアム(文化会館を除く。)の保管に係る資料画像等の利用をしようとする者は、資料画像等利用許可申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、その許可を受けなければならない。

2 第6条第3項及び第4項の規定は、前項の許可について準用する。この場合において、同

条第3項第3号中「ミュージアムの利用」とあるのは、「ミュージアムの利用又は資料画像等の利用」と読み替えるものとする。

第10条から第12条まで 削除

(利用の許可の取消し等)

第13条 教育委員会は、利用者又は第9条第1項の許可を受けた者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消し、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用の停止を命ずることができる。

(1) この規則の規定に違反し、又は教育委員会の指示に従わなかったとき。

(2) 偽りその他不正の手段により利用許可若しくは変更許可又は第9条第1項の許可を受けたとき。

(3) 第6条第3項各号(第9条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当することとなったとき。

(4) 第6条第4項(第7条第2項及び第9条第2項において準用する場合を含む。)の規定により付された許可の条件に違反したとき。

(5) 納期限までに使用料を納付しないとき。

(入館の拒否等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、ミュージアムへの入館を拒否し、又はミュージアムからの退館を命ずることができる。

(1) 他人に迷惑を及ぼした者

(2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯する者

(3) 前2号に掲げるもののほか、ミュージアムの管理上支障があると認められる者

(損害賠償の責任)

第15条 利用者又は第9条第1項の許可を受けた者は、その責めに帰すべき理由により利用許可若しくは変更許可若しくは同項の許可を取り消され、又はミュージアムの利用若しくは資料画像等の利用を停止されたために損害を

被る場合においても、その損害の賠償を請求することができない。

2 ミュージアムの施設、設備、器具、展示品等を損傷させ、又は滅失させた者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

3 ミュージアムに保管を委託された資料が、災害その他の不可抗力によって損傷し、又は滅失した場合は、損害賠償の責任を負わない。

(補則)

第16条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成11年11月16日から施行する。

附 則 (平成12年3月31日教育委員会規則第23号)

1 この規則は、平成12年4月1日から施行する。

2 改正前の第1号様式による用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則 (平成13年3月27日教育委員会規則第11号)

この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成13年5月8日教育委員会規則第16号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成13年7月24日教育委員会規則第18号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成14年3月29日教育委員会規則第21号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則 (平成15年3月31日教育委員会規則第7号抄)

(施行期日)

1 この規則は、平成15年4月1日から施行する。

(香川県歴史博物館規則の一部改正に伴う経

過措置)

3 この規則の施行の際現に交付されている第3条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第11条第1項第1号又は第2号に規定する証票は、それぞれ第3条の規定による改正後の同規則第11条第1項第1号又は第2号に規定する証票とみなす。

4 この規則の施行の際現に香川県歴史博物館の駐車場を第3条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則別表第5号の表に規定する5,590円券により利用している者の当該利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則 (平成16年3月29日教育委員会規則第4号抄)

1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年3月31日教育委員会規則第4号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年7月28日教育委員会規則第28号)

この規則は、平成18年8月1日から施行する。ただし、別表第5号の表の改正規定中「7,800円券」を「6,000円券」に、「6,500円」を「5,000円」に、「13,000円券」を「1万円券」に、「10,500円」を「8,000円」に改める部分は、同年9月1日から施行する。

附 則 (平成18年9月29日教育委員会規則第29号)

1 この規則は、平成18年10月1日から施行する。

2 障害者自立支援法(平成17年法律第123号)附則第41条第1項の規定によりなお従前の例により運営されている身体障害者更生援護施設、同法附則第58条第1項の規定によりなお従前の例により運営されている知的障害者援護施設又は同法附則第48条の規定によりなお従前の例により運営されている精神障害

者社会復帰施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するものについては、第3条の規定による改正後の香川県立ミュージアム規則第11条第1項の規定にかかわらず、同法附則第1条第3号に掲げる規定の施行の日の前日までの間は、なお従前の例により観覧料を免除する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第5号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。

（経過措置）

3 第3条の規定による改正前の香川県歴史博物館規則第1号様式から第4号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第6号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月25日教育委員会規則第5号）

（施行期日）

1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の日の前日までに香川県歴史博物館の利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

3 改正前の第1号様式から第4号様式までによる用紙は、当分の間、使用することができる。

附 則（平成20年3月25日教育委員会規則第6号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年10月31日教育委員会規則第19号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第5条及び第6条の改正規定並びに第

1号様式の次に1様式を加える改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（平成20年11月21日教育委員会規則第20号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成20年12月1日から施行する。

附 則（平成21年2月10日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日教育委員会規則第8号）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の日の前日までに香川県立ミュージアムの利用の申請を行った者の当該利用の許可に係る使用料の額については、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月31日教育委員会規則第9号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成23年3月31日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月30日教育委員会規則第8号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月29日教育委員会規則第10号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成27年3月27日教育委員会規則第2号）

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 改正前の第1号様式による用紙は、当分の間、修正して使用することができる。

#### 教育委員会の権限に属する事務の委任

（平成19年4月6日教育委員会告示第7号）

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 180 条の 7 の規定により、平成 19 年 4 月 1 日から次の表の左欄に掲げる者に当該右欄に掲げる香川県教育委員会の権限に属する事務を委任した。

左欄	右欄
政策部 文化芸術局長	1 香川県立ミュージアムの管理運営に関する事務（重要なものに限る。）
香川県立ミュージアム館長	1 香川県立ミュージアム条例（平成 11 年香川県条例第 6 号）第 4 条に規定する利用の許可及び利用の許可の変更に関すること。 2 香川県立ミュージアム規則（平成 11 年香川県教育委員会規則第 16 号。以下「ミュージアム規則」という。）第 3 条第 4 項に規定する開館時間の変更 3 ミュージアム規則第 4 条第 4 項に規定する休館日の変更及び設定 4 ミュージアム規則第 8 条に規定する利用の中止の届出の受理 5 ミュージアム規則第 9 条に規定する資料画像等の利用の許可に関すること。 6 ミュージアム規則第 13 条に規定する利用許可若しくは変更許可若しくは資料画像等の利用の許可の取消し又は香川県立ミュージアムの利用若しく

は資料画像等の利用の停止の命令に関すること。
7 ミュージアム規則第 14 条に規定する入館の拒否及び退館の命令に関すること。
8 地方自治法第 238 条の 4 第 7 項に規定する行政財産の使用の許可に関すること。
9 ミュージアム規則に定めるもののほか、香川県立ミュージアムの管理運営に必要な事項を定めること（政策部文化芸術局長の項に定めるものを除く。）。

前 文（抄）（平成 20 年 3 月 28 日教育委員会告示第 1 号）

平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

前 文（抄）（平成 23 年 3 月 31 日教育委員会告示第 4 号）

平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

前 文（抄）（平成 25 年 3 月 29 日教育委員会告示第 2 号）

平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

前 文（抄）（平成 27 年 3 月 31 日教育委員会告示第 1 号）

平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

### 香川県立ミュージアムの管理運営のための組織規則

（平成 19 年 3 月 30 日規則第 29 号）

（趣旨）

第 1 条 この規則は、香川県立ミュージアム（以下「ミュージアム」という。）の管理運営を行うための組織について定めるものとする。

(組織)

第2条 ミュージアムに、総務課、学芸課、瀬戸内海歴史民俗資料館(以下「資料館」という。)及び香川県文化会館(以下「文化会館」という。)を置く。

(分掌事項)

第3条 総務課は、次の事務を処理する。

- (1) 職員の人事、給与及び服務に関すること。
- (2) 予算、決算及び会計に関すること。
- (3) 施設及び設備の利用及び管理に関すること。
- (4) 公印の管理に関すること。
- (5) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、学芸課、資料館及び文化会館の所掌に属しない事項に関すること。

2 学芸課は、次の事務を処理する。

- (1) 歴史、芸術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)の収集及び保管に関すること。
- (2) 資料の展示に関すること。
- (3) 資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。
- (5) 歴史、芸術及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。

3 資料館は、次の事務を処理する。

- (1) 瀬戸内地方の資料の収集及び保管に関すること。
- (2) 瀬戸内地方の資料の展示に関すること。
- (3) 瀬戸内地方の資料の利用についての説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 瀬戸内地方の資料の専門的又は技術的な調査研究に関すること。
- (5) 瀬戸内地方の歴史及び民俗についての講演会、講習会等の開催に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、館長が資料館に処理させることが適当と認めた事務に関する

すること。

4 文化会館は、次の事務を処理する。

- (1) 文化会館の施設、附属設備、器具等の利用及び管理に関すること。
- (2) 公印の管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、館長が文化会館に処理させることが適当と認めた事務に関すること。

(職員)

第4条 ミュージアムに、次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 副館長
- (3) 課長
- (4) 瀬戸内海歴史民俗資料館長
- (5) 香川県文化会館長
- (6) 香川県文化会館次長
- (7) 副主幹
- (8) 主任専門職員
- (9) 主任専門学芸員
- (10) 主任文化財専門員
- (11) 主任
- (12) 専門職員
- (13) 専門学芸員
- (14) 文化財専門員
- (15) 主任学芸員
- (16) 学芸員
- (17) その他の職員

(職務)

第5条 館長は、上司の命を受けて、ミュージアムの業務を掌理し、所属の職員を指揮監督する。

2 副館長は、館長を補佐する。

3 課長は、上司の命を受けて、課の事務を処理する。

4 瀬戸内海歴史民俗資料館長は、上司の命を受けて、資料館の事務を処理する。

5 香川県文化会館長は、上司の命を受けて、文化会館の事務を処理する。

6 香川県文化会館次長は、香川県文化会館長

を補佐する。

7 副主幹及び主任は、上司の命を受けて、事務を処理する。

8 主任専門職員、主任専門学芸員、主任文化財専門員、専門職員、専門学芸員、文化財専門員、主任学芸員及び学芸員は、上司の命を受けて、ミュージアムの専門的事務を処理する。

9 その他の職員は、上司の命を受けて、事務に従事する。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの組織に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成20年3月28日規則第25号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年3月27日規則第28号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

## 香川県立ミュージアム使用料規則

(平成25年3月29日規則第16号)

(趣旨)

第1条 この規則は、香川県立ミュージアム条例(平成11年香川県条例第6号)第1条第1項の香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 香川県使用料、手数料条例(昭和27年香川県条例第2号)別表第1 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する規則で定める額並びに特別展示室を分割して利用する場合の使用料、利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後5時後の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料並びに駐車場を回数券により利用する場合の使用料、同表 使用料の部 2 公の施設の使用料

香川県立ミュージアム瀬戸内海歴史民俗資料館の項に規定する規則で定める額並びに同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する規則で定める額並びに芸能ホールを準備又は練習のために利用する場合の使用料、県民ギャラリー又は和室を分割して利用する場合の使用料、芸能ホール又は和室を利用時間を分割して利用する場合の使用料、午後9時後(県民ギャラリーにあっては、午後5時後)の時間において利用する場合の使用料並びに冷暖房使用料及び電気特別使用料は、別表第1のとおりとする。

2 香川県使用料、手数料条例別表第1 第1表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアムの項に規定する歴史展示室、常設展示室及び特別展示室を香川県立ミュージアム年間観覧券(以下「年間観覧券」という。)により観覧する場合の観覧料並びに同表 使用料の部 2 公の施設の使用料香川県立ミュージアム香川県文化会館の項に規定する県民ギャラリーを年間観覧券により観覧する場合の観覧料は、別表第2のとおりとする。

(使用料の還付)

第3条 次の各号のいずれかに該当するときは、当該各号に定める額の使用料を還付する。  
(1) 天災地変その他香川県立ミュージアム規則(平成11年香川県教育委員会規則第16号。以下「ミュージアム規則」という。)第7条第1項に規定する利用者(以下「利用者」という。)の責めに帰することができない理由により利用できなくなったとき。 全額  
(2) ミュージアム規則第7条第1項に規定する変更許可により過納額が生じたとき。 当該過納額  
(3) ミュージアム規則第5条に規定する特別展示室等を利用する日(2日以上継続して利用する場合は、その初日)の1月前までにミュージアム規則第8条の規定による届出があつ

たとき。 半額

(観覧料の免除)

第4条 第1号から第7号までのいずれかに該当する者については歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、第8号に該当する者については歴史展示室及び常設展示室の観覧料を、第9号に該当する者については特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する日に限り歴史展示室及び常設展示室の観覧料を、第10号に該当する者については知事が定める観覧料を免除する。

(1) 65歳以上の者

(2) 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定により交付を受けた身体障害者手帳に身体上の障害がある者として記載されている者

(3) 都道府県知事又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第252条の19第1項に規定する指定都市の市長が交付した療育手帳に本人として記載されている者

(4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定により交付を受けた精神障害者保健福祉手帳に精神障害の状態にある者として記載されている者

(5) 保護施設、児童福祉施設及び老人福祉施設の在籍者で、当該施設の職員が引率の上入室するもの

(6) 学校等における教育活動として、学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者を引率の上入室する者

(7) 国際博物館の日(5月18日(その日がミュージアム規則第4条に規定するミュージアムの休館日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休館日でない日))に入室する者

(8) 法人等会員証(県が法人等(法人その他の団体及び事業を行う個人をいう。以下同じ。)に対し交付するミュージアムの利用に係る証

票をいう。以下同じ。)の交付を受けている法人等の関係者であって当該法人等会員証を利用する権利を有する者

(9) 特別展示室又は県民ギャラリーを観覧する者

(10) 前各号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第1号に掲げる者は、入室の際、同号に該当することを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

3 第1項第2号に掲げる者は、入室の際、身体障害者手帳を提示しなければならない。

4 第1項第3号に掲げる者は、入室の際、療育手帳を提示しなければならない。

5 第1項第4号に掲げる者は、入室の際、精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

6 第1項第5号に掲げる者は、入室の際、当該施設に在籍していることを証明するに足りる書類を提示しなければならない。

7 第1項第6号に掲げる者は、あらかじめ、観覧料免除申請書(別記様式)を知事に提出し、その許可を受けなければならない。

8 第1項第8号に掲げる者は、入室の際、法人等会員証を提示しなければならない。

9 第1項第9号に掲げる者は、入室の際、特別展示室観覧券又は県民ギャラリー観覧券を提示しなければならない。

(観覧料の減額)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者については、歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料を、団体で利用する場合における歴史展示室、常設展示室及び特別展示室並びに県民ギャラリーの観覧料に相当する額に減額する。

(1) かがわウェルカムカード(公益社団法人香川県観光協会が外国人に対し交付する証票で、当該外国人が県内の観光に関する施設等を利用する際に提示することにより当該利用に



係る料金の割引等を受けることができるものをいう。以下同じ。)の交付を受けている者

(2) 文化観光施設入場割引券(公益財団法人高松観光コンベンション・ビューローが県内で開催される大会等の参加者に対し交付する証票で、当該参加者が県内の観光に関する施設等を利用する際に提出することにより当該利用に係る料金の割引を受けることができるものをいう。以下同じ。)の交付を受けている者

(3) 前2号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

2 前項第1号に掲げる者は、入室の際、かがわウェルカムカードを提示しなければならない。

3 第1項第2号に掲げる者は、入室の際、文化観光施設入場割引券を提出しなければならない。

4 次の各号のいずれかに該当する者については、特別展示室及び県民ギャラリーの観覧料を、その2分の1に相当する額に減額する。この場合において、10円未満の端数は切り捨てるものとする。

(1) 年間観覧券の交付を受けている者(以下「パスポート会員」という。)(年間観覧券により観覧する場合を除く。)

(2) パスポート会員に同行して観覧する者(観覧1回につき1人に限る。)

5 前項第1号に掲げる者は、入室の際、年間観覧券を提示しなければならない。

6 学齢に達しない者、児童、中学校生徒、高等学校生徒及びこれらに準ずる者並びに前条第1項第1号から第4号までのいずれかに該当する者については、第2条第2項に規定する観覧料を、その3分の1に相当する額に減額する。この場合において、10円未満の端数は、切り捨てるものとする。

(資料画像等使用料の免除)

第6条 次の各号のいずれかに該当する者については、資料画像等使用料を免除する。

(1) 歴史、芸術及び民俗に関する教育、学術上の調査研究又は啓発を目的として資料画像等の利用をする者

(2) ミュージアムの広報に資する用途に供することを目的として資料画像等の利用をする者

(3) 前2号に掲げる者のほか、知事が特に必要があると認めた者

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、ミュージアムの使用料に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年3月31日規則第30号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成27年3月27日規則第14号)

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年3月31日規則第22号)

この規則は平成28年4月1日から施行する。

付 則(平成29年3月14日規則第9号)

この規則は平成29年4月1日から施行する。

付 則(平成31年3月19日規則第7号)

この規則は平成31年10月1日から施行する。

## 香川県立ミュージアムの歴史、 美術及び民俗に関する資料収集要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料（以下「資料」という。）の収集に関し、必要な事項を定める。

(収集する資料)

第2条 収集は、歴史、美術及び民俗に関する実物のほか、標本、複写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード、電磁的記録その他の資料について行い、以下の収集方針に沿って行う。

### (1) 歴史資料

香川県の歴史の解明に役立つ資料および資料群

展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる資料および資料群

### (2) 美術資料

香川県ゆかりの作家で美術史上特筆される活躍をした作家の代表的作品および資料

香川の工芸史を展覧する上で必要な作家の作品および資料

近代以降わが国及び世界の美術分野で活躍した作家の作品および資料

展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる作品および資料

### (3) 民俗資料

香川県および瀬戸内地方の文化的価値の解明に役立つ有形・無形の資料および資料群

展示公開、調査研究、教育普及活動において活用できる資料および資料群

(資料収集の方法)

第3条 資料の収集は、次の各号に掲げる方法により行う。

#### (1) 購入

#### (2) 寄贈

#### (3) 寄託

#### (4) 発掘・採集

#### (5) 製作

(資料の調査研究・鑑定評価・意見聴取)

第4条 館長は、資料を収集しようとするときは、あらかじめ当該資料について調査研究及び鑑定評価を行うものとする。

2 購入価格が1件100万円を超える資料を購入しようとするときは、館長が別に定めるところにより意見聴取を行うものとする。

(申込書の提出)

第5条 館長は、寄贈又は寄託の申込みがあった資料を収集しようとするときは、速やかに当該資料の所有者に対し、寄贈申込書(様式1)又は寄託申込書(様式2)の提出を求めるものとする。ただし、寄贈申込書又は寄託申込書により難しいときは、その都度別に定めるところによるものとする。

(寄託契約)

第6条 寄託資料は、歴史、美術及び民俗に関する資料寄託契約書(様式3)に目録を添付し、受託するものとする。

(寄託期間)

第7条 寄託契約の期間は、原則として2年とし、期間満了の2ヶ月前までにいずれか一方から文書による別段の意思表示がないときは、自動的に契約期間を更新したものとする。ただし、契約期間中において、特別な事情が生じたときは、寄託者と協議のうえ寄託資料を返還するものとする。

(受領書の交付)

第8条 寄贈資料又は寄託資料を受領した場合は、速やかに受領書(様式4)を寄贈申込者又は寄託申込者に交付する。

(感謝状の贈呈)

第9条 資料の寄贈申込者に対しては、資料の寄贈に伴う感謝状贈呈基準(別記)に基づいて感謝状の贈呈を行うものとする。ただし、特別な事情がある場合は、その都度別に定め

るものとする。

(補則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、資料の収集に関し必要な事項は、館長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 香川県歴史博物館の歴史、民俗資料収集に関する要綱(次項において「旧要綱」という。)は、廃止する。
- 3 この要綱の施行日前に旧要綱の規定に基づいてなされた寄附申込、寄託契約その他の手続であって、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

## 香川県立ミュージアムの歴史、美術及び民俗に関する資料利用要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、「財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例」(昭和39年3月31日条例第29号)第7条に基づき、香川県立ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)が管理する歴史、美術及び民俗に関する資料(以下「資料」という。)の利用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 資料とは、ミュージアムにおいて特別な管理がされている実物資料(以下「一次資料」という。)のほか、一次資料に関する写真原板、画像データ、複製品、調査資料等(以

下「二次資料」という。)をいう。

2 資料の利用とは、資料の館外貸出し、資料の閲覧をいう。

(資料貸出しの手続)

第3条 資料の館外貸出しを希望する者は、資料貸出申込書(様式第1号)に必要事項を記載し、貸出しを受けようとする期間の初日の30日前までに館長に提出して、承諾を受けなければならない。

2 資料の貸出しを承諾する場合は、館長が資料貸出承諾書(様式第2号)を交付する。

3 資料の貸出しの承諾を受けた者(以下「借受者」という。)は、当該資料の引渡しに際し、資料預りを示す書面を館長に提出しなければならない。本書面は資料返却後に借受者へ返却する。

(資料貸出しの承諾と条件)

第4条 資料の館外貸出しを受けることができる者は、次のとおりとする。

(1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定する博物館に相当する施設

(2) その他館長が適当と認めた者

2 資料の貸出し承諾は、次にかかげる場合に承諾することができる。

(1) 歴史、美術及び民俗に関する普及、啓発及び学術研究に資する。

(2) 資料が良好な状態で管理・利用される。

(3) 貸出し期間が原則として60日以内で、そのうち展示期間が30日以内である。ただし、資料の材質・状態によってはこの限りではない。

(4) 資料の内、歴史資料や古美術資料等、館長が指定する資料については、原則としてケース内展示とする。

(5) 資料が寄託されたものであるときは、所有者の同意が得られている。

3 借受者は、資料の貸出しに際し次にかかげ

る事項を遵守しなければならない。

- (1) 資料貸出承諾書に記載した目的以外に資料を使用しないこと。
- (2) 資料の取り扱い、輸送及び保管については、係員の指示に従うこと。
- (3) 資料の貸出し、返却及び貸出し期間中の保管等に要する経費をすべて借受者が負担すること。
- (4) その他必要に応じた条件に従うこと。

- 4 借受者に、前項に違反する行為があるとき、若しくは違反するおそれがあるとき、又は特別の理由が生じたときは、館長は貸出しの承諾を取り消すことができる。この場合において、ミュージアムは、この際生じた借受者の損害について、その責を負わないものとする。

(資料閲覧等の手続)

第5条 資料の閲覧等を希望する者は、資料閲覧申込書(様式第3号)に、閲覧目的その他必要事項を記載し、原則として資料を閲覧しようとする期日の初日の14日前までに館長に提出して、承諾を受けなければならない。

2 閲覧の利用を承諾する場合は、館長が資料閲覧承諾書(様式第4号)を交付する。

(資料閲覧等の承諾と条件)

第6条 資料の閲覧等は、次にかかげる場合に承諾することができる。

- (1) 歴史、美術及び民俗に関する普及、啓発及び学術研究に資すると認められる。
- (2) 人権やプライバシー等を侵害するおそれがないと認められる。
- (3) 資料の保存に悪影響を及ぼさないと認められる。
- (4) ミュージアムの事業運営に支障をきたさないと認められる。
- (5) 資料が寄託されたものであるときは、所有者の同意が得られている。

2 資料の閲覧等の承諾を受けた者(以下「閲覧者」という。)は、次にかかげる事項を遵守しなければならない。

(1) 資料は、資料閲覧承諾書に記載した目的以外に使用しないこと。

(2) 資料の閲覧等は、館長の指定した日時、場所で行うこと。

(3) 資料の取扱いは、係員の指示に従うこと。

(4) 資料の閲覧等に要する経費は、すべて閲覧者の負担とすること。

(5) その他必要に応じた条件に従うこと。

3 閲覧者に、前項に違反する行為があるとき、又は違反するおそれがあるときは、館長はその承諾を取り消すことができる。この場合において、ミュージアムは、この際生じた閲覧者の損害について、その責を負わないものとする。

(損害賠償)

第7条 資料を損傷させ、又は滅失させた者は、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は館長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

2 この要綱の施行日前に旧要綱に基づいてなされた貸出申込、貸出承諾その他の手続であって、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

附 則

1 この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

2 この要綱の施行日前に旧要綱に基づいてなされた貸出申込、貸出承諾その他の手続であって、この要綱に相当の規定があるものは、この要綱の規定に基づいてなされた手続とみなす。

## 利用案内（平成31年4月1日現在）

### ◆本館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
特別展開催中は夜間開館（午後7時30分まで開館、入館は午後7時まで）を行う場合があります。
- 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）  
・年末年始（12月24日～1月1日）  
ただし、ゴールデンウィークの期間は無休
- 観覧料 常設展（歴史展示室・常設展示室）  
一般個人 410円  
一般団体（20人以上） 330円  
高校生以下 無料
- ・特別展は展覧会により異なります。
  - ・特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。（一部の特別展を除く）
  - ・次の方は観覧料が免除されます。当館受付にて証明するものをご提示ください。
    - \*高校生以下の方
    - \*65歳以上の方
    - \*身体障害者手帳等をお持ちの方
    - \*学校教育活動の一環として児童生徒と入室する引率者
    - \*このほかにも無料もしくは免除になる場合があります。
- 交通案内 JR高松駅から東へ900m  
ことடன்高松築港駅から東へ800m  
ことடன்片原町駅から北へ500m
- ・岡山・愛媛・高知方面から  
高松自動車道高松西ICより車で約30分
  - ・徳島方面から  
高松自動車道高松中央ICより車で約25分
  - ・高松空港から  
JR高松駅までリムジンバスで35分
- 駐車場 地下駐車場（普通乗用車50台）
- ・使用料：25分あたり100円
  - ・使用時間：午前9時～午後10時
- 別に、大型バス3台駐車可能（事前申込が必要です。）  
近くに香川県玉藻町駐車場（有料）があります。



〒760-0030 高松市玉藻町5番5号

TEL. 087-822-0002 (代)

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum>

◆分館 瀬戸内海歴史民俗資料館

- 開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
 休館日 ・毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）  
 ・年末年始（12月29日～1月3日）  
 観覧料 無料  
 交通案内 五色台北端部に立地  
 ・R高松駅、坂出駅から車で25分程度  
 ・坂出ICから車で30分程度  
 （いずれも県道大越線の大崎の鼻経由）  
 駐車場 普通車30台、大型バス可（無料）



〒761-8001 高松市亀水町 1412-2  
 TEL. 087-881-4707  
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/setorekishi/>

◆分館 香川県文化会館

- 利用時間 県民ギャラリー 午前9時～午後5時（金曜日は午後7時30分まで）  
 芸能ホール・和室 午前9時～午後10時  
 休館日 年末年始（12月29日～1月3日）  
 交通案内 JR高松駅から南へ1.5km  
 ことでん瓦町駅から西へ1.2km  
 駐車場 香川県番町地下駐車場（有料）  
 高松市立中央駐車場（有料）



〒760-0017 高松市番町1-10-39  
 TEL. 087-831-1806  
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>

香川県立ミュージアム年報 第11号（平成30年度）

発行日 平成31年7月31日

編集発行 香川県立ミュージアム

香川県高松市玉藻町5番5号

TEL (087) 822-0002 (代) FAX (087) 822-0043

URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>